目 次

【前期】			【区分】	科目番号	
時	間	割			
ス	ポ	一 ツ	I	【実習】	OD011022 1
知	的	技 法	I	【講義】	OD011016 3
情	報	処 理 実 習	I	【実習】	OD011014 5
基	礎	数 学		【講義】	OD011001 7
細	胞	生 物 学	I	【講義】	OD011019 9
基	礎	化 学		【講義】	OD011025 12
基	礎	物 理 学		【講義】	OD011003 16
現	代	文 明 論		【講義】	OD011002 19
Scientific English			I	【講義】	OD011005 21
解	剖	学 総 論		【講義】	OD011103 23
医	療	工 学		【講義】	OD011101 25
キャリアデザイン／地域医療				【演習】	OD011202 27
医・口腔医学概論				【演習】	OD011301 30
哲		学		【講義】	OD012001 32
倫	理	学 入 門		【講義】	OD012002 34
ライフコースの社会学				【講義】	OD072008 36
比	較	文 化 論		【講義】	OD072011 38
福博の歴史と文化探訪				【講義】	OD072012 40
【後期】					
時	間	割			
ス	ポ	一 ツ	II	【実習】	OD011023 43
知	的	技 法	II	【講義】	OD011017 45
経	済	学		【講義】	OD011010 47
人	文	科 学		【講義】	OD011026 49
異	文	化 理 解		【講義】	OD011024 51
communication training				【演習】	OD011021 53
課	題	解 決 演 習	I	【演習】	OD011018 55
情	報	処 理 実 習	II	【実習】	OD011015 57
基	本	操 作 法 実 習		【実習】	OD011009 59

	【区分】	科目番号	
一 般 数 学	学	【講義】	OD011004 61
細 胞 生 物 学	Ⅱ	【講義】	OD011020 63
細 胞 化 学	学	【講義】	OD011011 66
Practical English	I	【講義】	OD011007 70
系 統 解 剖 学	I	【講義】	OD011104 72
生 理 学	I	【講義】	OD011105 74
歯 科 理 工 学	I	【講義】	OD011106 76
介 護 施 設 体 験 実 習		【実習】	OD011201 79
ド イ ツ 語	I	【講義】	OD012005 82
中 国 語	I	【講義】	OD012006 84
論 理 学 ・ 日 本 語 表 現 法		【講義】	OD012003 86
心 理 学 入 門		【講義】	OD012004 88

前 期

スポーツ I 【実習】

科目番号 OD011022

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：町田由紀子、田中響

(一般目標)

スポーツをとおして健康管理の方法としてスポーツの基礎技術や戦術について体験的に学修し、体力を向上させると同時に、スポーツを楽しむ態度を養う。また練習やゲーム等をとおして心理社会的スキル(目標設定スキルやコミュニケーションスキルなど)について理解し、改善・向上させる。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-4, II-3, II-4

(教育方法)

実習

(実習・演習)

(学習方法)

予習の項目の記載事項を参照すること 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

授業参加態度(50%) 服装違反 減点1 実技試験および授業中の提出物(50%)
評価後、評価結果を呈示する。

(教科書)

特になし

(参考書)

種目のルール等のプリント配布

回	日	担当者	ユニット	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	DP	予習の項目	必要時間		
1	4/8	町田由紀子、田中響	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・オリエンテーション ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	II-3	シラバスを確認する。	1.0		
					時間を守る。	I-4				
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4				
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-4				
2 3	4/15 4/22	町田由紀子、田中響	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	II-3	[2回] 体調管理について考え実践する。	2] 1.0		
					時間を守る。	I-4	[3回] 基礎知識を理解する。	3] 1.0		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4				
4 5	5/13 5/20	町田由紀子、田中響	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・スポーツ種目の基礎技能を習得する	挨拶をする。	II-3	[4回] 基礎技術を理解する。	4] 1.0		
					時間を守る。	I-4				
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-4			[5回] 基礎技能の復習をする。	5] 1.0
					積極的に取り組む。	I-4				
6 7 8	5/27 5/27 6/3	町田由紀子、田中響	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術(戦術)	・スポーツ種目の基礎技能(戦術)を習得する	挨拶をする。	II-3	[6回] 戦術を理解をする。	6] 1.0		
					時間を守る。	I-4				
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4			[7回] 戦術を理解をする。	7] 1.0
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-4			[8回] 戦術を理解をする。	8] 1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	6/3	町田由紀子、田中響	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技能 (ニュースポーツ①)	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する ・チームワークを高める	挨拶をする。	II-3	基礎知識・基礎技術を理解をする。	1.0
					時間を守る。	I-4		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4		
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-4		
10	6/10	町田由紀子、田中響	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技能 (ニュースポーツ②)	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する ・チームワークを高める	挨拶をする。	II-3	基礎知識・基礎技術を理解をする。	1.0
					時間を守る。	I-4		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4		
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-4		
11	6/17	町田由紀子、田中響	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技能	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術）	挨拶をする。	II-3	応用技術の復習をする。	1.0
					時間を守る。	I-4		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4		
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-4		
12 13 14	6/17 6/24 7/1	町田由紀子、田中響	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技能	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術・ルールと審判の実践）	挨拶をする。	II-3	[12回] 応用技術の復習をする。 審判の基礎知識を理解する。 [13回] 審判の基礎知識を理解する。 前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う [14回] 審判の基礎知識を理解する。 前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	[12] 1.0 [13] 1.0 [14] 1.0
					時間を守る。	I-4		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4		
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-3		
15	7/1	町田由紀子、田中響	ユニット5 活動のまとめ	・スポーツ全般の知識と技術	挨拶をする。	II-3	スポーツ全般の知識と技術を理解する	1.0
					時間を守る。	I-4		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	II-4		
					自身の身体の機能について理解する。	II-4		

知的技法 I 【講義】

科目番号 OD011016

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、永嶋哲也

担当教員：松井貴英、住吉燦史郎

（一般目標）

大学では専門知識だけでなく、現代社会の様々な問題に対応するための「教養」を身につけることが求められる。この教養を獲得するための手法が「知的技法（アカデミック・スキルズ）」と呼ばれるものである。本講義ではノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方（クリティカル・リーディング）等の知的技法を学ぶことにより、研究成果をまとめて発表することができるようになることを目指す。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-7, I-8, I-9, II-3

（教育方法）

講義。板書・スライド・配布資料を用いながら解説を行う。また、適宜グループ・ワークを課す。
（グループワーク）（プレゼンテーション）

（学習方法）

授業に集中すること。また、毎回の授業へのリアクション・ペーパーを授業終了後に提出すること。（リアクション・ペーパーの提出がなければ出席とみなさない）【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

平常点（授業への参加状況、授業内で課されるワークへの取り組みの状況およびその成果等、これらをもとに総合的に評価する）30%
学期末のレポート提出70%
掲示により成績通知を行う。

（教科書）

指定しない。適宜、講義内容のレジュメ等を配布する。

（参考書）

佐藤望編集（2012）『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』第2版，東京，慶應義塾大学出版会。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/21	松井、住吉	ユニット1 イントロダクション	「知」と「教養」について理解する	高校までの勉強と大学での勉強の相違点を説明する	I-9	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
2	4/28	松井、住吉	ユニット1 イントロダクション	問いの重要性とその立て方を理解する	一般的な問いと学術的問いの違いを説明する。また、問いを実際に立ててみる。	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
3	4/28	松井、住吉	ユニット2 ノートの取り方	大学の講義の特徴とノート・テイキングの重要性を理解する	授業や教員ごとのノート・テイキングの方法を説明する	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
4	5/12	松井、住吉	ユニット2 ノートの取り方	ノート・テイキングの具体的な方法を理解する	アカデミックなノート・テイキングを実際に行うことができるようになる	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
5	5/19	松井、住吉	ユニット3 情報収集の方法	文書資料の種類・特徴・利用法を理解する	アカデミックな作業において重視されるべき情報を説明する	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	5/19	松井、住吉	ユニット3 情報収集の方法	資料検索の方法を理解する	資料を検索するステップを説明する	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
7	5/26	松井、住吉	ユニット4 講義前半部のまとめ	講義前半部で学んだことの全体像を理解する	知的技法の内実を説明する。与えられた問いの検証に対して見通しを立ててみる	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
8	5/26	松井、住吉	ユニット5 クリティカル・リーディング	本を読む際に必要な批判的・論理的思考の重要性を理解する	学問的な「批判」の意味を説明する	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
9	6/2	松井、住吉	ユニット5 クリティカル・リーディング	クリティカル・リーディングの具体的方法を理解する	クリティカル・リーディングを実践する	I-7	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
10	6/9	松井、住吉	ユニット6 研究発表の準備	研究のアウトプットの方法を理解する	自分自身が持っている問題意識に基づきつつ、かつ客観的な問いを立てる	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
11	6/16	松井、住吉	ユニット6 研究発表の準備	研究のアウトプットの方法を理解する	自分自身が持っている問題意識に基づきつつ、かつ客観的な問いを立てる	I-8	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
12	6/16	松井、住吉	ユニット7 研究成果作成に向けた取り組み	自分自身の問題意識に合致する文献を検索する	自分自身が立てた問いに関係する文献を探す方法を身につけ、実際に検索する	I-9	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
13	6/23	松井、住吉	ユニット8 プレゼンテーションの実践	検索し見つけた文献を読み進める	自分の問題意識に合致した文献を読み進め、自身の立てた問いに対する理解を深める	II-3	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
14	6/30	[14回] 松井、住吉	ユニット8 プレゼンテーションの実践	レポートの作成に取り掛かる	構成を決める、文体を統一する、参照や引用の方法を学ぶといった、レポート作成に向けた方法を身につけ、それらを守りながらレポートの作成を進める	II-3	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	14]
15	6/30	[15回] 松井、住吉						15] 1.0

情報処理実習 I 【実習】

科目番号 OD011014

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、学生部次長

担当教員：工藤文彦

(一般目標)

現在の医療の世界では、電子カルテや病院内ネットワークによるデータ共有など、積極的にICTが活用されている。医療従事者が、これら全てにおいて熟知しておく必要はないものの、必要最低限の知識や技術は持たねばならない。本講義はIおよびIIを通して、その基本的事項を習得することが狙いである。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-7

(教育方法)

PCを用いた実習とする。必要に応じ、教材配布する場合がある。

(実習・演習)

(学習方法)

学習の基本的姿勢として、自らが積極的に丁寧に学習し、分からないものを放置しないことである。恥ずかしいのは、「分からぬ」ものを「分かる」と偽ることであり、患者様の生命をお預かりする将来の医療従事者として、真摯な態度で臨みたい。学習にあたって必要なことは随時指示する。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

実習科目のため、定期試験は行わない。原則として、講義日ごとに提出課題を課し、全ての課題の提出および合格をもって、単位認定を行う。正当な理由なき欠席はもちろん、課題未提出には十分に留意すること。最終評点はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

佐瀬雄治著 「看護のための情報リテラシー -ICTを活用した情報科学の基礎からOfficeの操作まで-」 東京図書

(参考書)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	5/2	工藤	オリエンテーション	受講にあたっての諸注意	本授業の注意事項について説明できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
2	5/9	工藤	コンピュータ技術概論 (1)	PCや情報技術の活用	PCや情報技術を自身の学びに活用することができる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
3	5/9	工藤	コンピュータ技術概論 (2)	コンピュータの仕組みなど	コンピュータの仕組みなどを説明できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
4	5/16	工藤	コンピュータ技術概論 (3)	IoT技術やAIの基本	IoT技術やAIの基本的な概念と手法、医療分野への活用例について説明できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
5	5/16	[5回] 工藤	情報セキュリティとリテラシー	脅威の種類と特徴およびセキュリティ対策	脅威の種類と特徴およびセキュリティ対策(情報倫理・データ保護等)について説明できる。	I-7	[5回] 予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	5]
6	5/23	[6回] 工藤						6]
7	5/23	[7回] 工藤						7]
					ICTを安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスを説明できる。	I-7		1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
8	5/30	工藤	電子メールの利用方法	電子メール利用方法とマナー	電子メール利用方法とマナーについて説明できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
9	5/30	工藤	Wordを使った文書作成	基本操作の習得	Wordの基本操作を実施できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
10	6/6	[10回] 工藤	Wordを使った文書作成	ビジネス文書の作成	Wordを利用してビジネス文章を作成できる。	I-7	[10回] 予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	[10] 1.0
11	6/6	[11回] 工藤						[11] 1.0
12	6/13	[12回] 工藤						[12] 1.0
13	6/13	[13回] 工藤						[13] 1.0
14	6/20	工藤	Excelを使ったデータ処理	基本操作の習得	Excelの基本操作を実施できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
15	6/20	工藤	Excelを使ったデータ処理	表計算によるデータ分析	Excelで表計算によるデータ分析を実施できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0

基礎数学 【講義】

科目番号 OD011001

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口奈央

担当教員：宮崎宗親

(一般目標)

今後の大学での学習で必須の分野である三角関数と行列について理解を確実にし、数学と社会のつながりを理解する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-8

(教育方法)

プリント(資料)に書きこむ形式で授業を進める。前回の授業で配布されたプリントを必ず持ってくる。スマホ取り出し不可。音を消しておくように。

(学習方法)

毎回プリントを配ってそれをもとに授業するので、復習をしっかりすること。授業中に出された問題は、必ず解き終わっておくこと。また前回の授業で配布されたプリントは必ず持ってくる。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

定期試験で評価する。定期試験で不合格の場合は再試験を行う。総合評価はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

なし

(参考書)

『文系のためのめっちゃやさしい』シリーズの『三角関数』ニュートンプレス出版(買わなくてもよい)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/8	宮崎	三角関数	三角関数の概念を理解し、基本的な諸性質を学び、確実に三角関数ができるようになる。	三角比を理解し、代表的な角度の三角比を覚える。	I-8	特になし	1.0
2	4/15	宮崎	三角関数	三角関数の概念を理解し、基本的な諸性質を学び、確実に三角関数ができるようになる。	三角比の間の関係を理解する。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
3	4/15	宮崎	三角関数	三角関数の概念を理解し、基本的な諸性質を学び、確実に三角関数ができるようになる。	余弦定理を理解し、現実の問題を解決する。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
4	4/22	宮崎	三角関数	三角関数の概念を理解し、基本的な諸性質を学び、確実に三角関数ができるようになる。	正弦定理を理解し、現実の問題を解決する。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
					三角比を使って三角形の面積を求めることができる。			
5	4/22	宮崎	三角関数	三角関数の概念を理解し、基本的な諸性質を学び、確実に三角関数ができるようになる。	三角比から波としての三角関数の理解へと発展させる。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
					波のさまざまな変化を数式として理解する。			
6	5/13	宮崎	三角関数	三角関数の概念を理解し、基本的な諸性質を学び、確実に三角関数ができるようになる。	バネの振動、音や光などの波の現象を三角関数とつなげて理解し、フーリエ解析を知る。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	5/13	宮崎	三角関数	三角関数の概念を理解し、基本的な諸性質を学び、確実に三角関数が使えるようになる。	三角関数に関する授業内容をすべてまとめ、問題を解く中で理解を深める。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
8	5/20	宮崎	行列	行列の世界を知り、連立方程式の解法や回転行列などを通して数の世界を多次元にまで広げる。	数を数ベクトルとして捕らえ、行列の基本的演算を行う。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
9	5/20	宮崎	行列	行列の世界を知り、連立方程式の解法や回転行列などを通して数の世界を多次元にまで広げる。	行列の演算を深めることで、行列の計算能力を高める。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
10	5/27	宮崎	行列	行列の世界を知り、連立方程式の解法や回転行列などを通して数の世界を多次元にまで広げる。	逆行列を使って連立方程式を解く。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
11	6/3	宮崎	行列	行列の世界を知り、連立方程式の解法や回転行列などを通して数の世界を多次元にまで広げる。	固有値の意味を知る。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
12	6/10	宮崎	行列	行列の世界を知り、連立方程式の解法や回転行列などを通して数の世界を多次元にまで広げる。	固有ベクトルを求め、行列の累乗を計算する。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
13	6/17	宮崎	行列	行列の世界を知り、連立方程式の解法や回転行列などを通して数の世界を多次元にまで広げる。	行列を対角化し、行列計算を単純化する方法を知る。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
14	6/24	宮崎	行列	行列の世界を知り、連立方程式の解法や回転行列などを通して数の世界を多次元にまで広げる。	回転行列を使って、図形の回転の問題への行列の威力を知る。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
15	6/24	宮崎	総まとめ	行列の授業をまとめ、問題を解くことで理解を深める。	行列の授業をまとめ、問題を解くことで理解を深める。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0

細胞生物学 I 【講義】

科目番号 OD011019

前期：30コマ

評価責任者：日高真純

担当教員：日高真純

藤兼亮輔

(一般目標)

生体は、それを構成する細胞から器官システムのレベルに至るまで、互いに情報を伝達し合うことにより統一され、個体としての機能を発揮している。本授業では生体の構成単位である細胞の概念、細胞及び細胞小器官の構造と機能、細胞を構成する成分の構造と機能、エネルギーの獲得、情報伝達などについて学習し、生命現象の基礎を理解する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-1

(教育方法)

教科書に基づいた板書、資料プリント、及びプロジェクター等を用いた解説、レポート作成、および演習問題
(実習・演習) (その他AL)

(学習方法)

授業前に下記の「予習の項目」の該当箇所を読んで講義内容の全体像をつかむこと。また、授業後には該当箇所の図を説明できるように復習すること。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：30.0時間】

(評価)

中間試験：40%、定期試験：60%、講義態度(レポート提出状況、出席状況等)も考慮する。
中間試験後に解説を行う。すべての試験答案と評価を開示して質問を受け付ける。

(教科書)

B. Alberts他著、中村桂子他監訳「Essential 細胞生物学」第5版、南江堂、2021

(参考書)

和田 勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」、第4版、羊土社、2020

(生物を習ったことのない学生でもわかるように図を入れてやさしく解説してある)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1 2	4/9	[1回] 日高	ユニット1 細胞とは	細胞の概要を知る。	生物に共通するしくみについて説明する。	Ⅲ-1	[1回] 教科書の1~38頁	1] 1.0
	4/9	[2回] 日高			原核生物と真核生物を比較し、その共通点と相違点を説明する。	Ⅲ-1	[2回] 教科書の1~38頁	2] 1.0
					細胞小器官の構造と機能について説明する。	Ⅲ-1		
3 4	4/16	[3回] 日高	ユニット2 細胞の化学成分	細胞内分子の構造と機能を理解する。	化学結合の種類を説明する。	Ⅲ-1	[3回] 教科書の39~80頁	3] 1.0
	4/16	[4回] 日高			細胞内の小分子の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	[4回] 教科書の39~80頁	4] 1.0
					細胞内の巨大分子の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1		
5 6	4/23	[5回] 藤兼	ユニット3 エネルギー、触媒作用、生合成	生体内エネルギーの形と触媒作用のしくみを理解する。	化学反応のエネルギー変化について説明する。	Ⅲ-1	[5回] 教科書の81~88頁	5] 1.0
	4/23	[6回] 藤兼			酵素の構造と、酵素が化学反応を触媒するしくみを説明する。	Ⅲ-1	[6回] 教科書の88~115頁	6] 1.0
					活性運搬体の構造とエネルギーの受け渡しのしくみを説明する。	Ⅲ-1		
7 8	4/30	[7回] 藤兼	ユニット4 タンパク質の構造と機能	タンパク質の構造と機能を理解する。	タンパク質のなりたちと化学的構造を説明する。	Ⅲ-1	[7回] 教科書の117~137頁	7] 1.0
	4/30	[8回] 藤兼			生体内におけるタンパク質の機能を説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書の137~172頁	8] 1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
9	5/7	[9回] 日高	ユニット5 DNAと染色体	DNAの構造と遺伝情報の流れ(セントラルドグマ)を理解する。	DNAを構成するヌクレオチドと二重らせん構造を説明する。	Ⅲ-1	[9回] 教科書の173~178頁	9] 1.0
10	5/7	[10回] 日高			DNAの相補的塩基対合を説明する。	Ⅲ-1	[10回] 教科書の178~197頁	10] 1.0
11	5/12	[11回] 日高			遺伝情報がDNAに担われていることを示した実験について説明する。	Ⅲ-1	[11回] 教科書の178~197頁、227~228頁	11] 1.0
					遺伝子とは何かを説明する。	Ⅲ-1		
					ヌクレオソーム、クロマチン構造、テロメア、セントロメアなどの染色体の構造を説明する。	Ⅲ-1		
			分子生物学のセントラルドグマとは何かを説明する。	Ⅲ-1				
12	5/14	日高・藤兼	中間試験(ユニット1~5)	ユニット1~5に関する知識習得を確認する。	ユニット1~5に関する演習問題を解く。	Ⅲ-1	教科書の365~388頁	1.0
13	5/14	日高・藤兼	中間試験(ユニット1~5)の復習	ユニット1~5に関する知識習得を確認する。	ユニット1~5に関する演習問題の復習をする。	Ⅲ-1	教科書の1~197頁、227~228頁	1.0
14	5/19	[14回] 日高	ユニット6 膜の構造	膜の構造と性質を理解する。	膜をつくる脂質二重層の成分や性質を説明する。	Ⅲ-1	[14回] 教科書の1~197頁、227~228頁	[14] 1.0
15	5/21	[15回] 日高			リン脂質の種類、構造や性質を説明する。	Ⅲ-1	[15回] 教科書の365~388頁	[15] 1.0
16	5/21	[16回] 日高	ユニット7 膜を横切る輸送	輸送体タンパクによる膜を隔てた物質輸送のしくみ、および、イオンチャネルによる膜電位の発生、伝導のしくみを理解する。	細胞内液と細胞外液、細胞膜の物質透過性を説明する。	Ⅲ-1	[16回] 教科書の389~392頁	[16] 1.0
17	5/26	[17回] 日高			輸送体やチャネルによる膜を隔てた物質輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書の392~425頁	[17] 1.0
18	5/28	[18回] 日高			受動輸送と能動輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[18回] 教科書の392~425頁	[18] 1.0
					細胞膜の選択的イオン透過性を説明する。	Ⅲ-1		
					イオンの平衡電位、静止膜電位の形成機序を説明する。	Ⅲ-1		
					イオンチャネル機構による活動電位の発生と伝達のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
			細胞の興奮と機能の発現を説明する。	Ⅲ-1				
19	5/28	[19回] 藤兼	ユニット8 細胞が食物からエネルギーを得るしくみ	食物の代謝によるエネルギー産生と備蓄のしくみを理解する。	食物の分解過程とエネルギー獲得の概要を説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書の427~430頁	[19] 1.0
20	6/4	[20回] 藤兼			解糖による糖からのエネルギー取り出しのしくみを説明する。	Ⅲ-1	[20回] 教科書の430~437頁	[20] 1.0
21	6/4	[21回] 藤兼			脂肪酸β酸化による脂肪酸からのエネルギーの取り出しのしくみを説明する。	Ⅲ-1	[21回] 教科書の428~453頁	[21] 1.0
					クエン酸回路による糖と脂肪酸の完全酸化とエネルギー捕捉のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					グリコゲンや脂肪によるエネルギーの備蓄とその利用について説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
22	6/11	[22回] 藤兼	ユニット9 ミトコンドリアと葉緑体におけるエネルギー生産	ミトコンドリアと葉緑体の構造と機能を理解する。	ミトコンドリアと葉緑体の構造について説明する。	Ⅲ-1	[22回] 教科書の455～463頁	22] 1.0
23	6/11	[23回] 藤兼			ミトコンドリアの酸化的リン酸化によるATP合成について説明する。	Ⅲ-1	[23回] 教科書の464～469頁	23] 1.0
24	6/16	[24回] 藤兼			電子伝達系とプロトンのくみ出しによるエネルギー変換のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[24回] 教科書の469～494頁	24] 1.0
					光合成 (明反応と暗反応) による糖合成におけるエネルギー変換のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
25	6/18	[25回] 日高	ユニット10 細胞内区画とタンパク質の輸送	輸送タンパク質の選別と小胞とゴルジ装置を用いた細胞内外輸送のしくみを理解する。	膜で囲まれた細胞小器官の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	[25回] 教科書の495～531頁	25] 1.0
26	6/18	[26回] 日高			シグナル配列によるタンパク質の選別のしくみを説明する。	Ⅲ-1	[26回] 教科書の495～531頁	26] 1.0
27	6/25	[27回] 日高			SRP受容体と小胞体シグナル配列を利用した粗面小胞体でのタンパク質成熟過程を説明する。	Ⅲ-1	[27回] 教科書の495～531頁	27] 1.0
					タンパク質の膜への組み込みのしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					小胞による細胞内輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					ゴルジ装置によるタンパク質の修飾と輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					エキソサイトーシスとエンドサイトーシスによる分子の輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
28	6/25	[28回] 日高	ユニット11 細胞間のシグナル伝達	細胞間のシグナル伝達における様々な受容体の構造と機能を理解する。	内分泌型、パラクリン型、神経型、接触型など細胞間シグナル伝達の様式を説明する。	Ⅲ-1	[28回] 教科書の533～545頁	28] 1.0
29	7/2	[29回] 日高			シグナル分子の種類と性質について説明する。	Ⅲ-1	[29回] 教科書の533～557頁	29] 1.0
30	7/2	[30回] 日高			細胞内受容体と細胞膜受容体の種類を列記する。	Ⅲ-1	[30回] 教科書の557～572頁	30] 1.0
					細胞膜受容体の種類と働きを説明する。	Ⅲ-1		
					Gタンパク共役型受容体と三量体Gタンパクの種類と機能について説明する。	Ⅲ-1		
					二次メッセンジャーの種類と、それらを介する情報伝達について説明する。	Ⅲ-1		
					受容体チロキナーゼとシグナルタンパク複合体について説明する。	Ⅲ-1		
			細胞内情報伝達系コミュニケーションについて説明する。	Ⅲ-1				

基礎化学 【講義】

科目番号 OD011025

前期：30コマ

評価責任者：林 道夫

担当教員：林 道夫、 谷口 卓

(一般目標)

様々な原子が色々な結合により多種多様な分子を構成し、それらが合わさって細胞、組織、器官を形成し、最終的にヒトの体が構成される。その原子から多種多様な分子までを表現するのが化学であり、生化学、生理学、薬理学といった基礎科目の基礎となる。この科目では、生体を構成する原子の構造から、生体の主要4元素などからなる高分子の構造や特徴、さらに、生体に含まれる気体、液体、固体といった物質を扱う理論などを学ぶ。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-1

(教育方法)

教科書と配布プリントを基にスライドを用いた講義を行い、演習問題により知識の定着を図る。

(ディスカッション・ディベート)

(学習方法)

講義前に下記の予習の項目に記載された箇所を読んでおくこと。講義後は講義で習ったことや演習問題の復習を行うこと。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：30.0時間】

(評価)

中間試験と定期試験の比率を3:7とし、総合的に判定する。総合評価はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

Alberts B. 他 著、中村桂子他 監訳 『Essential 細胞生物学』 南江堂 2021年

(参考書)

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間	
1	4/9	林	基礎化学と口腔医学	化学的知識が歯学・医学には必須であることを理解する。	化学的知識が歯学・医学には必須であることを述べる。	Ⅲ-1	教科書 p. 52, 58	1.0	
			生命と水	生命と水との関わりについて理解する。	地球での生命の誕生における水の重要性を述べる。	Ⅲ-1			
					ヒトが生きていく上で水が重要であることを述べる。	Ⅲ-1			
2	4/11	[2回] 林	生体を構成する最小の物質の構造	ヒトの体を理解するために最小構成単位である物質の構造を理解する。	全ての物質は最小構成単位である物質、原子からなることを説明する。	Ⅲ-1	[2回] 教科書 p. 40-41	2] 1.0	
3	4/16	[3回] 林			水素原子や炭素原子を例に原子の構成を説明する。	Ⅲ-1	[3回] 教科書 p. 41-43	3] 1.0	
4	4/18	[4回] 林				原子と分子と元素の違いを述べる。	Ⅲ-1	[4回] 教科書 p. 43-44, 66	4] 1.0
						原子同士が構造を作る際に重要な条件を述べる。	Ⅲ-1		
						周期表を説明する。	Ⅲ-1		
						元素の分類方法を説明する。	Ⅲ-1		
						水素からカルシウムまでの元素の電子式を描ける。	Ⅲ-1		
それぞれの物質がどれくらい含まれるかを議論するために、物質の量の表し方を説明する。	Ⅲ-1								
5	4/22	林	生体を構成する結合	生体を構成する一般的な結合を理解する。	原子間の一般的な結合、共有結合を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 50-51	1.0	
					ヒトの体を構成する主要4元素を列挙し、その特徴を述べる。	Ⅲ-1			
					いろいろな化学式の表し方を列挙する。	Ⅲ-1			

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
6	4/23	林	炭素骨格 (1)	炭素を骨格とする有機分子を理解する。	有機分子と無機分子を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 44-46, 66, 68	1.0
					炭素が有機分子の骨格となれることを説明する。	Ⅲ-1		
			炭素骨格 (2)		特別な共有結合である二重結合や三重結合を説明する。	Ⅲ-1		
					環状構造を形成している共有結合を説明する。	Ⅲ-1		
7	4/25	林	生体における水の役割	生命活動を支えている水の重要性について理解する。	水分子に特徴的な構造である極性共有結合を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 45, 47, 68-70	1.0
					液体としての水の構造に関する特殊性を説明する。	Ⅲ-1		
					親水性物質と疎水性物質を説明する。	Ⅲ-1		
8	4/30	[8回] 林	生体で働くイオン	多くの生体反応で重要な役割を果たすイオンを理解する。	イオンについて説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書 p. 45-47	8] 1.0
9	5/2	[9回] 林			イオンが水に溶けやすい理由を説明する。	Ⅲ-1		
					電気的な性質の異なる原子間の電子のやりとり、イオン結合について説明する。	Ⅲ-1		
					体液中にみられる陽イオンと陰イオンをそれぞれ列挙する。	Ⅲ-1		
					イオン結合でできた物質、塩の表し方を説明する。	Ⅲ-1		
					イオン結晶、塩を説明する。	Ⅲ-1		
					生体内に存在する塩を挙げる。	Ⅲ-1		
配位結合を説明し、配位結合の例を列挙する。	Ⅲ-1							
10	5/7	林	生体のpHとホメオスタシス (1)	生体内のpHを理解する。	水溶液の性質 (酸と塩基) を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 49-50, 69	1.0
					水の性質を表す指標であるpHを説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトの体液のpHやう蝕の臨界pHを述べる。	Ⅲ-1		
11	5/9	林	生体のpHとホメオスタシス (2)	生体の持つpH変動を抑えるメカニズムを理解する。	強酸、弱酸、強塩基、弱塩基をそれぞれ列挙する。	Ⅲ-1	教科書 p. 50, 67	1.0
					緩衝を説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトの体内の緩衝系である重炭酸緩衝系の緩衝作用を説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトの体内の緩衝系であるリン酸緩衝系の緩衝作用を説明する。	Ⅲ-1		
12	5/13	林、谷口	中間試験					1.0
13	5/14	林	ミネラル	生体に重要なミネラルを理解する。	ミネラルを説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 133, 148	1.0
					ヘモグロビンの構成成分である鉄を説明する。	Ⅲ-1		
					甲状腺ホルモンの構成成分であるヨウ素を説明する。	Ⅲ-1		
					タンパク質の構造に重要な硫黄を説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
14	5/16	谷口	タンパク質を形作る力	タンパク質などにみられる弱い結合を理解する。	静電引力を説明する。 ファンデルワールス引力を説明する。 疎水効果を説明する。	Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1	教科書 p. 47-48, 70-71	1.0
15	5/20	[15回] 林	生体分子で重要な官能基	ヒトの体を構成する有機分子の構成要素である官能基(基)を理解する。	化合物の特性を示す原子の集団、官能基について説明する。	Ⅲ-1	[15回] 教科書 p. 50-51, 66-67, 74	[15] 1.0
16	5/21	[16回] 林			カルボキシ基とアルデヒド基・ホルミル基の構造や特徴を説明する。	Ⅲ-1	[16回] 教科書 p. 66, 109	[16] 1.0
17	5/23	[17回] 林			ケトン基・カルボニル基とメチル基やアルキル基の構造や特徴を説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書 p. 67, 76, 78	[17] 1.0
					リン酸基・ホスホリル基の構造や特徴を説明する。	Ⅲ-1		
					リン酸やリン酸イオンについて説明する。	Ⅲ-1		
18	5/28	林	生体分子を構成する結合	生体内で重要な結合を理解する。	グルコースからデンプンやグリコーゲンを生成する際に重要なグリコシド結合の構成や構造的な特徴を述べる。 スフィンゴ脂質に含まれるアミド結合の構成や構造的な特徴を述べる。 タンパク質の構造に重要なペプチド結合の構成や構造的な特徴を述べる。 タンパク質の高次構造形成に重要なジスルフィド結合の構成や構造的な特徴を述べる。 核酸の構造に重要なホスホジエステル結合の構成や構造的な特徴を述べる。	Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1	教科書 p. 53, 67, 76-77, 79, 119, 136	1.0
19	5/30	[19回] 谷口	生体分子の分類	生体分子を例に、官能基や結合をもとにした分類について理解する。	アルカンを説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書 p. 66-67	[19] 1.0
20	6/3	[20回] 谷口			アルコールやアルデヒドを説明する。	Ⅲ-1	[20回] 教科書 p. 66-67	[20] 1.0
21	6/4	[21回] 谷口			カルボン酸やケトンを説明する。	Ⅲ-1	[21回] 教科書 p. 67	[21] 1.0
					エーテルを説明する。	Ⅲ-1		
					アミンを説明する。 アミド、イミンを説明する。	Ⅲ-1 Ⅲ-1		
22	6/6	林	生体内の化学反応 (1)	生体の物質の量を議論するために、物質と化学反応式について理解する。	物理量の単位とその接頭語を説明する。 物質量を説明する。 有効数字、科学的記数法、概数を説明する。 生体内で生じる化学反応の反応式の書き方を説明する。	Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1	教科書 p. 41	1.0
23	6/11	[23回] 林	生体内の化学反応 (2)	生体内で生じる酸化還元反応を理解する。	酸化還元反応の定義を説明する。	Ⅲ-1	[23回] 教科書 p. 87-88, 438-440	[23] 1.0
24	6/13	[24回] 林			酸化数を説明する。	Ⅲ-1	[24回] 教科書 p. 87-88, 440	[24] 1.0
					酸化剤と還元剤を説明する。	Ⅲ-1		
					脂肪酸の分解を例に酸化反応を説明する。 脂肪酸の合成を例に還元反応を説明する。	Ⅲ-1 Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
25	6/18	林	物質の三態	物質の三態について理解する。	物質の三態を列挙する。	Ⅲ-1		1.0
					物質の三態間の状態変化を説明する。	Ⅲ-1		
					状態図を説明する。	Ⅲ-1		
26	6/20	林	気体の性質	気体の性質について理解する。	圧力の表し方を説明する。	Ⅲ-1		1.0
					気体の法則 (ボイル、シャルル、ボイル・シャルル、気体の状態方程式) を説明する。	Ⅲ-1		
					混合気体と分圧の法則を説明する。	Ⅲ-1		
27	6/25	林	液体の性質 (1)	水溶液の濃度の表し方を理解する。	溶液中の溶質、溶媒を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 41	1.0
					水などの溶媒に溶けた物質の濃度を定義する、モル濃度や質量パーセント濃度について説明する。	Ⅲ-1		
28	6/25	林	液体の性質 (2)	気体が溶けた際の水溶液の濃度の表し方を理解する。	溶液に対する固体の溶解度の特徴を説明する。	Ⅲ-1		1.0
					溶液に対する気体の溶解度の特徴を説明する。	Ⅲ-1		
29	6/27	林	液体の性質 (3)	体液などにおける浸透圧とコロイドを理解する。	浸透圧を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 394-395	1.0
					体内の浸透圧の例を列挙する。	Ⅲ-1		
					アルブミンタンパク質を例にコロイドを説明する。	Ⅲ-1		
30	6/27	林	生体内の化学反応 (3)	化学平衡を理解する。	化学平衡の定義を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 95	1.0
					化学平衡の法則 (質量作用の法則) を説明する。	Ⅲ-1		
					ルシャトリエの原理 (平衡移動の原理) を説明する。	Ⅲ-1		

基礎物理学 【講義】

科目番号 OD011003

前期：31コマ

評価責任者：佐藤 平

担当教員：佐藤 平

(一般目標)

初歩的な概念から物理学の基礎的な構造を理解する。さらに自然科学の基礎としての物理学の基本的な法則や概念を学ぶ。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-7

(教育方法)

教科書と配布資料を中心とした講義を行う。

(実習・演習)

(学習方法)

講義内容に該当する教科書の項目を、毎回事前に通読しておく。

講義内容に関連する演習問題プリントを配布するので、その問題を自ら解くことによって講義後の復習や習得知識の定着に努めること。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：31.0時間】

(評価)

定期試験60%、中間テスト40%として、総合的に評価する。

必要に応じて不足している習得知識について個別説明を行い、今後の学習方法の改善に関して個々のフィードバックを行う。

(教科書)

原康夫著『第3版 物理学入門 新装版』学術図書出版社

(参考書)

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/9	佐藤 平	物理量の測定と単位	物理量の単位と誘導単位について理解する。	物理量を説明する。	I-7	教科書の0章を通読しておく。	1.0
					物理量の単位を説明する。	I-7		
2	4/9	佐藤 平	運動	位置、速度、加速度の定義とこれらの関係性について学び、直線運動や平面運動の記述方法を理解する。	直線運動における変位・速度・加速度の定義を説明する。	I-7	教科書の第1章を通読しておく。	1.0
					平均速度と瞬間速度、平均加速度と加速度の違いを説明する。	I-7		
					等速直線運動・等加速度直線運動を説明する。	I-7		
3	4/10	佐藤 平	運動	位置、速度、加速度の定義とこれらの関係性について学び、直線運動や平面運動の記述方法を理解する。	自由落下・鉛直投げ上げを説明する。	I-7	教科書の第1章を通読しておく。	1.0
					平面運動の変位・速度・加速度の定義を説明する。	I-7		
					放物運動を説明する。	I-7		
4	4/16	佐藤 平	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	運動の第一法則、第二法則、第三法則を説明する。	I-7	教科書の第2章を通読しておく。	1.0
					運動量・力積の定義を説明する。	I-7		
					運動量と力積の関係を説明する。	I-7		
					力の合成と分解を説明する。	I-7		
5	4/16	佐藤 平	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	力のつり合いを説明する。	I-7	教科書の第2章を通読しておく。	1.0
					運動方程式を説明する。	I-7		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
6	4/17	佐藤 平	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	重力・垂直抗力・張力・弾性力・摩擦力を説明する。	I-7	教科書の第2章を通読しておく。	1.0
					剛体の運動を説明する。	I-7		
7	4/23	佐藤 平	仕事とエネルギー	仕事、エネルギーの定義とこれらの関係性について学び、力学的エネルギー保存則を適用する方法を理解する。	仕事と仕事率の定義を説明する。	I-7	教科書の第3章を通読しておく。	1.0
					運動エネルギーとポテンシャルエネルギーを説明する。	I-7		
					仕事と運動エネルギーの関係を説明する。	I-7		
8	4/23	佐藤 平	仕事とエネルギー	仕事、エネルギーの定義とこれらの関係性について学び、力学的エネルギー保存則を適用する方法を理解する。	保存力を説明する。	I-7	教科書の第3章を通読しておく。	1.0
					力学的エネルギー保存則を説明する。	I-7		
					エネルギー保存則を説明する。	I-7		
9	4/24	佐藤 平	周期運動	等速円運動、単振動の基本事項、減衰振動、強制振動について理解する。	等速円運動を説明する。	I-7	教科書の第4章を通読しておく。	1.0
					周期運動と周期を説明する。	I-7		
10	4/30	佐藤 平	周期運動	等速円運動、単振動の基本事項、減衰振動、強制振動について理解する。	単振動を説明する。	I-7	教科書の第4章を通読しておく。	1.0
11	4/30	佐藤 平	圧力	広がりのある連続した物体の力学について理解する。(圧力)	圧力とその単位を説明する。	I-7	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
					浮力とアルキメデスの法則を説明する。	I-7		
12	5/1	佐藤 平	固体力学	広がりのある連続した物体の力学について理解する。(固体力学)	弾性変形と塑性変形を説明する。	I-7	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
					応力とひずみの関係を説明する。	I-7		
13	5/7	佐藤 平	固体力学	広がりのある連続した物体の力学について理解する。(固体力学)	応力とひずみの関係を説明する。	I-7	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
					ヤング率を説明する。	I-7		
14	5/7	佐藤 平	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	温度、熱量、比熱の定義を説明する。	I-7	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
					物質の相変化を説明する。	I-7		
15	5/8	佐藤 平	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	熱力学の第一法則と第二法則を説明する。	I-7	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
16	5/14	佐藤 平	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	熱機関を説明する。	I-7	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
17	5/14	佐藤 平	波動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	波動の定義を説明する。	I-7	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
					波の数学的表記法を説明する。	I-7		
					波の干渉を説明する。	I-7		
18	5/15	佐藤 平	波動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	音波の定義を説明する。	I-7	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
					ドップラー効果を説明する。	I-7		
19	5/21	佐藤 平	波動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	光波の定義を説明する。	I-7	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
					光の回折、屈折、反射を説明する。	I-7		
20	5/21	佐藤 平	原子物理学	原子の構造、光および電子の波動的性質と粒子的性質について学び、X線、レーザー、半導体の基本事項を理解する。	ニュートン物理学と現代物理学の違いを説明する。	I-7	教科書の第10章を通読しておく。	1.0
					原子の構造を説明する。	I-7		
					光の二重性を説明する。	I-7		
					電子の二重性を説明する。	I-7		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
21	5/22	佐藤 平	原子物理学	原子の構造、光および電子の波動的性質と粒子的性質について学び、X線、レーザー、半導体の基本事項を理解する。	原子の定常状態と線スペクトルを説明する。	I-7	教科書の第10章を通読しておく。	1.0
					元素の周期律を説明する。	I-7		
					絶縁体と半導体を説明する。	I-7		
					レーザーの原理を説明する。	I-7		
22	5/28	佐藤 平	核物理学	原子の構造と原子核を構成する要素を理解する。	原子核の基本構造を説明する。	I-7	教科書の第11章を通読しておく。	1.0
					陽子と中性子を説明する。	I-7		
					核エネルギーを説明する。	I-7		
					原子核の崩壊について説明する。	I-7		
23	5/29	佐藤 平	確認演習	知識の定着を確認する。	これまでに学習した知識の定着を確認する。	I-7	これまでの学習内容を整理しておく。	1.0
24	5/29	佐藤 平	核物理学	原子の構造と原子核を構成する要素を理解する。	原子力発電を説明する。	I-7	教科書の第11章を通読しておく。	1.0
					核反応式を説明する。	I-7		
					半減期を説明する。	I-7		
					放射能と被曝について説明する。	I-7		
25	6/4	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。(電荷と電流)	電流の定義を説明する。	I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					クーロンの法則を説明する。	I-7		
26	6/5	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。(電荷と電流)	電場と電位を説明する。	I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					キャパシターを説明する。	I-7		
27	6/11	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。(電荷と電流)	電圧と抵抗を説明する。	I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					オームの法則を説明する。	I-7		
28	6/12	佐藤 平	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。(電荷と電流)	キルヒホッフの法則を説明する。	I-7	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					電力と電力量を説明する。	I-7		
					ジュール熱を説明する。	I-7		
29	6/18	佐藤 平	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。(電磁気学)	ガウスの法則を説明する。	I-7	教科書の第9章を通読しておく。	1.0
					電磁誘導を説明する。	I-7		
30	6/19	佐藤 平	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。(電磁気学)	ファラデーの法則を説明する。	I-7	教科書の第9章を通読しておく。	1.0
31	7/2	佐藤 平	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。(電磁気学)	自己誘導と相互誘導を説明する。	I-7	教科書の第9章を通読しておく。	1.0
					電磁波について理解する。	I-7		

現代文明論 【講義】

科目番号 OD011002

前期：15コマ

評価責任者：谷口奈央

担当教員：各担当教員、社会医歯学部教員

(一般目標)

人類の文明・文化の意義を理解し、その歴史を形成する創造性と社会性との重要性を知り、変動期にある現代社会の諸問題に協力し合って取り組む姿勢を培うと共に、未来への対応すべき方向性を探る。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-1, I-6, VI-1

(教育方法)

学内外の各種分野の講師によるオムニバス形式の講義。必要に応じてプリントを配布し、スライド等も使用する。

(ディスカッション・ディベート) (グループワーク)

(学習方法)

オムニバス形式による授業であるので、予習はインターネットで各講師の情報についてレポートにまとめる。復習は、授業中のメモをもとに、授業の内容をまとめて、次回の講師の情報(上記)の内容とともに提出する。また講師による問題提起に対してグループで解決に向けて議論することもある。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

毎回の小論文(70%)、出席状況(30%)、小論文へのコメントでフィードバックする。

(教科書)

オムニバス形式の授業のため教科書は用いない。当日配布の講義資料のみ。

(参考書)

当日配布の講義資料を参考とする。

回	日	担当者	ユニット	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/11	水田祥代 福岡学園・ 理事長	ユニット1 大学教育	大学の歴史と役割を学ぶ。	「大学の教育」について説明できる。	I-1	大学の教育	1.0
2	4/14	渡邊裕一 福岡大学・ 准教授	ユニット4 国際性	国際性、偏見や先入観にとらわれない広い視野を学ぶ。	「感染症後の社会変化」について説明できる。	I-6	黒死病(ペスト)後の社会変化について—新型コロナ感染症との比較考察—	1.0
3	4/14	高瀬文広 日本赤十字 九州国際看護 大学・教授	ユニット2 文化的活動	学問や芸術や競技等の文化的活動、文化にまつわる歴史性や地方性を学ぶ。	「異文化コミュニケーション論」について説明できる。	I-6	異文化体験と対人コミュニケーション論	1.0
4	4/28	小川雄平 九州情報大 学大学院・ 教授	ユニット4 国際性	国際性、偏見や先入観にとらわれない広い視野を学ぶ。	「東北アジアの越境地域経済協力の課題と展望」について説明できる。	I-6	東北アジアの緊張緩和を考える	1.0
5	5/12	樋口勝規 福岡歯科大 学・客員教 授	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「医療の安全管理」について説明できる。	I-6	患者安全を目指した医療安全文化	1.0
6	5/19	石田昭年 福岡市身体 障害者福祉 協会・常務 理事	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「新しい社会保障と歯科医療の可能性」について説明できる。	I-6	障がい者の福祉と人権について	1.0
7	5/26	円谷裕二 九州大学・ 名誉教授	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「日本の現代社会の諸問題」について説明できる。	I-6	現代文明論の危機—哲学の観点から	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
8	5/28	上原尚貴 鴻和法律事務所・弁護士	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「日本の現代社会の諸問題」について説明できる。	I-6	医療分野におけるITと法	1.0
9	6/2	稲月 正 北 九州市立大学・教授	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「生活困窮者への社会的支援」について説明できる。	I-6	生活困窮者への社会的支援	1.0
10	6/9	岡田賢司 介護老人保健施設サンシャインシティ・施設長	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「新型コロナウイルス感染症」について説明できる。	I-6	新型コロナウイルス感染症を中心とした感染症のトピックス	1.0
11	6/10	鶴田直之 福岡大学・教授	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「日本の現代社会の諸問題」について説明できる。	I-6	AI 時代を生き抜くための力について	1.0
12	6/16	出田妙子 薬害肝炎訴訟原告団	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「薬害肝炎訴訟」について説明できる。	I-6	薬害肝炎訴訟について	1.0
13	6/23	新井優花 福岡市口腔保健支援センター・係長	ユニット6 地域医療	地域医療の現状と課題を把握し、課題解決について学ぶ	地域保健事業の現状・課題について説明できる。	I-6	地域（福岡市）の保健事業における現状と課題・グループディスカッション（PBL）	1.0
14	6/23	新井優花 福岡市口腔保健支援センター・係長	ユニット6 地域医療	地域医療の現状と課題を把握し、課題解決について学ぶ	課題解決に必要な要素について列挙できる。	I-6	地域（福岡市）の保健事業における現状と課題・グループディスカッション（PBL）	1.0
15	7/2	中畑高子 福岡歯科大学・客員教授	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「病院のチーム医療」について説明できる。	I-6	看護とチーム医療	1.0

Scientific English I 【講義】

科目番号 OD011005

前期：15コマ

評価責任者：岡島 勇太

担当教員：岡島 勇太、壬生 正博

(一般目標)

本講義の目標は、コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができるよう英語力を向上させることにある。英語は既に国際語として定着しており、医学、歯学を志す者にとって、最新の情報を得るためには英語の学習は必要不可欠である。本授業では、将来的にEBM (Evidence-Based Medicine) に繋がる英語力を向上させるために、科学、健康、医療等に関する最新のトピックを取り上げる。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-4

(教育方法)

基本的な生命科学英文を教材としての読解練習
既習事項の理解度を確認する中間試験など

(学習方法)

テキストの情報を辞書等を利用して十分に理解し、その上で練習問題を解くこと。また、興味のある内容はインターネット等で事前に調べておくこと。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

出席、授業態度、中間試験、定期試験等により総合評価する：試験後に成績通知

(教科書)

Mysteries in Science (Nan'un-do)
基本的な医学英語の習得に役に立つ。

(参考書)

Japanese-English dictionary、
English-Japanese dictionary
英語力の向上のため、各自に合った辞書を選定し使用すること(選定は学習者に一任)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/15	岡島、壬生	ユニット1 Parasitic Butterflies and Their Host Ants (1)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit1前半)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
2	4/15	岡島、壬生	ユニット1 Parasitic Butterflies and Their Host Ants (2)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit1後半)	使用テキストの各ユニットの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
3	4/22	岡島、壬生	ユニット2 Where Have All the Honeybees Gone? (1)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit2前半)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
4	5/13	岡島、壬生	ユニット2 Where Have All the Honeybees Gone? (2)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit2後半)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
5	5/20	岡島、壬生	ユニット3 He or She? (1)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit3前半)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1) 使用テキストの本文を音読し理解しておく 2) 練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
6	5/27	岡島、壬生	ユニット3 He or She? (2)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit3後半)	使用テキストの各ユニットの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
7	5/27	岡島、壬生	ユニット4 Brain Regeneration (1)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit4前半)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
8	6/2	岡島、壬生	ユニット4 Brain Regeneration (2)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit4後半)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
9	6/3	岡島、壬生	ユニット5 Now You see it, Now you Don't: The Invisible Gorilla (1)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit5前半)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
10	6/9	岡島、壬生	ユニット5 Now You see it, Now you Don't: The Invisible Gorilla (2)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit5後半)	使用テキストの各ユニットの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
11	6/10	岡島、壬生	ユニット6 Be Careful of Paper-Cuts (1)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit6前半)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
12	6/17	岡島、壬生	ユニット6 Be Careful of Paper-Cuts (2)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit6後半)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
13	6/23	岡島、壬生	ユニット7 Baby Corals Dance Their Way Home (1)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit7前半)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
14	6/24	岡島、壬生	ユニット7 Baby Corals Dance Their Way Home (2)	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit7後半)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
15	7/1	岡島、壬生	ユニット8 Monarch Butterfly Migration	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。(unit8)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0

解剖学総論 【講義】

科目番号 OD011103

前期：15コマ

評価責任者：児玉 淳

担当教員：林 慶和

(一般目標)

人体の構造と機能を深く理解するために必要な解剖学の基本的知識を修得する。基本的知識は骨学、関節・靭帯学、筋学、脈管学、神経学、内臓学の系統別に使用される解剖学用語の理解とともに修得する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-2, Ⅲ-6

(教育方法)

教科書や配布されるプリントを用いた講義を行う。
講義中は随時、学生個別に口頭試問を行い、理解度を確認する。
また講義の進行具合に応じて小テストを行うことがある。

(学習方法)

該当する教科書の項目について予習を行い、講義中はメモを取る。
復習は欠かさず行い、課される課題を提出する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

(評価)

定期試験 (90%) 平常点 (10%) (小テストの成績、出席状況および講義途中退室等の受講態度により評価する)
総合評価をポータルサイトに掲示する。

(教科書)

1. 森 於菟 他著 分担解剖学 第1巻 (総説・骨学・靭帯学・筋学), 第2巻 (脈管学・神経学) 第11版 金原出版 1992
 2. 口腔解剖学 第2版 医歯薬出版
- 口腔医学を学ぶために必要な人体の構造をまとめている (1年から6年まで使用します)

(参考書)

- 1: イラスト解剖学 松村譲児 中外医学社
 - 2: 人体解剖学 改訂42版 藤田恒太郎 南江堂
 - 3: ネットー頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第2版 医歯薬出版
 - 4: 解剖学講義 第3版 南山堂
- 上記参考書はテキストとして広く知られており、基礎から臨床関連知識まで幅広く網羅している。
(1年から6年まで使用します)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/10	林	ユニット1 解剖学総論	解剖学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	人体の構成と解剖学用語および解剖学の歴史を説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P1-8, 口腔解剖学 第2版 P1-4)	1.0
					体の区分(頭、頸、体幹、上肢、下肢)と境界を示説することができる。	Ⅲ-2		
					方向用語(左右、上下、外・内側等)を説明できる。	Ⅲ-2		
					基準平面(フランクフルト水平面等)について説明できる。	Ⅲ-2		
2	4/17	林	ユニット2 歯牙解剖学総論	歯の解剖を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	歯の基本形態を説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4)	1.0
					歯種について説明できる。	Ⅲ-6		
					歯および歯列の方向用語について説明できる。	Ⅲ-6		
3	4/24	林	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の形態分類と種類が説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4)	1.0
					骨の基本的構造が説明できる。	Ⅲ-2		
					骨の表面形状とその機能について説明できる。	Ⅲ-2		
4	5/1	林	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の成長様式が説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4)	1.0
					骨の名称を列挙できる。	Ⅲ-2		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
5	5/8	林	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の名称を列挙できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P9-25, 口腔解剖学 第2版 P2-4)	1.0
6	5/15	林	ユニット4 関節・靭帯学	関節・靭帯学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の連結を説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P173-180, 口腔解剖学 第2版 P31-36)	1.0
7	5/22	林	ユニット5 筋学総論	筋学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨格筋, 内臓筋や筋の構造について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P249-263, 口腔解剖学 第2版 P18-19)	1.0
					全身の代表的な骨格筋を列挙できる。	Ⅲ-2		
8	5/29	林	ユニット5 筋学総論	筋学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨格筋の起始・停止を説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学)P249-263, 口腔解剖学 第2版 P18-19)	1.0
					骨格筋の運動用語(転, 旋, 回, 挙上, 下制, 屈, 伸)を説明できる。	Ⅲ-2		
					骨格筋の支配神経について説明できる。	Ⅲ-2		
9	6/4	林	ユニット6 脈管学総論	脈管学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する	脈管系の命名法と主要な動脈, 静脈を列挙できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第2巻(脈管学・神経学) P1-5, 口腔解剖学 第2版 P37-43)	1.0
					肺循環, 体循環, リンパ循環について説明できる。	Ⅲ-2		
10	6/5	林	ユニット7 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	神経系の成立と中枢神経系と末梢神経系の分類が説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第2巻(脈管学・神経学) P185-193, 口腔解剖学 第2版 P57-58)	1.0
					神経単位(ニューロン)について説明できる。	Ⅲ-2		
					大脳, 間脳, 中脳, 小脳, 橋, 延髄について説明できる。	Ⅲ-2		
11	6/11	林	ユニット7 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	脳神経, 脊髄神経, 自律神経系(交感神経, 副交感神経)について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第2巻(脈管学・神経学) P185-193, 口腔解剖学 第2版 P57-58)	1.0
					一般体性運動性, 一般体性感覚性, 一般臓性運動性, 一般臓性感覚性, 特殊体性感覚性, 特殊臓性感覚性, 特殊臓性運動性について説明できる。	Ⅲ-2		
12	6/12	林	ユニット7 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	一般体性運動性, 一般体性感覚性, 一般臓性運動性, 一般臓性感覚性, 特殊体性感覚性, 特殊臓性感覚性, 特殊臓性運動性について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第2巻(脈管学・神経学) P185-193, 口腔解剖学 第2版 P57-58)	1.0
					中枢, 末梢, 灰白質, 白質, 野, 核, 節, 伝導路等を説明できる。	Ⅲ-2		
13	6/18	林	ユニット8 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	実質性の臓器, 中空性の臓器の構造について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(口腔解剖学 第2版 P79-81)	1.0
					消化器系, 呼吸器系, 泌尿器系, 生殖器系, 内分泌器系に分類でき各臓器名を説明できる。	Ⅲ-2		
14	6/19	林	ユニット8 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	口腔の基本的な構造を説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(口腔解剖学 第2版 P79-81)	1.0
15	7/3	林	ユニット8 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	臓器が納められる体腔と間膜について説明できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(口腔解剖学 第2版 P79-81)	1.0

医療工学 【講義】

科目番号 OD011101

前期：16コマ
 評価責任者：都留 寛治
 都留 寛治
 丸田 道人
 担当教員：梶本 昇
 佐藤 平
 城崎 由紀（九州工業大学）

（一般目標）

医歯学系の学生にとって重要な材料学の基本的な知識や考え方を学ぶ。また必須となる個体物性や臨床で使用する医療機器の原理などを学び、医歯学系科目に応用していくための準備をする。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-21

（教育方法）

教科書および配布プリントを使用し、板書や液晶プロジェクターにより図表を掲示しながらの講義。

（学習方法）

授業前に下記教科書の該当部分を読んで予習しておく。また授業中に配布するプリントなどを基に授業後に教科書とノートを参考にして復習する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

定期試験（100%）

必要に応じて不足している習得知識についての説明を行い、今後の学習方法などに関して改善方法を個別にフィードバックする。

（教科書）

中嶋 裕他監修『スタンダード歯科理工学第8版』、学建書院、2024
 （後期の歯科理工学の教科書としても使用する）

（参考書）

原 康夫著『第3版 物理学入門 新装版』学術図書出版社（基礎物理学の教科書）

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/10	梶本 昇	歯科医療と工学	歯科理工学の目的・意義を理解する。	歯科医療の流れを知る。	Ⅲ-21	教科書「歯科材料概論」を通読	1.0
2	4/10	丸田 道人	歯科医療と工学	歯科理工学の目的・意義を理解する。	歯科医療と工学の関わりを知る。	Ⅲ-21	教科書「歯科材料概論」を通読	1.0
3	4/17	都留 寛治	歯科材料の種類	歯科医療で用いる材料の種類を理解する。	歯科医療で用いる材料を有機、無機、金属、複合材料に分類できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
4	4/17	佐藤 平	歯科材料の加工	歯科治療における材料の成形加工を理解する。	鋳造による金属材料の成形加工法の特徴を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「鋳造用材料」の「概要」、「歯科用器械」の「CAD/CAMシステム」を通読	1.0
					CAD/CAM法による修復物作製法の特徴を説明できる。	Ⅲ-21		
					デジタル加工技術の応用例を説明できる。	Ⅲ-21		
5	4/24	都留 寛治	歯科材料の構造	歯科医療で用いる材料の構造を理解する。	原子の構造を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
					化学結合を説明できる。	Ⅲ-21		
6	4/24	佐藤 平	歯科材料の構造	歯科医療で用いる材料の構造を理解する。	元素の周期表を列記できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
					イオンを説明できる。	Ⅲ-21		
7	5/1	佐藤 平	歯科材料と化合物命名法	歯科材料に関連する化合物命名法の規則を理解する。	歯科材料に関連する化合物の命名規則を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
8	5/1	佐藤 平	歯科材料の化学反応	歯科材料に関連する化学反応を理解する。	酸塩基反応を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「物質の構造」を通読	1.0
					重合反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					電気化学的反応を説明できる。	Ⅲ-21		
9	5/8	都留 寛治	歯科材料の性質	歯科医療で用いる材料の性質を理解する。	歯科材料の機械的性質を理解する。	Ⅲ-21	教科書「材料の性質」の「機械的性質」を通読	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
10	5/15	都留 寛治	歯科材料の性質	歯科医療で用いる材料の性質を理解する。	歯科材料の化学的性質を理解する。	Ⅲ-21	教科書「材料の性質」の「物理的性質」および「化学的性質」を通読	1.0
					歯科材料の物理的性質を理解する。	Ⅲ-21		
11	5/22	佐藤 平	無機材料の特徴	無機材料の特徴を理解する。	無機材料の種類を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「無機材料」を通読	1.0
					無機材料の特性を説明できる。	Ⅲ-21		
12	6/5	佐藤 平	金属材料の特徴	金属材料の特徴を理解する。	金属材料の種類を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「金属材料」を通読	1.0
					金属材料の特性を説明できる。	Ⅲ-21		
13	6/12	佐藤 平	有機材料の特徴	有機材料の特徴を理解する。	高分子の定義と重合反応を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「有機高分子材料」を通読	1.0
					代表的な高分子の構造と性質を説明できる。	Ⅲ-21		
					有機材料の特徴を説明できる。	Ⅲ-21		
14	6/19	佐藤 平	複合材料の特徴	複合材料の特徴を理解する。	複合材料の種類を説明できる。	Ⅲ-21	教科書「材料の種類と構造」の「複合材料」を通読	1.0
					複合材料の特性を説明できる。	Ⅲ-21		
15	6/26	[15回] 城崎 由紀	生体材料の性質	生体材料の開発と応用展開を知る。	近年の生体材料を知る。	Ⅲ-21	[15回] 教科書「生体材料の安全性と適合性」を通読	[15] 1.0
16	6/26	[16回] 城崎 由紀			生体材料の基本要件を説明できる。		Ⅲ-21	[16回] 教科書「生体材料の安全性と適合性」を通読

キャリアデザイン／地域医療 【演習】

科目番号 OD011202

前期：15コマ

評価責任者： 都築 尊 (咬合修復学講座 有床義歯学分野)
 都築 尊 (咬合修復学講座 有床義歯学分野)
 児玉 淳 (生体構造学講座 機能構造学分野)
 大城 希美子 (口腔治療学講座 歯周病学分野)
 内田 竜司 (教育支援・教学 I R室)
 担当教員： 岡 暁子 (成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野)
 齊藤 淳一 (れおファミリー歯科)
 白井 義英 (白井歯科)
 清水 慶隆 (広島大学歯学部附属病院麻酔科)
 田中 勝寛 (田中歯科医院)

(一般目標)

口腔歯学部新入生としてプロフェッショナリズムにもとづいた大学での学びの姿勢を身につけるために、先輩歯科医の多様なキャリアやプロフェッショナリズム体験をロールモデルとして共有するとともに、地域医療の成り立ちについて理解を深め、これらを基に自分自身のキャリアプランを考える。

また、PROGテスト受験によりメタ認知（自分を客観視する能力）の必要性や向上させる方法について理解する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-4, I-5, I-6, I-7, I-8, I-9, II-2, II-3, II-4, V-2, V-3, V-5

(教育方法)

講義、ディスカッション・ディベート、グループワーク（小グループ討論、プレゼンテーション、全体討議）、その他のアクティブラーニング（シンク・ペア・シェア、ジグソー学習）

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）（その他AL）

(学習方法)

予習方法：受講前にシラバスに目を通し、不明部分については調べておくこと。

復習方法：授業時間に配布するプリントの記載事項を完成させて提出する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

(評価)

授業受講態度。

提出物。

PROGテストの受験：※正当な理由なく未受験の場合は0点。

総合評価をポータルサイトに掲示する。

(教科書)

なし。

(参考書)

NHK プロフェッショナル仕事の流儀「ぶれない志、革命の歯科医療～歯科医・熊谷崇」（2014年10月27日放映）：歯科医療のプロフェッショナリズムについて考察するための視覚教材として使用する。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/10	都築、児玉、大城、内田	1 PROGテスト	メタ認知を得るためにPROGテストを受験する。	PROGテスト受験に参加できる。	I-7	PROGテストに真摯に取り組むために体調を整え、身体を休める。(PROGテスト受験)	1.0
2	4/14	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での学びを知る。	生徒と学生の違いを説明できる。	I-8	高校までの学習への取り組みを振り返る。また授業前に大学入学時の決意を明文化する。	1.0
					高校までの学習について説明できる。	I-8		
					大学での学びについて説明できる。	I-8		
3	4/21	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での「大人」の学びを体験的に知る。(答えのない問題1)	問題点を抽出できる。	I-8	「答えのない問題」とは何か、考える。	1.0
					問題点を言語化できる。	I-7		
					他者の意見を傾聴できる。	II-3		
					集団で「問題」を共通認識できる。	I-8		
					主体的に問題を解決するための行動を起こすことができる。	I-9		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
4	4/28	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での「大人」の学びを体験的に知る。(答えのない問題2)	問題点を抽出できる。 問題点を言語化できる。 他者の意見を傾聴できる。 集団で「問題」を共通認識できる。 主体的に問題を解決するための行動を起こすことができる。	I-8 I-7 II-3 I-8 I-9	前回(第3回)の反省をし、ディスカッションに積極的に参加するために必要なことを考える。	1.0
5	5/12	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での「大人」の学びを体験的に知る。(対話的鑑賞法1)	作品を見て気付いたことを列挙できる。 自分の気づきを言語化できる。 他者の意見を傾聴できる。 他者の意見から多様な視点や解釈の存在を発見できる。 作品について自らの考えを記述できる。	I-8 I-7 II-3 II-4 I-8	「対話的鑑賞法」とは何か、考える。	1.0
6	5/19	都築、児玉、大城、内田	2 大学での学び	高校までの学習とは異なる大学での「大人」の学びを体験的に知る。(対話的鑑賞法2)	作品を見て気付いたことを列挙できる。 自分の気づきを言語化できる。 他者の意見を傾聴できる。 他者の意見から多様な視点や解釈の存在を発見できる。 作品について自らの考えを記述できる。	I-8 I-7 II-3 II-4 I-8	前回(第5回)の反省をし、ディスカッションに積極的に参加するために必要なことを考える。	1.0
7	5/26	都築、内田	11 メタ認知の必要性と能力の向上方法	PROGテストの結果を踏まえ、6年間の大学生活で自己の能力を向上させるための方略を考える。	PROGテスト(リテラシー・コンピテンシー)について説明できる。 メタ認知について説明できる。 テスト結果を評価できる。 自身の能力の向上に必要なことを列挙できる。 テスト結果を今後の大学生活に適用できる。	I-7 I-7 I-8 I-8 I-9	授業後すぐに自分自身の能力向上に必要な取り組みを開始する。	1.0
8	6/2	清水、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナルリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナルリズムを知る。(1)	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナルリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話をもとに、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
9	6/9	田中、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナルリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナルリズムを知る。(2)	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナルリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話をもとに、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
10	6/16	白井、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナルリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナルリズムを知る。(3)	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナルリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話をもとに、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
11	6/20	齊藤、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナルリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナルリズムを知る。(4)	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナルリズムと社会貢献を感じる。 ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6 I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話をもとに、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
12	6/23	岡、都築、内田	4 ロールモデルから学ぶプロフェッショナリズム	ロールモデルのキャリアパスを通して歯科医師としてのプロフェッショナリズムを知る。（5）	ロールモデルから歯科医師のプロフェッショナリズムと社会貢献を感じる。	I-6	歯科医師の社会貢献について考える。授業後はロールモデルの話を反芻し、自分自身のキャリアプランを考える。	1.0
					ロールモデルから学んだことを記述できる。	I-6		
13	6/27	都築、児玉、大城、内田	10 自分のキャリアをデザインする	ロールモデルのキャリアパスから学んだプロフェッショナリズムを踏まえ、未来の自分のキャリアパスを想像／創造する。	自分のキャリアについて具体的に述べるができる。	I-9	自分自身のキャリアプランを実現するために必要なことを考える。	1.0
					他者のキャリアについて傾聴できる。	II-2		
					他者のキャリアから多様な視点や解釈の存在を発見できる。	I-6		
					歯科医師としてどのように社会に貢献したいか述べるができる。	I-9		
14	6/30	都築、児玉、大城、内田	7 地域包括ケアシステムと歯科医療	地域包括ケアシステムの中で歯科医師はどんな貢献ができるかを知る。	地域包括ケアシステムについて説明できる。	V-5	地域包括ケアシステムについて考える。	1.0
					多職種連携について説明できる。	V-2		
					地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割を説明できる。	V-3		
15	7/3	岡、都築、児玉、大城、内田	3 プロフェッショナリズム	プロフェッショナリズムについて知る。	プロフェッショナルについて説明できる。	I-4	プロフェッショナル、プロフェッショナリズムについて考える。	1.0
					プロフェッショナリズムについて説明できる。	I-5		
					歯科医師のプロフェッショナリズムについて説明できる。	I-6		

医・口腔医学概論 【演習】

科目番号 OD011301

前期：15コマ

評価責任者：香川豊宏、谷口奈央、森田浩光

担当教員：関係講座・分野・診療科教員

(一般目標)

1. 医療人としての自覚と口腔医学の概念を学ぶ。
2. 学部・病院の体験を通じ、将来指導的立場にたつ者となる自覚を強めるとともに口腔医学に係る課題を理解する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-1

(教育方法)

講義、病院、学部見学

(ディスカッション・ディベート) (グループワーク) (実習・演習)

(学習方法)

あらかじめ、福岡歯科大学および医科歯科総合病院の講座・分野・診療科をホームページで把握し、授業後にレポート・ポートフォリオを作成する。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

出席、講義毎のレポート、見学体験講座・分野・診療科毎のポートフォリオによる評価を行い、評価されたレポート、ポートフォリオを返却する。

(教科書)

なし

(参考書)

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/11	森田	ユニット1 口腔医学総論	口腔医学の歴史と学問体系を理解する。	口腔医学の概念を説明できる。	I-1	口腔医学の概念、医学史	1.0
					医学・歯学史を説明できる。	I-1		
2	4/14	吉永、西尾	ユニット2 口腔医学各論 2	歯科診療中の保存治療を概説できる。臨床医学を学習する理由を理解する。	歯周病治療の概略を説明できる。	I-1	歯周治療、整形外科治療の役割	1.0
					医学の中の整形外科の意義を概説できる。	I-1		
3	4/18	松崎、得能	ユニット2 口腔医学各論 2	歯科診療中の保存治療を概説できる。臨床医学を学習する理由を理解する。	歯科保存治療の概略を説明できる。	I-1	保存治療、内科治療の役割	1.0
					医学の中の内科学の意義を概説できる。	I-1		
4	4/21	山野、古村	ユニット2 口腔医学各論 4	歯学部で臨床医学を学習する理由を理解する。	歯科に関わる耳鼻咽喉科の意義を概説できる。	I-1	耳鼻咽喉科学、皮膚科学の役割	1.0
					歯科に関わる皮膚科の意義を概説できる。	I-1		
5	4/24	田中、梅津	ユニット2 口腔医学各論 6	歯学部で機能系基礎医学を学習する理由を理解する。	歯学における機能系基礎医学(生化学、感染生物学)の意義を説明できる。	I-1	機能系基礎医学(生化学・感染生物学)の内容	1.0
6	4/25	八田、藤田、日高	ユニット2 口腔医学各論 6	歯学部で機能系基礎医学を学習する理由を理解する。	歯学における機能系基礎医学(生理学・薬理学・分子生物学)の意義を説明できる。	I-1	機能系基礎医学(生理学・薬理学・分子生物学)の内容	1.0
7	4/28	永嶋、金光	ユニット2 口腔医学各論 7	医療人における人格の涵養および教養の意義を理解する。	心身医学の概念を説明できる。	I-1	心身医学、医療倫理の学習内容	1.0
					医療倫理学・人文科学の意義を説明できる。	I-1		
8	5/1	平田、北尾	ユニット2 口腔医学各論 8	研究マインドとは何か説明できる。	歯科医師の研究心・探求心と生涯学習の意義を説明できる。	I-1	基礎科学が医療に貢献する例	1.0
9	5/2	松浦、都築、加倉	ユニット2 口腔医学各論 9	歯科診療中の補綴治療を概説できる。	補綴歯科治療の概略を説明できる。	I-1	補綴治療、インプラント治療の役割	1.0
					口腔インプラント治療の概略を説明できる。	I-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
10	5/9	谷口、今井	ユニット2 口腔医学各論 1	高齢社会の地域医療連携の問題点を理解する。	公衆衛生・地域医療における歯科の重要性を説明できる。	I-1	人口減少社会における保健医療介護福祉の問題点	1.0
11	5/16	香川、谷口、森田	ユニット2 口腔医学各論 10	医・口腔医学の内容を説明し、口腔歯学部学生としての自覚を認識できる。	口腔医学の内容を説明できる。	I-1	総論・各論知識の確認(客観試験)および病院での臨床の現場や研究室での研究(オリエンテーション)	1.0
12	5/23	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。①	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
13	5/30	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。②	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
14	6/6	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。③	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
15	6/13	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。③	I-1	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0

哲学 【講義】

科目番号 OD012001

前期：15コマ

評価責任者：永嶋哲也

担当教員：永嶋哲也

(一般目標)

物事を自分自身で正しく考えることができるような教養ある歯科医師となるために、一般教養科目の根源である哲学が取り扱ってきたさまざまな問題を知り、物事を根本から論理的に考察する過程をたどることによって、人間という存在の全体について自分自身で考える。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-8, I-9, II-1, II-2

(教育方法)

板書中心の講義形式。

(ディスカッション・ディベート) (グループワーク)

(学習方法)

授業を集中して聴く。考えをまとめ聴講生間で意見交換(小グループでのディスカッション)をする。

教科書は指定しないので、予習は指定のキーワードについて内容をネット等で調べ、自分自身で考察し自説を考えておく。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

出席、授業態度などの平常点(20%)、ノートおよびミニレポート提出による達成度評価(30%)、学期末レポート(50%)などを総合評価する。

提出をしたノート、ミニレポートは、コメント(フィードバック)が記され、次回もしくは次々回の講義時に返却される。

(教科書)

使用せず。授業において適宜プリントが詳細資料として配布される。

(参考書)

野矢茂樹『哲学の謎』講談社現代新書、1996(対話形式のわかりやすい言葉遣いで哲学の問題を紹介した入門書)

村松茂美ほか『はじめて学ぶ西洋思想—思想家たちとの対話—』ミネルヴァ書房、2005(さまざまな哲学者とその思想をコンパクトに紹介した哲学史の教科書)

そのほか講義の中で適宜紹介される。

回	日	担当者	ユニット	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/17	永嶋哲也	ユニット1 イントロダクション	哲学とはどういう学問か理解する	哲学がどのように始まったか述べる	I-9	キーワード「愛する、知る」	1.0
2	4/21	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「ある」「存在する」が持つ哲学上の問題点を説明する	I-8	キーワード「ある、存在する」	1.0
3	4/25	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「ある」「存在する」という表現のさまざまな意味を理解し区別する	I-8	キーワード「硬さがある、関係がある」	1.0
4	4/25	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「存在する」にかかわる哲学的意味を説明する	I-8	キーワード「欠席者がいる、神がいる、命がある」	1.0
5	5/2	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	実体と働きの区別を用いて心の存在にかかわる諸問題を整理する	I-8	キーワード「心がある」	1.0
6	5/2	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	他者の痛みについて原理的な議論をする	II-2	キーワード「他人の痛みがわかる」	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	5/9	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	心に関する機能主義について説明する	I-8	キーワード「機能主義」	1.0
8	5/16	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	こころは「脳である」と言えるかどうか説明する	I-8	キーワード「心脳同一説」	1.0
9	5/23	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	機械もこころを持てるかの原理的可能性について説明する	I-8	キーワード「人工知能」	1.0
10	5/30	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	人間の認識について、プログラムによる出力との異同から説明する	I-8	キーワード「特異点、アラン・チューリング」	1.0
11	6/6	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	動作・振舞いと区別される行為について意味を説明する	II-1	キーワード「行動主義」	1.0
12	6/13	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	意志について「意図的・自覚的」という側面から説明する	II-1	キーワード「行為論」	1.0
13	6/20	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	他者の意志について人間以外の動物との比較から説明する	II-2	キーワード「物理主義、決定論」	1.0
14	6/27	永嶋哲也	ユニット6 因果と自由の謎	自由意志を因果連鎖との関連で考える	因果連鎖による決定論を物理法則と確率論との関連から説明する	I-8	キーワード「ラプラスのデーモン」	1.0
15	6/27	永嶋哲也	ユニット6 因果と自由の謎	自由意志を因果連鎖との関連で考える	因果連鎖による決定論を否定して意志の自由を擁護する	II-1	キーワード「自由意志」	1.0

倫理学入門 【講義】

科目番号 OD012002

前期：15コマ

評価責任者：学生部長 永嶋哲也

担当教員：森 龍之介

(一般目標)

わたしたちは、個人的にであれ、社会的にであれ、「肉食はわるいことか」「死刑は廃止されるべきか否か」「そもそもよいとか正しいとかというのはどのような意味なのか」といった問いにゆきあたることがあります。通常このような問題は「倫理学」が扱う領域とされてきましたが、ことによると、多くの人からは「学問的に扱えるものではない」「数学や物理学などのように「正解」はない」といった具合で理解されているかもしれません。しかし、倫理学者・哲学者たちによる既存の議論を振り返ってみると、諸々の問いをていねいに分析し、倫理・道徳にかんするさまざまな意見はどのように根拠づけられるか検討することによって、日常的感覚・直観のレベルを脱した視点に立つことも可能であるということがわかります。したがって、この講義では、さまざまな倫理学の議論を紹介し、それを検討することを通じて、受講者自身が倫理・道徳にかんする主題をうまく考えてゆくための方法について、一定の理解を得ることを目指します。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-4, I-5, I-6, I-7, I-8, II-1, II-2, II-3

(教育方法)

配布資料と板書を利用した講義形式で行う。

(学習方法)

予習：前回まで話の流れを、配布資料やメモを熟読することによって、再確認する。また、予告された次回の主題にかんして、自らの関心に沿って知識を深めておく。復習：記憶の鮮明なうちに講義内容を振り返る。また、リアクション・ペーパーの質問に対して、提出したものと別の回答を考え直してみる。(リアクション・ペーパーの提出は出席要件です。) 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

リアクション・ペーパー(3点×15回=45点)と最終レポート(55点)の成績で評価する。総合評価をポータルサイトに掲示する。

(教科書)

教科書は使用しない。各回で資料を配布する。

(参考書)

児玉聡・なつたか『マンガで学ぶ生命倫理』化学同人, 2013.
品川哲彦『倫理学の話』ナカニシヤ出版, 2015.
その他の参考文献については、講義中に適宜紹介する。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	4/17	森	【ユニット1】 イントロダクション	講義の主題を理解する。	①導入・倫理学とは何か：講義の主題である「倫理」や「道徳」等の言葉について理解を深め、講義の全体像と目的に即した主体的学修をはじめることができる。	I-7	倫理学の扱う事柄とはどのようなものかについて、調べ、考える。	1.0
2	4/21	森	【ユニット2】 倫理と論理	「倫理的問題」とはいかなるものかを理解する。また、そうした問題をうまく考えるためのすべを身につける。	②ケーススタディ1：安楽死と尊厳死にまつわる問題を説明できる。また、そうした倫理的問題にかかわる推論のための道具立てを使いこなすことができる。	I-6	安楽死と尊厳死について調べ、考える。	1.0
3	4/25	森	【ユニット2】 倫理と論理	「倫理的問題」とはいかなるものかを理解する。また、そうした問題をうまく考えるためのすべを身につける。	③ケーススタディ2：死刑制度にまつわる問題を説明できる。また、そうした倫理的問題にかかわる推論のための道具立てを使いこなすことができる。	I-6	死刑制度について、調べ、考える。	1.0
4	4/25	森	【ユニット3】 倫理の根拠	倫理に関する通俗的見解の性格を理解する。	④文化的相対主義：文化的相対主義とはなにか、弱点をふまえて説明できる。	II-2	文化的相対主義について調べ、考える。	1.0
5	5/2	森	【ユニット3】 倫理の根拠	倫理に関する通俗的見解の性格を理解する。	⑤倫理的主観主義：倫理的主観主義とはなにか、弱点をふまえて説明できる。	II-2	倫理的主観主義について調べ、考える。	1.0
6	5/2	森	【ユニット4】 規範倫理①	帰結主義の考え方と問題点を理解する。	⑥利己と利他：行為の帰結と道徳的価値の結びつきについて、説明できる。	I-5	利己主義(エゴイズム)について調べ、考える。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	5/9	森	【ユニット4】 ① 規範倫理	帰結主義の考え方と問題点を理解する。	⑦功利主義(1)：ベントムとミルのアイディアとその根拠を説明できる。	I-7	ベントムとミルの功利主義について調べ、考える。	1.0
8	5/16	森	【ユニット4】 ① 規範倫理	帰結主義の考え方と問題点を理解する。	⑧功利主義(2)：ベントムとミルの議論の問題点を説明できる。	I-8	功利主義の問題点について調べ、考える。	1.0
9	5/23	森	【ユニット5】 授業前半部の復習	授業前半部で学んだことを確認する。また、文章執筆の技法と論文の様式・目的を理解する。	⑨授業前半部で学習した内容を整理できる。また、レポートで要求されていることを説明できる。	I-7	授業前半部の内容を復習する。	1.0
10	5/30	森	【ユニット5】 授業前半部の復習	授業前半部で学んだことを確認する。また、文章執筆の技法と論文の様式・目的を理解する。	⑩レポートに要求される事柄を踏まえて、執筆に必要な技術を説明できる。	II-3	論文・レポートをはじめとする文章の書き方について調べ、考える。	1.0
11	6/6	森	【ユニット6】 ② 規範倫理	義務論の考え方と問題点を理解する。	⑪義務論(1)：カントのアイディアとその根拠を説明できる。	I-4	カントの義務論について調べ、考える。	1.0
12	6/13	森	【ユニット6】 ② 規範倫理	義務論の考え方と問題点を理解する。	⑫義務論(2)：カントの議論の問題点を説明できる。	II-1	義務論の問題点について調べ、考える。	1.0
13	6/20	森	【ユニット7】 自由・権利・責任	実践的な場面に即して、倫理的問題を考える。	⑬ケーススタディ3：ドーピングやエンハンスメントにまつわる倫理的問題を、講義で学んだことを踏まえて、自分なりに議論できる。	II-1	個人の権利について調べ、考える。	1.0
14	6/27	森	【ユニット7】 自由・権利・責任	実践的な場面に即して、倫理的問題を考える。	⑭ケーススタディ4：刑法上の責任と免責にまつわる倫理的問題を、講義で学んだことを踏まえて、自分なりに議論できる。	II-1	道徳的責任と法的責任について調べる。	1.0
15	6/27	森	【ユニット8】 全体の復習	講義の内容を再確認する。	⑮講義全体の総括：講義の内容をふまえて、倫理的問題について、自分でうまく考えることができる。	I-8	これまでの内容をふまえて倫理的問題をみずから見出し、考える。	1.0

ライフコースの社会学 【講義】

科目番号 OD072008

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：友枝 敏雄

(一般目標)

人間は社会的な存在だと言われる。人間が社会を作り、その社会によって人間が作られる。医療従事者は人と接する上で、医療的な技術だけでなく、人とのコミュニケーション能力が求められている。この授業では、コミュニケーション能力の上昇を、他者理解という観点から考えていく。ミクロレベルの社会およびマクロレベルの社会における他者理解の方法とはいかなるものであるのか、他者理解によって、社会における人々の関係が円滑になり、幸せな社会にするにはどうしたらよいかについて、学びながら、医療従事者として社会に貢献していく意欲を醸成していく。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-16

(教育方法)

資料配布と講義

(学習方法)

事前学習としては、講義資料および教科書を予習し、事前に内容を把握しておくこと。授業ではコメントの提出が求められるため、授業時間内にコメントを書けるようにしておくこと。また、事後学習としては、授業で理解できなかった点を文献などを使って復習しておくこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

(評価)

基本的にはレポートのみ（100%）。ただし、授業内で提出されるコメントは、次の授業で紹介された頻度に応じて、レポート評価に加算される可能性がある。
総合評価をポータルサイトに掲示する。

(教科書)

友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴恵著『社会学のエッセンス（新版補訂版）』2017年、有斐閣。

(参考書)

友枝敏雄・山田真茂留編『Do! ソシオロジー（改訂版）』2013年、有斐閣

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	5/8	友枝	社会科学のなかの社会学	社会科学の一分野である社会学を理解する。	大学の学問分野を紹介し、社会学は社会科学の一分野であることを説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
2	5/15	友枝	「社会」の発見と社会学の誕生	19世紀にフランスで社会学が誕生したことを理解する。	西欧近代において「社会」が発見され、「社会」を探求する学問として社会学が誕生したことを説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
3	5/15	友枝	社会学とは	社会学の定義について理解する。	社会学という学問の特色を、経済学、政治学、心理学、文化人類学などの学問と比較しながら説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
4	5/22	友枝	社会の4つの領域と近代化の趨勢	社会の4つの領域について理解する。	社会の4つの領域の活動の担い手および4つの領域の変動の趨勢について説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
5	5/22	友枝	社会現象を客観的に捉えることができるのか	社会現象を自然現象のように客観的に捉えることができるかどうかについて理解する。	社会現象を理解する際に、文化による違いがある場合とない場合とについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
6	5/29	友枝	行為と意味 (相互主観性)	人間の日々の活動の要素である行為と意味について理解する。	人間の日々の活動の要素である行為と意味について説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	5/29	友枝	アイデンティティ	自己を捉える際の中核的な概念であるアイデンティティを理解する。	自己を理解する、もしくは社会のなかの個人を的確に捉える概念としてのアイデンティティについて説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
8	6/5	友枝	スティグマ	自己および他者を捉える概念としてのスティグマを理解する。	自己および他者を捉える概念としてのスティグマについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
9	6/5	友枝	正常と異常	社会で発生する正常な出来事と異常な出来事を理解する。	社会で発生する正常な出来事と異常な出来事を説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
10	6/12	友枝	ジェンダー	社会現象を捉える際の重要な概念であるジェンダーを理解する。	社会現象を捉える際の重要な概念であるジェンダーについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
11	6/12	友枝	規範と制度	人間と社会を成り立たせている規範と制度を理解する。	人間と社会に秩序をもたらしている規範と制度について説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
12	6/19	友枝	不平等と正義	社会における不平等と正義を理解する。	社会において何が不平等であり、何が正義であるのかについて、数値データを用いて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
13	6/19	友枝	共同体	社会の一部分をなす共同体を理解する。	社会の一部分をなす共同体がどのようなものであり、私たちにどのような影響を与えているかについて説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
14	6/26	友枝	国家と市民社会	現代の人間に大きな影響を与える国家と市民社会を理解する。	現代の人間に大きな影響を与える国家と市民社会について説明する。	Ⅲ-16	教科書・講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
15	6/26	友枝	まとめ	社会的動物としての特性を総合的に再確認する。	これまでの授業内容をふまえて、あらためて、人間と社会のあり方および私たちにとって幸せに暮らせる社会の可能性を説明する。	Ⅲ-16	講義資料を事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0

比較文化論 【講義】

科目番号 OD072011

前期： 15コマ
 評価責任者： 岡島 勇太
 担当教員： 岡島 勇太
 西谷 郁

(一般目標)

今日の医療従事者には、医療技術を支え、医療コミュニケーションを円滑にし、医療従事者自身のQOLを高めるための広範な知識や考え方が求められている。それらを遂行するためのひとつの切り口として、比較論的な視点を持つことがあげられる。この視点は、医療環境の国際化、医療の国際協力など、国際的な視点を養い、他国の文化についての見識を高めることにも繋がるが、さらに、異領域相互の比較を行うことで、諸問題の本質的理解力が増すことにもなる。この授業ではそのような視点から、現代文化の比較にとどまらず、歴史的な文化背景（神話や伝説なども含めて）の比較や異領域比較をも講義の対象として、多くの実例を参照しながら、視野を広げ、自ら文化間の諸問題を探し出し、自己学習によってそれを考察し解決する力を身につけることを目標とする。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-1

(教育方法)

講義のほか、比較文化の理解を深める目的でDVD、CD、文芸作品等を適宜使用する。
 既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。
 (グループワーク)

(学習方法)

授業前後に、自国文化と他国文化の類似点・相違点を考え、疑問点があれば各自で調べること。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 15.0 時間】

(評価)

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：最終レポート採点后に成績通知

(教科書)

プリントを配布する。

(参考書)

青木保『多文化理解』岩波新書、2003年。
 久保田信之『ここが違う東西比較文化論』学分社、2006。
 三苦民雄『人びとのかたち—比較文化論』ふくろう出版、2011。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	5/8	西谷	ユニット1 記録と文学の比較：伝染病と記憶	人類の歴史において文字テキスト情報は目的により内容が異なる。文字の役割と意義を考える。	文字テキスト情報を比較分析することで目的と意義を分析し自身の考えを述べる。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
2	5/15	西谷	ユニット2 オリエンタリズムとは何か	ダイバーシティとはなにか、それを実践するためにはどうすべきか実践の重要性を認識する。	自文化と多文化をどう比較するのか、多様性を評価する意義と向き合い方を考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
3	5/15	西谷	ユニット3 麦の伝播と宮崎駿の創造性	麦の伝播を表現するためにチベットの民話を宮崎駿は『シュナの旅』になぜ翻訳したか。比較分析する。	テキストの形式は読者層を的確に見定めることにより決定づけられる。食物の大切さを啓蒙する意義を比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
4	5/22	西谷	ユニット4 アレクサンドロスと中村哲先生の文明共存	古代のアレクサンドロスと中村哲先生の実践例から文明共存の実例を比較考察する。	困難な社会状況において相互理解と協力の実践がいかに可能か比較考察する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
5	5/22	西谷	ユニット5 東アジアの文化交流：金印・沖ノ島・鴻臚館	福岡は異文化交流をどのように可能にしたのか、地域に残る社会経済の足跡を比較分析する。	文化は社会経済や政治など様々な分野と競合し構造化する、その実践例を比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
6	5/29	西谷	ユニット6 遣唐使と医療	中国唐王朝と日本は、仏教を通じた医食同源の思想を定着させた。その過程を比較分析する。	医療の実践を行うために仏教がいかに有効に機能したのか比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
7	5/29	西谷	ユニット7 歴史小説と観光行動：シルクロードとモンゴル帝国のイメージ形成	文化のイメージが形式化され一般に定着する過程を、歴史小説や観光行動の実例から比較分析する。	歴史小説やゲームで醸成したイメージが観光行動に直結しうるのは比較考察する。	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
8	6/5	岡島	ユニット8 欧米文化と日本文化を比較する (1)	「文化を比較する」ということの意味について考える。	文化を比較することの意義を述べる	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
9	6/5	岡島	ユニット9 欧米文化と日本文化を比較する (2)	言語に表れる文化の差異について理解する。(1)	外国文化と自国文化の背景にある相違点や類似点を考察し理解を深める	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
10	6/12	岡島	ユニット10 欧米文化と日本文化を比較する (3)	言語に表れる文化の差異について理解する。(2)	外国文化と自国文化の背景にある相違点や類似点を考察し理解を深める	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
11	6/12	岡島	ユニット11 欧米文化と日本文化を比較する (4)	言語に表れる文化の差異について理解する。(3)	外国文化と自国文化の背景にある相違点や類似点を考察し理解を深める	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
12	6/19	岡島	ユニット12 欧米文化と日本文化を比較する (5)	欧米文化や日本文化の背景について理解する。	文化を比較することの意義を述べる	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
13	6/19	岡島	ユニット13 欧米文化と日本文化を比較する (6)	英語圏文化の特色について理解する。	自国や他国の文化の特徴を比較する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
14	6/26	岡島	ユニット14 欧米文化と日本文化を比較する (7)	社会生活とマナーについて比較し相違を理解する。	自国や他国の文化の特徴を比較する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
15	6/26	岡島	ユニット15 欧米文化と日本文化を比較する (8)	欧米文化や日本文化の相違を振り返り今後の国際性の意義を理解する。	自国や他国の文化の特徴を比較する	VI-1	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

福博の歴史と文化探訪 【講義】

科目番号 OD072012

前期：15コマ

評価責任者：藤田 亜美

藤田 亜美

志村 宗恭（裏千家茶道教室教授）、

高山 英朗（福岡市博物館学芸課）、

担当教員：本田 浩二郎（福岡市経済観光文化局文化財部鴻臚館跡整備係長）、

原田 昌行（原田織物社長）、

平山 道宜（紅葉八幡宮禰宜）、

鬼束 芽依（西南学院大学博物館学芸研究員）

（一般目標）

福岡・博多の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から学び、地域について考えることを目的とした地域志向科目である。福博の地域の成り立ちに関わる歴史的背景や社会環境の特性を理解し、革新をもたらし、伝統を守ってきた先人の地域貢献への努力を学び、われわれが社会人としてどのような社会貢献をしていくかを考える姿勢を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-8, II-4, V-2

（教育方法）

受講定員は20名程度で、講義に加えて現地見学を行う。4回ある現地見学のうち、3回参加することを単位修得の必須条件とする。当該科目では将来の医療人としてふさわしい節度ある行動をすることを重視するため、講師への敬意をもった態度をとることはもちろん、無断欠席や遅刻をしないなど、一般常識に則った行動を求める。

（フィールドワーク）

（学習方法）

各回の予習の項目について、インターネットや刊行物、図書などで調べておく。特に、現地見学では対象施設に各自で直接集合するので、集合時間に遅れないようにアクセスについても事前に調べておくこと。また、現地見学の最中に様々な指示があるので、指示を聞き漏らさないように常に注意しておくこと。なお、毎回の講義および現地見学の後は、レポートを作成して提出することが必須である。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

出席点（30%）およびレポート（70%）の合計で評価する。

出席点には遅刻や受講態度などによる減点がある。また、毎回の授業と現地見学の後はレポートの提出が必須であり、提出がなければ該当する出席点を減点する。なお、出席しなかった講義や現地見学に対するレポートは提出しても評価の対象としない。すべての授業と現地見学が終了した後、成績を発表する。

（教科書）

対面実施の際には特に指定しない。図書館やインターネット等を活用し、事前の調査や予習が必要。

代替授業の際には、あらかじめURLを通知する。

（参考書）

特に指定しない。

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	4/25	志村・藤田	ユニット1 福岡博多の歴史と文化に触れてみよう	福岡博多の歴史と文化探訪の概要を遺跡・記念館・博物館などの資料にもとづいて理解する。	福岡博多の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から考える。	I-8	博多・福岡の歴史や文化のキーワードを5つ選ぶとしたら何か、書き出しておく。	1.25

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
2	5/10	[2回] 本田・藤田	ユニット2 福岡博多の歴史と文化を探索する：現地見学(1)	古代から現代にかけての福岡博多の文化や歴史について、現地見学で得た知識や体験にもとづいて理解する。	鴻臚館や福岡城の歴史について説明できる。	V-2	[2回] 鴻臚館跡遺跡展示館への交通(道順、利用交通機関、所要時間)を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	2] 0.8
3	5/10	[3回] 本田・藤田					[3回] 遺跡から発見される遺物をもとにして人々の生活を復元するための研究方法について調べる。	3] 0.5
4	5/10	[4回] 高山・藤田					[4回] 福岡市博物館への交通(道順、利用交通機関、所要時間)を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	4] 0.8
5	5/10	[5回] 高山・藤田					[5回] 福岡市博物館の展示品で最も注目を集めているのは何か調べてみる。	5] 0.5
							歴史・文化の研究法(材料と方法)について説明できる。	V-2
				現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な学びの姿勢で臨む。	II-4			
6	5/12	志村・藤田	ユニット3 福岡博多の歴史と茶の文化(1)	「茶」の文化を通じて福岡博多の歴史を理解する。	福岡博多における「茶」の歴史を学ぶ。	I-8	お茶の木や抹茶の製法はいつ頃どのようにして日本に伝えられたか調べる。	0.8
7	5/17	[7回] 藤田	ユニット4 福岡博多の歴史と文化を探索する：現地見学(2)	弥生時代の生活やアジアの玄関口としての文化について、現地見学で得た知識や体験にもとづいて理解する。	弥生時代の人々の環濠集落での生活について説明できる。	V-2	[7回] 板付遺跡弥生館への交通(道順、利用交通機関、所要時間)を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	7] 0.5
8	5/17	[8回] 藤田					[8回] 板付遺跡の環濠集落に住んでいた人々がどのような生活していたのかについて調べる。	8] 0.8
9	5/17	[9回] 藤田					[9回] 福岡アジア美術館への交通(道順、利用交通機関、所要時間)を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	9] 0.5
10	5/17	[10回] 藤田					[10回] 福岡市とアジア各国との交流の歴史と現状について調べる。	10] 1.25
				アジアの玄関口としての福岡博多の文化について説明できる。	V-2			
				現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な学びの姿勢で臨む。	II-4			

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
11	5/31	[11回] 原田・藤田	ユニット5 福岡博多の歴史と文化を探访する：現地見学（3）	福岡博多の伝統工芸や福岡におけるキリスト教文化について、現地見学で得た知識や体験にもとづいて理解する。	福岡博多の伝統工芸の伝来と洗練の歴史について学習する。	V-2	[11回] 福岡商工会議所および「博多町家」ふるさと館への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	11] 0.8
12	5/31	[12回] 原田・藤田					[12回] 博多織協同組合のホームページなどにアクセスし、博多織の特徴や人気のある製品について調べてみる。	12] 0.5
13	5/31	[13回] 鬼束・藤田					[13回] 西南学院大学博物館への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	13] 0.8
14	5/31	[14回] 鬼束・藤田					福岡博多におけるキリスト教史について学習する。	V-2
					現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な学びの姿勢で臨む。	II-4		
15	6/7	[15回] 平山・藤田	ユニット6 福岡博多の歴史と文化を探访する：現地見学（4）	紅葉八幡宮の歴史や国際交流の観点からの福岡博多の歴史や文化について、現地見学で得た知識や体験にもとづいて理解する。	紅葉八幡宮の歴史と福岡博多の文化について学ぶ。	V-2	[15回] 紅葉八幡宮への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	15] 0.8
16	6/7	[16回] 平山・藤田					[16回] 紅葉八幡宮の歴史を調べる。	16] 0.8
17	6/7	[17回] 藤田					[17回] 福岡国際会議場への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。	17] 0.8
18	6/7	[18回] 藤田					国際的交流の点から見た福岡博多の歴史と文化について説明できる。	V-2
					現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な学びの姿勢で臨む。	II-4		
19	6/9	志村・藤田	ユニット7 福岡博多の歴史と茶の文化（2）	福岡博多における「茶」によるおもてなしの文化を理解する。	福岡博多における「茶」によるおもてなしの文化を説明できる。	I-8	茶道のおもてなしの哲学について調べる。	1.25

後 期

スポーツⅡ 【実習】

科目番号 OD011023

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：町田由紀子、東和樹

(一般目標)

スポーツをとおして健康管理の方法としてスポーツの基礎技術や戦術について体験的に学修し、体力を向上させると同時に、スポーツを楽しむ態度を養う。また練習やゲーム等をとおして心理社会的スキル(目標設定スキルやコミュニケーションスキルなど)について理解し、改善・向上させる。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-4, I-8, II-3

(教育方法)

実習

(実習・演習)

(学習方法)

体験学習、その他予習の項目に記載の内容を参考にすること 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

授業参加態度(50%) 服装違反 減点1 実技試験および授業中の提出物(50%)
評価後、評価結果を呈示する。

(教科書)

なし

(参考書)

種目のルール等のプリント配布

回	日	担当者	ユニット	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	町田由紀子、東和樹	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・オリエンテーション ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3	・体調管理について考え実践する	1.0
					お互いにコミュニケーションをとる。	II-3		
2	9/10	町田由紀子、東和樹	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける	他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3	・基礎知識を理解する	1.0
					・スポーツ種目の基礎知識を身につける	II-3		
3	9/17	町田由紀子、東和樹	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける	他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3	・基礎技術を理解する	1.0
					・スポーツ種目の基礎技能を理解する	II-3		
4	9/24	町田由紀子、東和樹	ユニット1 スポーツ種目の基礎知識と基礎技術	・スポーツ種目の基礎技能を習得する	お互いにコミュニケーションをとる。	II-3	[4回] ・基礎技能の復習をする	4] 1.0
5	10/1						基礎技術の反復練習をする。	I-4

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	10/8	町田由紀子、東和樹	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術（戦術）	・スポーツ種目の基礎技術（戦術）を理解する	お互いにコミュニケーションをとる。	II-3	・戦術を理解する	1.0
					ケースに応じた基礎技術の反復練習をする。	I-4		
7 8	10/15 10/22	町田由紀子、東和樹	ユニット2 スポーツ種目の基礎技術（戦術）	・スポーツ種目の基礎技術（戦術）を習得する	お互いにコミュニケーションをとる	II-3	[7回] ・戦術を理解する	7] 1.0
					ケースに応じた基礎技術の反復練習をする	I-8	[8回] ・戦術を理解する	8] 1.0
9	10/29	町田由紀子、東和樹	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技術（ニュースポーツ①）	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する	お互いにコミュニケーションをとる	II-3	・基礎知識・基礎技術を理解する	1.0
				・チームワークを高める	他者と協力して目的達成に寄与する。	I-8		
10	11/5	町田由紀子、東和樹	ユニット3 スポーツ種目の基礎知識・基礎技術（ニュースポーツ②）	・スポーツ種目の基礎知識・基礎技術を理解する	お互いにコミュニケーションをとる	II-3	・基礎知識・基礎技術を理解する	1.0
				・チームワークを高める	他者と協力して目的達成に寄与する。	I-8		
11	11/12	町田由紀子、東和樹	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技術	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術）	お互いにコミュニケーションをとる	II-3	・応用技術の復習をする	1.0
					チームメンバーとゲームの内容を振り返り、戦術をたてる	II-3		
12 13 14	11/19 11/26 12/3	町田由紀子、東和樹	ユニット4 スポーツ種目の応用知識・応用技術	・ゲームによる総合技能の習得（動きと戦術・ルールと審判の実践）	お互いにコミュニケーションをとる	II-3	[12回] ・応用技術の復習をする ・審判の基礎知識を理解する。 ・ゲームの研究をする	[12] 1.0
					チームメンバーとゲームの内容を振り返り、戦術をたてる	II-3	[13回] ・審判の基礎知識を理解する。 ・前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う。	[13] 1.0
							[14回] ・ゲームの研究をする。 ・前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う。	[14] 1.0
15	12/10	町田由紀子、東和樹	ユニット5 活動のまとめ	・スポーツ全般の知識と技術	他者と協力して目的達成に寄与する。	II-3	・スポーツ全般の知識と技術を理解する。	1.0
					お互いにコミュニケーションをとる	II-3		

知的技法Ⅱ 【講義】

科目番号 OD011017

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、永嶋哲也

担当教員：松井貴英、住吉燦史郎

(一般目標)

前期の授業(知的技法I)では様々な知的技法を学び、グループ・ワークでの研究成果を発表してもらった。しかし、大学では研究成果の発表のみならず、それをレポートや論文にまとめることも求められる。レポートや論文の作成にかかわる知的技法は「アカデミック・ライティング」と呼ばれる。後期の知的技法IIでは、アカデミック・ライティングを学び、グループ単位での問題を自分の問題として捉え直すことを通じて、レポート作成ができるようになることを目指す。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-7, I-8, I-9

(教育方法)

講義。板書・スライド・配布資料を用いながら解説を行う。また、適宜グループ・ワーク(相互添削等)を課す。
(グループワーク)

(学習方法)

授業に集中すること。また、毎回の授業へのリアクション・ペーパーを授業終了後に提出すること。(リアクション・ペーパーの提出がなければ出席とみなさない) 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

平常点(授業への参加状況、授業内で課されるワークへの取り組みの状況およびその成果等、これらをもとに総合的に評価する)30%
学期末のレポート提出70%
掲示により成績通知を行う。

(教科書)

指定しない。毎回の講義で扱うレジュメを配布する。

(参考書)

河野哲也(2002).『レポート・論文の書き方入門』,東京,慶応義塾大学出版会.
木下是雄(1994).『レポートの組み立て方』,東京,筑摩書房.
戸田山和久(2013).『新版 論文の教室——レポートから卒論まで』,東京,NHK出版.
伊勢田哲治(2005).『哲学思考トレーニング』,東京,筑摩書房.

回	日	担当者	ユニット	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/1	松井、住吉	ユニット1 イントロダクション	本講義の全体像と目的を理解する	本講義の全体像と目的を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					「アカデミックライティング」という言葉の内実を説明できる	I-7		
2	9/8	松井、住吉	ユニット2 レポートの役割	レポートの役割を理解する	レポートとはいかなるものかを説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					大学生のレポートと社会人のレポートがどのようなものかを説明できる	I-7		
3	9/22	松井、住吉	ユニット3 事実と意見の区別	事実と意見の区別を理解する	事実と意見を区別できるようになる	I-8	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートが事実の記述を重視することを説明できる	I-9		
4	9/29	松井、住吉	ユニット3 事実と意見の区別	事実と意見の区別を理解する	事実と意見の定義を説明できる	I-8	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
5	10/6	松井、住吉	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートを作成する手順を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの主題を決定することができる	I-9		
6	10/20	松井、住吉	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートの目標規定文(主題文)を作成することができる	I-9	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの材料を集めることができる	I-8		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	10/27	松井、住吉	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートの様々な制約を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの標準的構成を説明できる	I-7		
8	11/10	松井、住吉	ユニット5 本講義前半部のまとめ	講義前半部で学んできたことの理解度を確認する	これまでの講義内容を説明できる。また、事実に関する文と意見文を実際に書き分けてみる	I-8	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
9	11/10	松井、住吉	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	読み手の立場になってレポートの文章を説明できる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの叙述の順序を説明できる	I-7		
10	11/17	松井、住吉	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	事実の記述と意見の記述をできるようになる	I-9	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					明快で明確な文章を書くことができるようになる	I-7		
11	11/17	松井、住吉	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	文章のパラグラフ構造を理解し、実際に組み立てることができるようになる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
12	12/1	松井、住吉	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	すらすら読める文・文章を書くことができるようになる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
13	12/1	松井、住吉	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	レポート用紙を正しく使うことができる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					区切り記号を正しく使うことができる	I-7		
14	12/8	松井、住吉	ユニット7 レポートの書き方	書評作成に向けた文章作成法について説明できる	出典を正しく示すことができる	I-7	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					表と図を正しく使用できる	I-7		
					レポートの読み直しと修正を行うことができる	I-8		
15	12/15	松井、住吉	ユニット8 全体のまとめ	本講義で学んできたことの理解度を確認する	本講義で学んできたことを説明できる	I-9	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0

経済学 【講義】

科目番号 OD011010

後期：15コマ

評価責任者：学生部長

担当教員：山崎 好裕

(一般目標)

医療人として合理的な判断ができるようになり、経済学に基づく社会現象の理解が可能になること。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-6

(教育方法)

講義形式で授業を行うが、利用可能なアクティブラーニングの手法も適宜取り入れる。

(学習方法)

予習はテキストの該当する範囲を読んでおくこと(30分)。復習は授業内容をまとめ計算問題を確認すること(30分)。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

定期試験で100%評価するが、授業中の質問などのやり取りも評点に加算する。最終評点はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

山崎好裕『おもしろ経済数学』ミネルヴァ書房、2006年。

(参考書)

特に指定しない。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/1	山崎 好裕	消費生活の数学 (1)	効用概念の理解	財やサービスの役立ちに付いて説明できる	I-6	テキスト3~8ページ	1.0
2	9/1	山崎 好裕	消費生活の数学 (2)	財の組合せの理解	消費における財の組合せについて説明できる	I-6	テキスト9~17ページ	1.0
3	9/8	山崎 好裕	消費生活の数学 (3)	価格の役割の理解	価格の変化と消費について説明できる	I-6	テキスト17~23ページ	1.0
4	9/8	山崎 好裕	売上増大の数学 (1)	消費者余剰の理解	経済が社会にもたらすメリットを説明できる	I-6	テキスト27~33ページ	1.0
5	9/22	山崎 好裕	売上増大の数学 (2)	独占価格の理解	価格の形成について説明できる	I-6	テキスト33~41ページ	1.0
6	9/22	山崎 好裕	売上増大の数学 (3)	企業数と競争の理解	企業数が多くなると何が起きるかを説明できる	I-6	テキスト41~46ページ	1.0
7	9/29	山崎 好裕	企業経営の数学 (1)	生産要素の理解	生産に必要な要因について説明できる	I-6	テキスト49~53ページ	1.0
8	10/6	山崎 好裕	企業経営の数学 (2)	労働と資本の代替関係の理解	労働と資本の構成がどのように決まるかを説明できる	I-6	テキスト54~62ページ	1.0
9	10/20	山崎 好裕	企業経営の数学 (3)	費用と生産の理解	費用と生産規模の関係を説明できる	I-6	テキスト63~69ページ	1.0
10	10/27	山崎 好裕	勢力均衡の数学 (1)	戦略的行動の理解	相手の行動に合わせて自分の行動をどう決めるかを説明できる	I-6	テキスト73~78ページ	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
11	11/10	山崎 好裕	勢力均衡の数学 (2)	結託とコアの理解	結託をもたらすような分配について説明できる	I-6	テキスト78~85ページ	1.0
12	11/17	山崎 好裕	勢力均衡の数学 (3)	極限定理の理解	市場参加者が増えると何が起こるかを説明できる	I-6	テキスト85~90ページ	1.0
13	12/1	山崎 好裕	資産運用の数学 (1)	金利と割引現在価値の理解	経済にとっての金利の役割を説明できる	I-6	テキスト93~98ページ	1.0
14	12/8	山崎 好裕	資産運用の数学 (2)	国債価格と利回りの理解	国債の価格と金利の関係を説明できる	I-6	テキスト98~104ページ	1.0
15	12/15	山崎 好裕	資産運用の数学 (3)	ポートフォリオ理論の理解	株式投資の考え方について説明できる	I-6	テキスト104~109ページ	1.0

人文科学 【講義】

科目番号 OD011026

後期：15コマ
 評価責任者：岡島勇太
 岡島勇太
 担当教員：檜崎洋一郎
 Vera Yagubova

(一般目標)

本講義は、国際的な視野に立ち、各講師がさまざまな文学作品を取り上げて、国際力（外国の諸事情、民族性等）やコミュニケーション能力（読み取る力、自分の意見をまとめて伝える力、相手の言葉を理解し応答する力等）の育成、向上を目指す。文学作品は、一時代、一作家に限定せず、国内、国外の広い範囲から取り上げて国際的視野を広げる。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-1

(教育方法)

講義のほか、人文科学の理解を深める目的で視聴覚教材を適宜使用する。既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。(グループワーク)

(学習方法)

授業前後に国際社会における様々な問題点を調べ、講義を通じて問題解決に至る糸口を見つけること。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

(評価)

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：最終レポート採点后に成績通知

(教科書)

プリントを配布する。

(参考書)

中国文学入門（講談社学術文庫）
 新版 ロシア文学案内（岩波文庫）
 はじめての文学講義——読む・書く・味わう（岩波ジュニア新書）
 映画で楽しむイギリスの歴史（金星堂）
 それぞれの書籍は平易な文章で書かれていて読みやすく、文芸作品の読み方や国際力の向上に役に立つ。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	岡島	ユニット1 ウィリアム・シェイクスピアの作品『ハムレット』など	ヨーロッパ（特にイギリス）の思考パターンを文学作品をつづじて理解する。(1)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
2	9/10	檜崎	ユニット2 「文学」として読む諸子百家（『論語』）（その1）	中国の思想について理解する。(1)	中国の文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
3	9/17	檜崎	ユニット3 「文学」として読む諸子百家（『論語』）（その2）	中国の思想について理解する。(2)	中国の文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
4	9/24	檜崎	ユニット4 「文学」として読む諸子百家（『老子』）	中国の思想について理解する。(3)	中国の文学作品を解釈し、それぞれの特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
5	10/1	檜崎	ユニット5 「文学」として読む諸子百家（その他の諸子百家たち）（その1）	中国の思想について理解する。(4)	中国の文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
6	10/8	檜崎	ユニット6 「文学」として読む諸子百家（その他の諸子百家たち）（その2）	中国の思想について理解する。(5)	中国の文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
7	10/15	岡島	ユニット7 ジェイン・オースティンの作品『分別と多感』など	ヨーロッパ（特にイギリス）の思考パターンを文学作品をつづじて理解する。(2)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
8	10/22	岡島	ユニット8 チャールズ・ディケンズの作品『オリヴァー・ツイスト』など	ヨーロッパ (特にイギリス) の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(3)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
9	10/29	岡島	ユニット9 J. R. R. トールキンの作品『ホビットの冒険』など	ヨーロッパ (特にイギリス) の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(4)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
10	11/5	岡島	ユニット10 ノーベル文学賞作家 カズオ・イシグロの作品『日の名残り』など	ヨーロッパ (特にイギリス) の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(5)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
11	11/12	Yagubova	ユニット11 ロシアのおとぎ話の不思議な世界へようこそ！ロシアの民謡民話。アレクサンドル・アフナーシエフ、ウラジーミル・ターリ。ロシアの挿絵とおとぎ話の世界。現代のロシアのおとぎ話。セルゲイ・コズロフ、ユリー・ノルシュテイン	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(1)	ヨーロッパや日本の文学作品について調べ、自分の意見をまとめて表現する。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
12	11/19	Yagubova	ユニット12 ロシア文学の黄金時代 (ゴールデンエイジ) (1) アレクサンドル・プーシキン、ミハイル・レールモントフ、ニコライ・ゴーゴリ	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(2)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
13	11/26	Yagubova	ユニット13 ロシア文学の黄金時代 (ゴールデンエイジ) (2) フョードル・ドストエフスキ、レフ・トルストイ、イワン・ツルゲーネフ、アントン・チェーホフ	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(3)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
14	12/3	Yagubova	ユニット14 ロシア文学のシルバーエイジ: アンナ・アフマートヴァ、マリーナ・ツヴェターエワ、ウラジーミル・マヤコフスキー	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(4)	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
15	12/10	Yagubova	ユニット15 ソビエト時代と現代ロシア文学: ミハイル・ブルガーコフ、イリフ&ペトروف、セルゲイ・コズロフ、ボリス・アケニン、エフゲニー・ヴォドラズキン	ヨーロッパの思考パターンを文学作品をつうじて理解する。(5)	ヨーロッパと日本の文学作品について調べ、自分の意見をまとめて表現する。	VI-1	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0

異文化理解 【講義】

科目番号 OD011024

後期：15コマ
 評価責任者：学生部長
 岡島勇太
 担当教員：木村貴
 西谷郁

(一般目標)

本講義は、異文化の理解を通じて自ら文化間の諸問題を探し出し、自己学習によってそれを考察し解決する力を身につけることを目標とする。医療環境の国際化、医療の国際協力などにより、現代あるいは将来の医療従事者には国際的な視点に立った異文化についての見識が要求されている。この授業ではその中で、姉妹校や、福岡という場所の関係から、特に、中国、韓国、アメリカ、あるいはヨーロッパ等の異文化について理解と見識を深めることを目的とする。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-1

(教育方法)

講義のほか、異文化理解を深める目的でDVD、CD、文芸作品等を適宜使用する。既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。

(グループワーク)

(学習方法)

授業前後に、自国文化と他国文化の類似点・相違点を考え、疑問点があれば各自で調べる。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：最終レポート採点后に成績通知

(教科書)

プリントを配布する。

(参考書)

青木保『異文化理解』岩波新書、2001年。 青木保『多文化理解』岩波新書、2003年。 葛 兆光、他『中国再考——その領域・民族・文化』岩波現代文庫、2016年。 任 榮哲『韓国の日常世界—生活・社会・文化の基礎知識』ベスト新書、2004年。 池田智、松本利秋編『早わかりアメリカ』日本実業出版社、2009年。 それぞれの著書は異文化の理解を深めるのに役立つ。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/5	岡島	欧米文化について (1)	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。(1)	アメリカ文化やヨーロッパ文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討論によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
2	9/12	岡島	欧米文化について (2)	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。(2)	欧米文化の人々との接し方(コミュニケーション方法)のより良い方法を調べる。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
3	9/12	西谷	中世の東アジア文化について	中世の東アジアでは急速に経済交流が発展し、古典小説が広く流通するようになった。作品のコンセプトと精神性について理解する。	東アジア文化の配布資料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化を理解する。更にグループ討論によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
4	9/19	西谷	東南アジアのメディア文化について	東南アジアのメディア文化を学び、多くの外国人労働者と共生すべきか、基本的なコミュニケーションの題材を理解する。	今後増加が見込まれる東南アジアの医療関係者とコミュニケーションするための背景となる基礎的な文化を理解し、医療人として将来的に役に立つ実践的な異文化理解の方法を推論する。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
5	9/19	西谷	インドと中東アジアのメディア文化	インドと中東アジアのメディア文化を学び、多くの外国人労働者と共生すべきか、基本的なコミュニケーションの題材を理解する。	今後注目されるインドや中東アジアの情勢の基礎的な文化を理解し、医療人として将来的に役に立つ実践的な異文化理解のための類似点や相違点を列挙する。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	9/26	岡島	欧米文化について（3）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（3）	異文化の人々との接し方のより良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
7	10/3	西谷	中国近代のメディア文化について	中国の近代のメディア文化を理解するために、二人の女優が対峙した誹謗中傷とプロパガンダという問題解決の実例を分析し歴史認識問題について基本的なコミュニケーション方法を理解する。	異文化を理解するためには様々な障害があり誹謗中傷やプロパガンダの問題を理解することで現代のメディアリテラシーの問題を考察する。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
8	10/3	西谷	現代日本とディアスポラについて	アジアの現代文化に多大な影響を及ぼした日本のポップカルチャーと、グローバルに活躍するディアスポラに着目し今後のアジアの異文化理解の意義を考察する。	日本のポップカルチャーの功績とディアスポラが実践する異文化を越えた活躍の在り方を理解し未来の活動へと結びつける。	VI-1	アジア文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
9	10/17	岡島	欧米文化について（4）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（4）	異文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
10	10/24	岡島	欧米文化について（5）	アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（5）	異文化の人々との接し方のより良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
11	12/5	木村	韓国文化について（1）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（1）	韓国文化の配付資料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
12	12/5	木村	韓国文化について（2）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（2）	韓国文化の配付資料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
13	12/12	木村	韓国文化について（3）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（3）	韓国文化の配付資料、ビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
14	12/12	木村	韓国文化について（4）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（4）	韓国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
15	12/12	木村	韓国文化について（5）	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。（5）	異文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

communication training 【演習】

科目番号 OD011021

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、谷口 奈央

担当教員：町田 由紀子

(一般目標)

創造性・協調性・多様性など、円滑なコミュニケーションに必要ないくつかの方法を通して理解し、身につける。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-8, II-1, II-3, II-4

(教育方法)

小グループなどのグループワーク学習をとり入れる。

(グループワーク) (実習・演習)

(学習方法)

グループ学習

各授業の「予習の項目」に記載の内容を参考にすること。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

授業参加態度(50%) 発表およびレポート・授業中の提出物(50%)

評価後、評価結果を呈示する。

(教科書)

指定なし

(参考書)

「楽しさをとおした心の元気づくり～レクリエーション支援の理論と方法～」(公財)日本レクリエーション協会

回	日	担当者	ユニット	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	町田由紀子	ユニット1 オリエンテーション	授業の目的・意義・内容について理解する	自己紹介および相手を知る	II-4	初対面のコミュニケーションについて考える	1.0
2	9/10	町田由紀子	ユニット2 アイスブレイキング	アイスブレイキングの手法を知る	自分を知る, 相手を知る作業をする	II-4	アイスブレイクの目的と方法について調べる	1.0
3	9/17	町田由紀子	ユニット2 アイスブレイキング	アイスブレイキングの効果について理解する	多くの人とコミュニケーションをとる	II-3	アイスブレイクの効果について調べる	1.0
4	9/24	町田由紀子	ユニット3 コミュニケーションの手法	バーバルコミュニケーション・ノンバーバルコミュニケーションを理解する	コミュニケーションの方法の違いを理解する	II-3	コミュニケーションの方法について調べる	1.0
5	10/1	町田由紀子	ユニット4 コミュニケーションと信頼関係づくり	からだ気づき・身体の癖を知る	ペアワークを行いながら自分の身体の癖を知る	II-3	コミュニケーションの方法について調べる	1.0
6	10/8	町田由紀子	ユニット4 コミュニケーションと信頼関係づくり	コミュニケーションの距離について理解する	課題解決型ゲームを実践する イニシアティブゲーム1	I-8	課題解決型ゲームについて調べる	1.0
7	10/15	町田由紀子	ユニット4 コミュニケーションと信頼関係づくり	コミュニケーションの距離について理解する	課題解決型ゲームを実践する イニシアティブゲーム2	I-8	課題解決型ゲームについて調べる	1.0
8	10/22	町田由紀子	ユニット5 ホスピタリティトレーニング フラインドワーク	視覚障害者のコミュニケーションを理解する	視覚障害者のコミュニケーションを理解する	II-1	視覚障害者への配慮について考える	1.0
				環境を理解する	自然を用いたグループワークで環境を知る	II-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
9	10/29	町田由紀子	ユニット6 コミュニケーション トレーニング	良好な集団づくり（チーム ビルディング）について理 解する	仲間づくりのアクティビティとふ りかえりの重要性を理解する	II-1	チームビルディングにつ いて調べる	1.0
10	11/5	町田由紀子	ユニット6 コミュニケーション トレーニング	良好な集団づくり（意見を 言う・聞く・理解する）	他者と協力して目的達成に寄与す る。	II-3	イニシアティブゲームにつ いて調べる	1.0
					多様性について理解する	II-3		
11	11/12	町田由紀子	ユニット6 コミュニケーション トレーニング	良好な集団づくり（意見を 言う・聞く・理解する）	他者と協力して目的達成に寄与す る。	II-3	イニシアティブゲームにつ いて調べる	1.0
					自分の意見をはっきりと言う、人 の意見を受け止める	II-3		
12	11/19	町田由紀子	ユニット7 チーム作業1 ホスピタリ ティトレー ニング 手 話・手話ソ ング	聴覚障害者のコミュニケー ションを理解する	聴覚障害者のコミュニケーション を理解する	II-1	挨拶など日常生活で使える 手話表現について調べる	1.0
13	11/26	町田由紀子	ユニット7 チーム作業2 ホスピタリ ティトレー ニング 手 話・手話ソ ング	レクリエーション支援企画 書作成	対象にあわせたレクリエーショ ン・ワーク と素材・アクティビ ティの活用について考える	II-3	支援技術について考える	1.0
					他者と協力して目的達成に寄与す る。	II-3		
14	12/3	町田由紀子	ユニット7 チーム作業3 支援技術	レクリエーション支援発表	他者と協力して目的達成に寄与す る。	II-4	支援技術について考える	1.0
					支援技術を発揮する	II-4		
15	12/10	町田由紀子	まとめ	コミュニケーションスキルの 向上に必要なものにつ いて理解する	対人コミュニケーションにつ いてこれまでの授業の内容を元に考 える	II-4	コミュニケーションとは何 か考える	1.0

課題解決演習 I 【演習】

科目番号 OD011018

後期：15コマ

評価責任者：松浦 尚志、藤田 亜美、永嶋 哲也

松浦 尚志、藤田 亜美、永嶋 哲也、
担当教員：池邊 哲郎、江頭 敬、岡島 勇太、梶本 昇、鍛冶屋 浩、岸川 咲吏、佐藤 平、谷口 卓、筑井 朋子、豊永 憲司、長岡 良礼、廣瀬 陽菜、藤兼 亮輔、益崎 与泰、松本 和磨、三輪 佳愛、柳 東、大和 寛明、湯浅 賢治

(一般目標)

社会問題や医療倫理について考え、討論（ディベート）や発表を通じて、コミュニケーション能力を修得するとともに、歯科医師としての将来像と使命感を醸成する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-8, I-9, II-2, II-3, II-4, VI-5

(教育方法)

1 グループ8~10名のグループ討論
(ディスカッション・ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) (実習・演習)

(学習方法)

次回の授業の課題（項目）に関する情報をインターネットなどで収集し、自分なりの意見をもっておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

(評価)

- 1) グループごとのディベートにおける個人単位（発言内容、発言回数、役割の遂行度など）の観察評価
- 2) ディベートにおけるグループ単位の観察評価と対戦評価（ディベート対戦による勝者への加点）
以上1)2)については各授業の最後にグループごとに勝敗と評価内容をフィードバックする。
- 3) 提出物における個人単位の評価を、毎週各グループにライターがつき、点数をつけて評価する。全部の平均が60点以上を合格とする。
3)については全授業終了後に成績を発表し60点未満の者に面談と小論文を課してフィードバックする。

(教科書)

なし

(参考書)

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	10/7	松浦、藤田、永嶋ほか	ユニット1 オリエンテーション ディベートルールを学ぶ	本演習の目的を理解する。	ディベートの意義について説明できる。	II-4	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	1.0
					他人の意見を理解できる。	II-4		
					聞きやすい明瞭な発声ができる。	II-3		
2	10/14	松浦、藤田、永嶋ほか	ユニット2 ディベート練習 身近な話題を話し合おう	競技ディベートの方法を理解する。	討論ディベートのルールを説明できる。	II-4	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	2]
3	10/14				自分の意見や考えを発表できる。	II-3		1.0
4	10/14					聞きやすい明瞭な発声ができる。		II-3
5	10/21	松浦、藤田、永嶋ほか	ユニット3 社会問題について話し合おう (1)	社会問題に対して意見をもつ。(1)	情報収集し、まとめることができる。	I-8	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	5]
6	10/21				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	II-2		1.0
7	10/21					皆の前で発表できる。		II-3

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
8	10/28	松浦、藤田、永嶋ほか	ユニット4 社会問題について話し合おう(2)	社会問題に対して意見をもつ。(2)	情報収集し、まとめることができる。	I-8	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	8]
9	10/28				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	II-2		10]
10	10/28				皆の前で発表できる。	II-3		11]
11	11/4	松浦、藤田、永嶋ほか	ユニット5 社会問題について話し合おう(3)	社会問題に対して意見をもつ。(3)	情報収集し、まとめることができる。	VI-5	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	11]
12	11/4				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	VI-5		12]
13	11/4				皆の前で発表できる。	II-2		13]
14	11/11	松浦、藤田、永嶋ほか	ユニット6 社会問題について話し合おう(4)	社会問題に対して意見をもつ。(4)	情報収集し、まとめることができる。	VI-5	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	14]
15	11/11				自分の意見を整理し、他者と議論できる。	VI-5		15]
16	11/11				皆の前で発表できる。	II-2		16]
17	11/18	松浦、藤田、永嶋ほか	ユニット7 自分自身について考えよう 自律をしよう	自分を律することを決めることができる。	情報収集し、自分の考えをまとめることができる。	I-9	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	17]
18	11/18				自分の考えを自分一人で深めることができる。	I-9		18]
					自分の意見を他者に提示できる形に整理できる。	II-2		19]

情報処理実習Ⅱ 【実習】

科目番号 OD011015

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、学生部次長

担当教員：工藤文彦

(一般目標)

現在の医療の世界では、電子カルテや病院内ネットワークによるデータ共有など、積極的にICTが活用されている。医療従事者が、これら全てにおいて熟知しておく必要はないものの、必要最低限の知識や技術は持たねばならない。本実習はⅠおよびⅡを通して、その基本的事項を習得することが狙いである。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-7

(教育方法)

PCを用いた実習とする。必要に応じ、教材配布する場合がある。

(実習・演習)

(学習方法)

“学習の基本的姿勢として、自らが積極的に丁寧に学習し、分からないものを放置しないことである。恥ずかしいのは、「分からぬ」ものを「分かる」と偽ることであり、患者様の生命をお預かりする将来の医療従事者として、真摯な態度で臨みたい。学習にあたって必要なことは随時指示する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

(評価)

実習科目のため、定期試験は行わない。原則として、授業日ごとに提出課題を課し、全ての課題の提出および合格をもって、単位認定を行う。正当な理由なき欠席はもちろん、課題未提出には十分に留意すること。最終評点はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

佐瀬雄治著 「看護のための情報リテラシー -ICTを活用した情報科学の基礎からOfficeの操作まで-」 東京図書

(参考書)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	10/10	工藤	オリエンテーション	情報処理実習Ⅰの振り返り	情報処理実習Ⅰで学んだ内容について説明できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
2	10/17	[2回] 工藤	Excelを使ったデータ処理	表計算によるデータ分析	表計算によるデータ分析を実施できる。	I-7	[2回] 予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	2]
3	10/17	[3回] 工藤						1.0
4	10/24	[4回] 工藤						3]
5	10/24	[4回] 工藤						1.0
		[5回] 工藤						5]
							1.0	

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
6	10/31	[6回] 工藤	VBAによる Excel制御	プログラミング言語VBAによる自動操作の基本を理解する	プログラミング言語VBAによる自動操作の基本を説明できる。	I-7	[6回] 予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	6] 1.0
7	11/7	[7回] 工藤						7] 1.0
8	11/14	工藤	PowerPointを使ったプレゼンテーション	基本操作の習得	PowerPointの基本操作を実施できる。	I-7	予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	1.0
9	11/14	[9回] 工藤	PowerPointを使ったプレゼンテーション	プレゼンテーションのための基礎知識及び技術の習得	プレゼンテーションを行うための基礎知識を説明できる。	I-7	[9回] 予習は特段不要であるが、スマホ世代である諸君らは、PC活用について意識して慣れておくことが望ましい。	9] 1.0
10	11/21	[10回] 工藤						10] 1.0
11	11/21	[11回] 工藤						11] 1.0
12	11/28	[12回] 工藤						12] 1.0
13	11/28	[13回] 工藤						13] 1.0
14	12/5	[14回] 工藤						14] 1.0
15	12/12	[15回] 工藤			PowerPointでプレゼンテーションを実施できる。	I-7		15] 1.0

基本操作法実習 【実習】

科目番号 OD011009

後期：17コマ

評価責任者：林道夫

担当教員：佐藤平、都留寛治、丸田道人、梶本昇（物理系）
林道夫、谷口卓（化学系）

（一般目標）

自然化学実験の入門コースとして、実験の取り組み方、基本的な実験操作法、危険物を含む様々な化合物の取り扱い方法や関連法令についての情報検索方法、データの取り扱いなどを修得する。また実験結果のまとめ方や考察手法および発表方法を学ぶ。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-8

（教育方法）

グループに分かれて各実習を行う。

（実習・演習）

（学習方法）

物理系：予習方法として、実習書の当該箇所をあらかじめ読んで手順をよく理解しておく。また自習内容に関連する科学用語の意味を「基礎物理学」および「医療工学」講義の教科書やインターネット等により調べておく。
化学系：実習書をあらかじめ読み、手順をよく理解しておくこと。実習書に用意された設問を解き、レポートを完成させることで、実習で学んだ知識と技術を習得する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：11.0時間】

（評価）

実習・課題の実行度（60%）、レポート（40%）

単位の認定には原則として全ての実習・課題に取り組む必要がある。

レポート提出後、不十分な部分についてはフィードバックを行い再提出を求めることがある。

また必要に応じて不足している習得知識についての補足説明を行い、今後の学習方法の改善に関して個々にフィードバックを行う。

（教科書）

配布するテキスト

（参考書）

物理系

「基礎物理学」教科書：原康夫著『第3版 物理学入門 新装版』学術図書出版社、2024

「医療工学」教科書：中嶋 裕編著『第8版 スタandard歯科理工学』学建書院、2024

化学系：

「統合データベース」(<http://www.genome.jp/ja/>)

「製品評価技術基盤機構データベース」(<http://www.nite.go.jp/chem/index.html>)

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/1	全員	ガイダンス	実習内容とそれらに関する知識を修得する。	実習に参加できる。	I-8	参考書を熟読し、実習内容を予習しておく。	1.4
					実習に必要な基礎的な知識を確認する。	I-8		
2	9/2	全員	ユニット1. 計測機器の取り扱い	ノギスとマイクロメーターの測定原理を理解し、レポートの作成法を学ぶ。	ノギスとマイクロメーターを用いて試料の体積を測定する。	I-8	[2回～17回] 配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	2～17] 0.6
3	9/2							
4	9/2							
5	9/2				誤差の算出方法と有効数字の意味を説明する。	I-8		
6	9/2							
7	9/9							
8	9/9				レポートを作成する上でのルール、必要事項を理解する。	I-8		
9	9/9							
			ユニット2. 重力加速度の測定	重力加速度の測定法を理解する。	振り子の周期から重力加速度を測定する。	I-8		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間		
10	9/16	全員	ユニット3. 物質の密度と熱伝導の測定	密度の意味と測定原理、熱伝導を理解する。	歯科で使用する種々の材料の密度を測定して同定を行う。	I-8	[2回~17回] 配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	2~17] 0.6		
11	9/16									
12	9/16									
13	9/16				様々な物質の熱伝導性を観測する。	I-8				
14	9/16									
15	9/30									
16	9/30		ユニット4. 化学実験に関する基本事項	化学実験を行う時に注意すべき点、薬品に関する情報の検索方法、溶液の調製方法を理解する。	化学実験にふさわしい服装や態度について学ぶ。	I-8				
17	9/30				薬品に関するデータベースにアクセスし、必要な情報を入手する。	I-8				
					目的とする濃度の溶液を調製する。	I-8				
			ユニット5. 吸光度法による硫酸銅水溶液の定量	ランベルト・ベールの法則、検量線について理解し、実験データを用いたグラフの作成法を習得する。	溶液の吸光度を測定する。	I-8				
					測定データを用いてグラフを作成する。	I-8				
					作成した検量線を用いて濃度未知の溶液を定量する。	I-8				
			ユニット6. 中和滴定による酢酸の定量	酸と塩基および中和滴定、中和反応における濃度と滴定量の関係を理解する。	中和滴定を行い、滴定量を測定する。	I-8				
					中和滴定における滴下量から酸または塩基の濃度を算出する。	I-8				

一般数学 【講義】

科目番号 OD011004

後期：15コマ

評価責任者：岡田 彩子

担当教員：岡田彩子

(一般目標)

統計学の全体を俯瞰できるように、広く浅く学習する。そのことで社会を見る目を育て、数学的に社会を観ることができるようにする。行列というものの見方を学び、物事を多次的にとらえる力を育てる。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-8

(教育方法)

プリント(資料)に書きこむ形式で授業を進める。

(学習方法)

予習よりも復習を重視し、講義後に配布したプリントをよく読んで、実際に問題を解くこと。前回配布されたプリントは必ずもってこること。授業中に電卓(√キー付き)が必要になるので、前もって電卓を購入し必ず授業に持参するように。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

定期試験で評価する。ただし定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。
総合評価はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

特になし

(参考書)

『東京大学の先生伝授 文系のためのめっちゃやさしい統計』倉田博史監修 ニュートンプレス出版

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/9	岡田	統計	統計学の基本を理解し、統計で扱われる数字から集団の傾向を読み取る能力を育てる。	世論調査、生命保険のしくみと特性を理解する。	I-8	特になし予習の必要は特にない。	1.0
2	9/30	岡田	統計	統計学の基本を理解し、統計で扱われる数字から集団の傾向を読み取る能力を育てる。	度数分布、代表値、四分位数について基本を学ぶ。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
3	10/7	岡田	統計	統計学の基本を理解し、統計で扱われる数字から集団の傾向を読み取る能力を育てる。	正規分布・標準偏差の理解を深める。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
4	10/14	岡田	統計	統計学の基本を理解し、統計で扱われる数字から集団の傾向を読み取る能力を育てる。	標準偏差の意味を深く掘り下げ、相関関係を理解する。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
5	10/21	岡田	統計	統計学の基本を理解し、統計で扱われる数字から集団の傾向を読み取る能力を育てる。	相関係数の意味を理解し、求めることができる。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
6	10/21	岡田	統計	統計学の基本を理解し、統計で扱われる数字から集団の傾向を読み取る能力を育てる。	疑似相関について考え、その危険性と見抜く力を付ける。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
7	10/28	岡田	統計	統計学の基本を理解し、統計で扱われる数字から集団の傾向を読み取る能力を育てる。	標本誤差を元に視聴率を深く理解する。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
8	11/4	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	虚数への道のりとしてゼロの発見までの歴史を学ぶ。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
9	11/11	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	虚数発見の過程と、その必要性を知る。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
10	11/18	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	数学者が虚数をどう数の世界に位置づけたか概略を知る。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
11	11/25	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	実数の世界から複素平面に視野を広げ、複素数の基本的な計算を身につける。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
12	12/2	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	矢印として複素数を表現し、絶対値や偏角を学ぶ。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
13	12/2	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	正多角形によって複素数の問題を解く。また四元数を知る。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
14	12/9	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	オイラーの公式、オイラーの等式を学び、極形式を理解する。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0
15	12/9	岡田	複素数	虚数が登場した歴史を学び、複素数のかんたんな計算と、社会における複素数の意味を理解する	複素数で学んだことをまとめ問題を解く。	I-8	学習方法に記載したように、前回の復習をする。	1.0

細胞生物学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD011020

後期：26コマ

評価責任者：日高真純

担当教員：日高真純

藤兼亮輔

(一般目標)

生体は、それを構成する細胞から器官系統のレベルに至るまで、互いに情報を伝達し合うことにより統一され、個体としての機能を発揮している。本授業では、DNAの構造と複製・修復のしくみ、遺伝子発現とその制御、遺伝子工学、細胞骨格、細胞の増殖や細胞死、遺伝のしくみ、組織の成り立ちなどについて学習し、生命現象の基礎を理解する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-1, Ⅲ-2

(教育方法)

教科書に基づいた板書、資料プリント、及びプロジェクター等を用いた解説、レポート作成、及び演習問題
(実習・演習) (その他AL)

(学習方法)

授業前に下記の「予習の項目」の該当箇所を読んで講義内容の全体像をつかむこと。また、授業後には該当箇所の図を説明できるように復習すること 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：39.0時間】

(評価)

中間試験：40%、定期試験：60%、講義態度(レポート提出状況、出席状況等)も考慮する。
中間試験後に解説を行う。すべての試験答案と評価を開示して質問を受け付ける。

(教科書)

B. Alberts他著、中村桂子他監訳「Essential 細胞生物学」第5版、南江堂、2021

(参考書)

和田 勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」、第4版、羊土社、2020

(生物を習ったことのない学生でもわかるように図を入れてやさしく解説してある)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	[1回] 日高	ユニット1 DNAの複製、修復、組換え	DNA複製、DNA修復、DNA組換えのしくみを理解する。	DNAの半保存的複製について説明する。	Ⅲ-1	[1回] 教科書の199~215頁	1] 1.5
2	9/8	[2回] 日高			DNA複製に必要なタンパク質を説明する。	Ⅲ-1	[2回] 教科書の199~215頁	2] 1.5
3	9/11	[3回] 日高			DNA複製におけるリーディング鎖とラギング鎖、及び、ラギング鎖のつなぎ合わせについて説明する。	Ⅲ-1	[3回] 教科書の215~226頁	3] 1.5
					テロメアとテロメラーゼによるDNAの末端複製問題の解決のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
					DNAの相同性を利用した組換え反応を説明する。	Ⅲ-1		
					DNA修復反応の分子機構を説明する。	Ⅲ-1		
					突然変異の原因と、変異が遺伝子と生物に及ぼす影響を説明する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
4	9/18	[4回] 日高	ユニット2 DNAからタンパク質へ	遺伝情報の流れ(セントラルドグマ)における転写(DNAからRNA)、翻訳(RNAからタンパク質)のしくみを理解する。	DNAとRNAを構成するヌクレオチドの違いを説明する。	Ⅲ-1	[4回] 教科書の227~243頁	4] 1.5
5	9/22	[5回] 日高			転写を触媒するRNAポリメラーゼの働きを説明する。	Ⅲ-1	[5回] 教科書の227~243頁	5] 1.5
6	9/25	[6回] 日高			遺伝子発現に関わるmRNA、tRNA、rRNAの機能を説明する。	Ⅲ-1	[6回] 教科書の243~265頁	6] 1.5
					転写に関与するDNA上の構造を説明する。	Ⅲ-1		
					転写の開始、伸長、終結の各過程を説明する。	Ⅲ-1		
					遺伝暗号とは何か説明する。	Ⅲ-1		
					遺伝暗号を解明した実験について説明する。	Ⅲ-1		
			tRNAが遺伝暗号とアミノ酸をつなぐしくみを説明する。	Ⅲ-1				
			リボゾームの構造とその翻訳における働きを説明する。	Ⅲ-1				
7	9/29	[7回] 日高	ユニット3 遺伝子発現の調節	遺伝子発現の調節の意義とそのしくみを理解する。	遺伝子発現調節の意義を説明する。	Ⅲ-1	[7回] 教科書の267~278頁	7] 1.5
8	10/2	[8回] 日高			DNA結合タンパク質の働きを説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書の278~287頁	8] 1.5
9	10/6	[9回] 日高			遺伝子発現調節のしくみについて説明する。	Ⅲ-1	[9回] 教科書の287~295頁	9] 1.5
					転写後の遺伝子発現調節のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
10	10/16	[10回] 日高	ユニット4 遺伝子とゲノムの進化	遺伝的変動が生み出すゲノムの進化の機構を理解する。	生殖細胞と体細胞における遺伝子変異の結果の違いを説明する。	Ⅲ-1	[10回] 教科書の297~308頁	10] 1.5
11	10/20	[11回] 日高			遺伝子点変異、重複、欠失、エキソンの混ぜ合わせ、水平伝播について説明する。	Ⅲ-1	[11回] 教科書の309~331頁	11] 1.5
					生物の進化系統樹について説明する。	Ⅲ-1		
					ゲノム上を動く遺伝因子(トランスポゾン)について説明する。	Ⅲ-1		
					ヒトゲノム解読の意義を説明する。	Ⅲ-1		
12	10/23	[12回] 日高	ユニット5 現在の組換えDNA技術	DNAの解析法及び、遺伝子組換え技術を用いた遺伝子クローニングの原理と安全性について理解する。	制限酵素の活性と、その利用法について説明する。	Ⅲ-1	[12回] 教科書の333~364頁	12] 1.5
13	10/27	[13回] 日高			DNAの解析法(ゲル電気泳動、塩基配列決定法)の原理を説明する。	Ⅲ-1	[13回] 教科書の333~364頁	13] 1.5
					cDNAライブラリーの構築法を説明する。	Ⅲ-1		
					PCR法の原理を説明する。	Ⅲ-1		
					遺伝子改変動物の作製法を説明する。	Ⅲ-1		
					遺伝子組換え生物取り扱いの規制について説明する。	Ⅲ-1		
14	10/30	日高	中間試験(ユニット1~5)	ユニット1~5に関する知識を確認する。	ユニット1~5に関する演習問題を解く。	Ⅲ-1	教科書の199~364頁	1.5
15	11/6	日高	中間試験(ユニット1~5)の復習	ユニット1~5に関する知識を習得する。	ユニット1~5に関する演習問題を復習する。	Ⅲ-1	教科書の199~364頁	1.5

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
16	11/10	[16回] 藤兼	ユニット6 細胞骨格	細胞骨格 (中間径フィラメント、微小管、アクチンフィラメント) の構造と機能を理解する。	細胞骨格の概要について説明する。	Ⅲ-1	[16回] 教科書の573~579頁	[16] 1.5
17	11/13	[17回] 藤兼			中間径フィラメントの構造と性質、機能を説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書の580~592頁	[17] 1.5
18	11/17	[18回] 藤兼			微小管の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	[18回] 教科書の592~608頁	[18] 1.5
					微小管の動的不安定について説明する。	Ⅲ-1		
					微小管のモータータンパク質 (ダイニンとキネシン) と微小管結合タンパクについて説明する。	Ⅲ-1		
					アクチンフィラメントの構造と機能を説明する。	Ⅲ-1		
					アクチンのモータータンパク質 (ミオシン) とアクチン結合タンパクについて説明する。	Ⅲ-1		
					アクチンのトレッドミル運動について説明する。	Ⅲ-1		
					筋原線維の構造を説明する。	Ⅲ-1		
			筋収縮のしくみとその制御について説明する。	Ⅲ-1				
19	11/20	[19回] 藤兼	ユニット7 細胞周期	細胞周期の調節機構と細胞分裂、細胞周期チェックポイントのしくみ、及び、細胞死について理解する。	細胞の増殖と細胞周期の過程を説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書の609~617頁	[19] 1.5
20	11/27	[20回] 藤兼			サイクリンが細胞周期を調節するしくみを説明する。	Ⅲ-1	[20回] 教科書の617~639頁	[20] 1.5
21	12/1	[21回] 藤兼			サイクリン依存タンパクキナーゼの機能と調節機構について説明する。	Ⅲ-1	[21回] 教科書の639~649頁	[21] 1.5
					細胞周期チェックポイントの機能と調節機構について説明する。	Ⅲ-1		
					有糸分裂の過程を説明する。	Ⅲ-1		
					有糸分裂における細胞骨格 (微小管、アクチンフィラメント) の役割を説明する。	Ⅲ-1		
			アポトーシスとネクロトーシスの違いを説明する。	Ⅲ-1				
22	12/4	[22回] 日高	ユニット8 有性生殖と遺伝学の力	有性生殖の意義と、遺伝、減数分裂のしくみを理解する。	有性生殖の意義を説明する。	Ⅲ-1	[22回] 教科書の651~663頁	[22] 1.5
23	12/8	[23回] 日高			減数分裂のしくみと、体細胞分裂との違いを説明する。	Ⅲ-1	[23回] 教科書の654~663頁	[23] 1.5
24	12/11	[24回] 日高			メンデルの遺伝の法則を説明する。	Ⅲ-1	[24回] 教科書の664~690頁	[24] 1.5
					連鎖、交差のしくみを説明する。	Ⅲ-1		
25	12/15	[25回] 日高	ユニット9 組織のつくる社会: 組織、幹細胞、がん	組織の成り立ちと維持、及び、がんについて理解する。	細胞外マトリクスと結合組織について説明する。	Ⅲ-2	[25回] 教科書の691~709頁	[25] 1.5
26	12/18	[26回] 日高			上皮層と細胞結合について説明する。	Ⅲ-2	[26回] 教科書の709~733頁	[26] 1.5
					胚性幹細胞とiPS細胞の特徴と作製法について説明する。	Ⅲ-2		
					がんと遺伝子について説明する。	Ⅲ-2		

細胞化学 【講義】

科目番号 OD011011

後期：22コマ

評価責任者：林 道夫

担当教員：林 道夫、 谷口 卓

(一般目標)

前期の基礎化学の知識を基に、生体高分子である糖質、脂質、タンパク質、核酸について学ぶ。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-1

(教育方法)

教科書と配布プリントを元にスライドを用いた講義を行い、演習問題により知識の定着を図る。

(ディスカッション・ディベート)

(学習方法)

講義前に下記の予習の項目に記載された箇所を読んでおくこと。講義後は講義で習ったことや演習問題の復習を行うこと。

【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 22.0 時間】

(評価)

中間試験と定期試験の比率を4:6とし、総合的に判定する。総合評価はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

Alberts B.他 著、 中村桂子他 監訳 『Essential 細胞生物学』 南江堂 2021年

(参考書)

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/5	林	生体を構成する物質	生体は水、有機分子、無機分子から構成されることを理解する。	生体を構成する主要な4元素を列挙する。	Ⅲ-1	教科書 p.41, 50-51, 58-59, 66	1.0
					生体の有機分子は主に糖質、脂質、タンパク質、核酸に分類されることを説明する。	Ⅲ-1		
					それぞれの有機分子の最小構成単位を列挙する。	Ⅲ-1		
					生体を構成する主な無機分子を列挙する。	Ⅲ-1		
			生体を構成する物質の表し方	生体構成成分について構造式の描き方を理解する。	価標を用いた正確な構造式の描き方を説明する。	Ⅲ-1		
					簡略化した構造式の描き方を説明する。	Ⅲ-1		
2	9/5	林	有機分子の基本となる炭化水素1	炭化水素の構造と特徴を理解する。	鎖式炭化水素、環式炭化水素、芳香族炭化水素を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p.44-45, 66	1.0
					飽和炭化水素と不飽和炭化水素を説明する。	Ⅲ-1		
					アルカン、アルケン、アルキンの構造の特徴を説明する。	Ⅲ-1		
					代表的な直鎖状アルカンの名称やその構造を列挙する。	Ⅲ-1		
3	9/12	林	有機分子の基本となる炭化水素2	芳香族炭化水素の構造と特徴を理解する。	ベンゼンの構造を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p.66	1.0
					代表的な芳香族炭化水素を列挙する。	Ⅲ-1		
					芳香族炭化水素の構造異性体を列挙する。	Ⅲ-1		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間	
4 5	9/19	[4回] 林	生体に関わる 脂質の働き	脂質の働きを理解する。	糖質、タンパク質、核酸とは異なり、脂質は水に溶けないことを説明する。	Ⅲ-1	[4回] 教科書 p. 54-55, 74	4] 1.0	
	9/19	[5回] 林			リン脂質などの脂質が細胞膜の構成成分であることを説明する。	Ⅲ-1	[5回] 教科書 p. 55, 74		5] 1.0
			生体に関わる 脂肪酸	脂質の構成単位である脂肪酸の構造と特徴を理解する。	中性脂肪などの脂質がエネルギー源となれることを説明する。	Ⅲ-1			
					脂溶性ビタミンなどの脂質が生体に重要な生理活性物質となれることを説明する。	Ⅲ-1			
					脂肪酸の構造を説明する。	Ⅲ-1			
					代表的な脂肪酸を列挙する。	Ⅲ-1			
					短鎖、中鎖、長鎖脂肪酸の違いを説明する。	Ⅲ-1			
					飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の構造の違いを説明する。	Ⅲ-1			
					飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸をそれぞれ列挙する。	Ⅲ-1			
6	9/26	林	生体に関わる トリアシルグリセロール	エネルギー貯蔵物質であるトリアシルグリセロールの構造と特徴を理解する。	トリアシルグリセロールの構造を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 55, 74	1.0	
					トリアシルグリセロールの働きを説明する。	Ⅲ-1			
7	10/3	林	生体に関わる リン脂質、コレステロール と脂溶性生理活性物質	リン脂質、コレステロールや脂溶性生理活性物質の構造と特徴を理解する。	リン脂質の構造を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 55, 74-75	1.0	
					代表的なリン脂質を列挙する。	Ⅲ-1			
					リン脂質の働きを説明する。	Ⅲ-1			
					コレステロールの働きを列挙する。	Ⅲ-1			
					コレステロール、ステロイドホルモン、胆汁酸に特徴的な構造を説明する。	Ⅲ-1			
					エイコサノイドを説明する。	Ⅲ-1			
8 9	10/10 10/10	[8回] 林 [9回] 林	生体に関わる 糖質	糖質の働きを理解する。	単糖を説明する。	Ⅲ-1	[8回] 教科書 p. 52-53, 72-73	8] 1.0	
					ペントースとヘキソースを説明する。	Ⅲ-1			
					アルドースとヘキソースを説明する。	Ⅲ-1			
					αアノマーとβアノマーを説明する。	Ⅲ-1			
			生体に関わる 単糖類	単糖の構造と特徴を理解する。	ピラノースとフラノースを説明する。	Ⅲ-1	[9回] 教科書 p. 52-53, 72-73	9] 1.0	
					代表的な単糖を列挙する。	Ⅲ-1			

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間	
10	10/17	林	生体に関わる単糖の誘導体	単糖の誘導体の構造と特徴を理解する。	単糖の誘導体を列挙し、それぞれの構造を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 52-53, 72-73	1.0	
			生体に関わる二糖類	二糖の構造と特徴を理解する。	スクロースを構成する2つの単糖を列挙し、それらの糖の間の結合を説明する。	Ⅲ-1			
					ラクトースを構成する2つの単糖を列挙し、それらの糖の間の結合を説明する。	Ⅲ-1			
					マルトースを構成する2つの単糖を列挙し、それらの糖の間の結合を説明する。	Ⅲ-1			
11	10/24	林	生体に関わる多糖類	多糖の構造と特徴を理解する。	代表的な多糖を列挙する。	Ⅲ-1	教科書 p. 52-53, 73	1.0	
					デンプンを構成する単糖を列挙し、その結合様式を説明する。	Ⅲ-1			
					デンプンを分解する酵素を列挙し、分解産物である糖を説明する。	Ⅲ-1			
					グリコーゲンを構成する単糖を列挙し、その結合様式を説明する。	Ⅲ-1			
			生体に関わる複合糖質	複合糖質の構造と特徴を理解する。	代表的な複合糖質を列挙する。	Ⅲ-1			
12	10/31	林、谷口	中間試験	中間試験	中間試験	Ⅲ-1		1.0	
13	10/31	林	生体に関わるビタミン	ビタミンの構造と働き、及び欠乏症を理解する。	ビタミンの特徴を説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 56-58, 78-79	1.0	
					主なビタミンの働きを列挙する。	Ⅲ-1			
					代表的なビタミンの欠乏症を列挙する。	Ⅲ-1			
14	11/7	[14回] 谷口	生体に関わるアミノ酸とタンパク質の働き	アミノ酸やタンパク質の働きを理解する。	アミノ酸の働きを列挙する。	Ⅲ-1	[14回] 教科書 p. 56, 76-77, 118, 120	[14]	
15	11/7	[15回] 谷口			タンパク質の働きを列挙する。	Ⅲ-1			[15]
16	11/14	[16回] 谷口	生体に関わるアミノ酸	生体を構成する20種類のアミノ酸の構造と特徴を理解する。	基本的なアミノ酸の構造を説明する。	Ⅲ-1	[15回] 教科書 p. 76-77, 120 [16回] 教科書 p. 76-77, 120	[16]	
					タンパク質を構成する20種類のアミノ酸を列挙し、その特徴を述べる。	Ⅲ-1			[16]
					20種類のアミノ酸の側鎖の構造を説明する。	Ⅲ-1			[16]
17 18	11/14 11/21	[17回] 谷口 [18回] 谷口	生体に関わるタンパク質	タンパク質の構造と特徴を理解する。	ペプチド結合を説明する。	Ⅲ-1	[17回] 教科書 p. 59, 62-63, 70-71, 76, 126-127, 129-130 [18回] 教科書 p. 59, 62-63, 70-71, 76, 126-127, 129-130, 135-136	[17]	
					タンパク質の一次~四次構造を説明する。	Ⅲ-1			[18]
					コラーゲンに多く存在するアミノ酸を列挙する。	Ⅲ-1			[18]
					カルシトニン、インスリン、グルカゴン、副甲状腺ホルモン (PTH) などの一部のホルモンはタンパク質であることを説明する。	Ⅲ-1			[18]
	生体に関わるアミノ酸誘導体	神経伝達物質やホルモンであるアミノ酸誘導体の構造と特徴を理解する。	生体アミンの構造を説明できる。	Ⅲ-1					
					ドバミン、アドレナリン、ノルアドレナリン、ヒスタミン、セロトニンは生体アミンであることを説明する。	Ⅲ-1			

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間				
19 20	11/28 12/3	[19回] 林	生体に関わるヌクレオチドと核酸の働き	ヌクレオチドと核酸の働きを理解する。	核酸は遺伝情報物質やタンパク質合成に関わることを説明する。	Ⅲ-1	[19回] 教科書 p. 56-59, 78-79	19] 1.0				
					ヌクレオチドはエネルギー通貨、シグナル伝達物質、補酵素として働くことを説明する。	Ⅲ-1			[20回] 教科書 p. 56-59, 78-79	20] 1.0		
					ヌクレオチドを構成する3要素を列挙する。	Ⅲ-1						
					ヌクレオチドとヌクレオチドの構造の違いを説明する。	Ⅲ-1						
		生体に関わるヌクレオチド	ヌクレオチドの構造と特徴を理解する。	ヌクレオチドを構成する塩基の構造を説明する。	Ⅲ-1							
				ヌクレオチドの命名法を説明する。	Ⅲ-1							
				代表的なヌクレオチドを列挙する。	Ⅲ-1							
				オリゴヌクレオチドの構造を説明する。	Ⅲ-1							
21	12/5	林	DNAとしての核酸	遺伝情報物質としてのDNAの構造と特徴を理解する。	DNAはヌクレオチドがホスホジエステル結合により重合してできることを説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 56-58, 79, 174-177, 229-232	1.0				
					DNAを構成する塩基4種類を列挙する。	Ⅲ-1						
					DNAの塩基対合における塩基の組合せを説明する。	Ⅲ-1						
					DNAの塩基対合に使われる化学結合を述べる。	Ⅲ-1						
		RNAとしての核酸	タンパク質合成に関与するRNAの構造と特徴を理解する。	RNAとDNAの構造の違いを説明する。	Ⅲ-1							
				mRNA、rRNA、tRNAのそれぞれの構造の特徴と働きを説明する。	Ⅲ-1							
				22	12/12	林	生体に関わる様々なヌクレオチド	エネルギー通貨、シグナル伝達分子、補酵素として働くヌクレオチドの構造と特徴を理解する。	ATPの構造と働きを説明する。	Ⅲ-1	教科書 p. 57, 79, 104-112, 440, 549	1.0
									cAMPの構造とシグナル伝達物質としての働きを説明する。	Ⅲ-1		
FAD、NAD ⁺ やNADP ⁺ の構造と補酵素としての働きを説明する。	Ⅲ-1											

Practical English I 【講義】

科目番号 OD011007

後期：15コマ
 評価責任者：学生部長
 Wilson Huff
 担当教員：Nielsen P. Moelgaard
 Jay J. Palarino

(一般目標)

In face-to-face communication, students should be able to:
 -use appropriate expressions in each situation
 -understand "who, what, when, where" type questions and answer them correctly
 -understand simple questions and statements related to daily life and correspond to them
 -understand minimum courtesy on interpersonal communication

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-4

(教育方法)

The method of instruction is a student-centered one with different speaking activities such as games, role plays, information gaps, dialogues, and interview. Occasionally quizzes and review exercises will be given.
 (グループワーク)

(学習方法)

Read out the sentences from the textbook many times, and memorize them before and after every class. 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

Graded comprehensively from class performance, regular exam, etc.: notify the grades after the regular exam

(教科書)

New Connection Book 1 (SEIBIDO)
 This course book helps learners to communicate confidently and fluently in English.

(参考書)

Japanese-English dictionary
 English-Japanese dictionary

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/3	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 1 Meeting People	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 1)	Greeting people, making introductions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
2	9/10	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 2 Time to Eat	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 2)	Asking about a meal, talking about eating habits, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
3	9/17	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 3 Living with Technology	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 3)	Making suggestions, making and responding to invitations, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
4	9/24	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 4 Shopping for Clothes	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 4)	Receiving customers, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
5	10/1	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 5 A Helping Hand at Home	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 5)	Complaining about machines, asking for a lower price, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
6	10/8	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 6 Going Places	Learning, using and applying basic English expressions (Unit 6)	Asking for directions, giving directions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	10/15	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 7 Not Feeling So Good	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 7)	Making an appointment, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
8	10/22	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 8 The Big Screen	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 8)	Apologizing, talking about movies, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
9	10/29	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 9 How Do You Feel?	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 9)	Asking about someone's feelings, talking to people with different feelings, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
10	11/5	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 10 All in Good Fun	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 10)	Talking about likes and dislikes, asking for and giving opinions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
11	11/12	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 11 Game Time	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 11)	Talking about injuries, listing requirements, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
12	11/19	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 12 Rain or Shine	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 12)	Describing weather conditions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
13	11/26	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 13 Eating Out	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 13)	Ordering a meal, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
14	12/3	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 14 School Life	Learning, using and applying basic English expressions(Unit 14)	Discussing Problems, stating your goals, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0
15	12/10	Huff, Moelgaard, Palarino	Unit 15 Review lessons and oral test	Doing review lessons and taking an oral test	Review, using and applying learned English expressions, etc.	VI-4	テキストの音読、語句や文 章の暗唱、会話練習	1.0

系統解剖学 I 【講義】

科目番号 0D011104

後期：15コマ

評価責任者：児玉 淳

担当教員：林 慶和、児玉 淳、小倉 綾乃

(一般目標)

人体の構造と機能を理解する上で最も基礎となる解剖学を、系統解剖学的に基本となる骨学から修得する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-2, Ⅲ-6

(教育方法)

板書・配布資料等を中心とした講義を行う。また、e-learning を用いた自習課題を課す。さらに講義で学習した形態を3次元構造で理解・認識するために、各人で頭蓋標本のスケッチを行う。

(実習・演習)

(学習方法)

教科書や骨標本を参照・観察しながら、解剖学の基本と骨学の内容を理解する。

講義に欠かさず出席し、予習と特に復習に力を入れて整理していくこと。

講義の進行に応じて小テストを行う。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

定期試験(90%)平常点(10%)(小テスト、頭蓋スケッチ、出席状況および途中退室等の受講態度により評価する)

評価はポータルサイトに掲示する。

(教科書)

1. 森 於菟 他著 分担解剖学 第1巻(骨学・靭帯学・筋学)第11版 金原出版 1992

2. 口腔解剖学 第2版 医歯薬出版

(両方とも前期購入済み)

口腔医学を学ぶために必要な人体の構造をまとめている(1年から6年まで使用します)

(参考書)

1: イラスト解剖学 松村讓兒 中外医学社

2: 口腔の機能と解剖 田畑純, 角田佳折 南山堂 2021

3: 人体解剖学 改訂42版 藤田恒太郎 南江堂

4: ネットー頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第2版 医歯薬出版

上記参考書はテキストとして広く知られており、基礎から臨床関連知識まで幅広く網羅している。

(1年から6年まで使用します)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	林	ユニット1 骨学総論	骨の構造と役割を理解する。	骨の基本的役割を説明する。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 1-26ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					骨の形態用語が列挙できる。	Ⅲ-2		
					骨の構造について説明する。	Ⅲ-2		
2	9/11	林	ユニット2 骨学各論	体幹の骨を説明できる。	体幹の骨が列挙できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 27-53ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					胸郭について説明できる。	Ⅲ-2		
					胸骨、肋軟骨、肋骨の形態的特徴を説明する。	Ⅲ-2		
3	9/18	林	ユニット2 骨学各論	体幹の骨を説明できる。	椎骨の基本構造(椎体、椎弓、横突起、棘突起、椎孔)を説明する。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 27-53ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					頸椎、胸椎、腰椎、仙椎(骨)、尾椎(骨)の形態的特徴を説明する。	Ⅲ-2		
4	9/25	林	ユニット3 骨学各論	上肢の骨について説明できる。	上肢の骨を分類できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 122-140ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					上肢帯の骨を説明できる。	Ⅲ-2		
					自由上肢の骨を説明できる。	Ⅲ-2		
5	10/2	林	ユニット4 骨学各論	下肢の骨について説明できる。	下肢の骨を分類できる。	Ⅲ-2	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 141-172ページ、口腔解剖学 第2版	1.0
					下肢帯の骨を説明できる。	Ⅲ-2		
					自由下肢の骨を説明できる。	Ⅲ-6		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
6	10/16	林	ユニット5 骨学各論	頭の骨について説明できる。	頭蓋を頭蓋骨と顔面骨に分類する。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					頭に存在する骨の構成を説明できる。	Ⅲ-6		
					頭の骨の連結について説明できる。	Ⅲ-6		
					頭の骨の機能について説明できる。	Ⅲ-6		
7	10/23	林	ユニット5 骨学各論	頭の骨について説明できる。	頭蓋を頭蓋骨と顔面骨に分類する。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					頭蓋骨を脳頭蓋と顔面頭蓋に区分する。	Ⅲ-6		
					体表から触れることのできる頭蓋の形態の部位を解剖する。	Ⅲ-6		
8	10/30	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	頭蓋骨に属する前頭骨、頭頂骨、側頭骨、後頭骨、蝶形骨、篩骨、涙骨、鼻骨、下鼻甲介、鋤骨を説明できる。側頭窩について説明する。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					頭蓋骨に属する骨に存在する孔、棘、頭、突起、隆起、切痕等について説明できる。側頭下窩について説明する。	Ⅲ-6		
9	11/6	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	顔面骨に属する頬骨、上顎骨、口蓋骨、下顎骨、舌骨を説明できる。内頭蓋底、外頭蓋底に存在する孔、裂、窩、突起等について述べる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					顔面骨に属する骨に存在する孔、棘、頭、突起、隆起、切痕等について説明できる。	Ⅲ-6		
10	11/13	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	眼窩、鼻腔、口腔を構成する骨を説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					側頭窩、側頭下窩、翼口蓋窩を説明できる。	Ⅲ-6		
11	11/20	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	内頭蓋底、外頭蓋底を説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
					内頭蓋底、外頭蓋底を構成する骨を説明できる。	Ⅲ-6		
12	11/27	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	頭蓋の各部における交通(導通路)について説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 94-120ページ)	1.0
13	12/4	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	顎関節について説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 130-132ページ)	1.0
					頭蓋に付着する筋とその付着部について説明できる。	Ⅲ-6		
14	12/11	林	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	下顎骨の運動について説明できる。	Ⅲ-6	教科書の該当項目を読み、まとめる。(分担解剖学 第1巻(総説・骨学・靭帯学・筋学) 54-121ページ、口腔解剖学 第2版 202-203ページ)	1.0
					頭蓋の成長様式について説明できる。	Ⅲ-6		
15	12/18	林、児玉、小倉	ユニット7 頭蓋スケッチ	頭蓋をスケッチし、名称、位置、構造、形態を理解する。	これまで学んだ頭蓋をスケッチし解剖する。	Ⅲ-6	講義中および実習前に配布されるプリントを読み、まとめる。	1.0

生理学 I 【講義】

科目番号 OD011105

後期：15コマ

評価責任者：藤田亜美

担当教員：藤田亜美、鍛冶屋 浩、進 正史

(一般目標)

人体は細胞から構成され、組織、器官、器官系、個体レベルで構造的・機能的に統合されており、生理学では細胞から個体レベルにおける正常な機能とそれらの統合メカニズムを解き明かそうとしている。生理学 I では、人体の各器官の機能に関する基本的な知識を身につけることを目的として、動物性機能の中心である神経、筋、感覚器系と植物性機能を司る自律神経系の基本的機能について学習し、理解する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-1, Ⅲ-2

(教育方法)

講義ユニット毎に配付する資料及び教科書に沿って行動目標に掲げた内容をスライドや板書等により解説する。

(学習方法)

授業前に教科書に目を通しておく。授業後は配布資料、講義ノート、教科書をもとに講義の内容を要約し、重要事項を理解する。理解が不十分な項目は教科書や参考書で復習すると共にチュードントアシスタントや教員への質疑を通じて確実に修得する。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

中間試験30%、定期試験70%とする。中間試験および定期試験の成績は試験終了後、概ね2週間以内に通知する。

(教科書)

岩田幸一、井上富雄、船橋 誠、加藤隆史 編 「基礎歯科生理学 第7版」 医歯薬出版 2020

(全身から口腔領域にわたって生理学の基本的事項が簡潔かつ解りやすく記載されている。口腔医学を学ぶ上で有用なテキストである。2学年で履修する生理学Ⅱと生理学Ⅲおよび3学年の口腔生理学でも本教科書を使用するため、1学年から3学年で学んだ知識の統合に有用である。)

(参考書)

多久和 典子 他 著 「なるほどなっとく!解剖生理学 改訂3版」 南山堂 2023

(人体の正常構造(解剖学)と機能(生理学)を関連付けて理解するための基本的事項が多様なイラストによって簡潔に解りやすく記載されている。予習・復習に適したテキストである。)

岡田泰伸 監訳 「ギャノン生理学 原書26版」 丸善出版 2022

(基礎から臨床生理学まで最新の知見も含め簡潔にまとめられている。口腔医学の知識を深める上で有用なテキストである。実習や演習の参考書としても活用できる。電子書籍版は、図版説明も詳しくなり、生体機能への理解をさらに深める工夫がなされている。)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	進	ユニット1 神経の興奮伝導	神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	ニューロンの静止電位の発生機序を説明する。	Ⅲ-1	教科書のp16-21	0.5
					ニューロンの活動電位の発生機序を説明する。	Ⅲ-1		
2	9/11	進	ユニット1 神経の興奮伝導	神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	興奮伝導の機序を概説する。	Ⅲ-1	教科書のp22-34	0.5
					興奮の伝導速度による神経線維の分類を説明できる。	Ⅲ-1		
3	9/18	進	ユニット1 神経の興奮伝導	神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	シナプスの構造と伝達物質及び興奮伝達機序を説明する。	Ⅲ-1	教科書のp35-42	0.5
					興奮性シナプスと抑制性シナプスの特徴を比較し、相違点と機能を述べる。	Ⅲ-1		
4	9/25	藤田	ユニット2 末梢神経系の構成と機能	末梢神経を分類し、それぞれの機能を説明できる。	中枢神経系と末梢神経系の構成を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp279-282	0.5
					脳神経の構成と機能を説明できる。	Ⅲ-2		
					脊髄神経の構成と機能を説明できる。	Ⅲ-2		
5	10/7	藤田	ユニット2 末梢神経系の構成と機能	末梢神経を分類し、それぞれの機能を説明できる。	自律神経調節の特徴を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp283-287	1.0
					自律神経系の神経伝達物質と受容体を説明できる。	Ⅲ-2		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
6	10/16	藤田	ユニット2 末梢神経系の 構成と機能	末梢神経を分類し、それぞ れの機能を説明できる。	各器官に対する自律神経系の作用 を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp288-290	1.0
					自律神経反射を説明できる。	Ⅲ-2		
7	10/28	藤田、鍛治 屋、進	中間試験	-	-	Ⅲ-2	1回~6回までの講義で配付 した資料とノート及び教科 書	3.0
8	10/30	進	ユニット3 筋の収縮	骨格筋の構造と収縮機序及 び収縮特性を理解する。	骨格筋の構造と収縮機序を説明す る。	Ⅲ-2	教科書のp42-45	1.0
					神経-筋接合部における興奮伝達 機序を説明する。	Ⅲ-2		
9	11/6	進	ユニット3 筋の収縮	骨格筋の構造と収縮機序及 び収縮特性を理解する。	等張性収縮と等尺性収縮の違いを 説明する。	Ⅲ-2	教科書のp45-50	1.0
					心筋と平滑筋の構造を骨格筋と比 較し、相違点を説明する。	Ⅲ-2		
10	11/13	藤田	ユニット4 運動機能	脊髄反射および脳による運 動の制御を説明できる。	運動単位を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp221-223、p225- 226	1.0
					反射と反射弓について説明でき る。	Ⅲ-2		
					筋紡錘と腱器官の構造と機能を説 明できる。	Ⅲ-2		
11	11/20	藤田	ユニット4 運動機能	脊髄反射および脳による運 動の制御を説明できる。	伸張反射の機序を説明できる。	Ⅲ-2	教科書のp224-229	1.0
					α - γ 連関について説明できる。	Ⅲ-2		
					屈曲反射の機序を説明できる。	Ⅲ-2		
12	11/27	藤田	ユニット4 運動機能	脊髄反射および脳による運 動の制御を説明できる。	脊髄の上行路と下行路を説明でき る。	Ⅲ-2	教科書のp233-243	1.0
					運動の調節機構を説明できる。	Ⅲ-2		
13	12/4	鍛治屋	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚及び内 臓感覚の種類と性質につい て理解する。	感覚を分類し、刺激の種類と受容 器について説明する。	Ⅲ-2	教科書のp180-192	1.0
					感覚受容器の種類と受容器電位と インパルスの発生機序を説明す る。	Ⅲ-2		
14	12/11	鍛治屋	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚及び内 臓感覚の種類と性質につい て理解する。	体性感覚を分類し、特徴を述べ る。	Ⅲ-2	教科書のp188-192, p210- 218	1.0
					臓器感覚の種類を挙げ特徴を述べ る。	Ⅲ-2		
15	12/18	鍛治屋	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚及び内 臓感覚の種類と性質につい て理解する。	視覚、聴覚、平衡感覚、嗅覚、味 覚の受容器の構造と受容機序を概 説できる。	Ⅲ-2	教科書のp192-210	1.0
					体性感覚と特殊感覚の伝導路を概 説できる。	Ⅲ-2		

歯科理工学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011106

後期：19コマ
 評価責任者：都留寛治
 都留寛治
 丸田道人
 担当教員：梶本昇
 佐藤平

(一般目標)

歯科治療で使用される材料や器械の正しい選択と取扱いができるために、歯科材料の基本性質(物理的性質、化学的性質、生物学的性質)とその使用法に基づいて分類し、その組成、硬化反応、基本的な性質を理解し必要な特性を発現させるための基盤的知識を身につける。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-21

(教育方法)

指定教科書の解説を中心に、補助学習のプリントの配布とe-Learningを行う。

【資源】

講義には教科書「スタンダード歯科理工学」を持参すること。

(実習・演習)

(学習方法)

【予習方法】

授業前にスタンダード歯科理工学の該当箇所を通読し、理解できない語句を調べてノートにまとめておくこと。

【復習方法】

授業実施時に配布するプリントを用いて、スタンダード歯科理工学の該当箇所を復習する。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：19.0時間】

(評価)

【評価の割合】

定期試験による評価(100%)

【フィードバックの時期と方法】

フィードバックの時期：試験終了後

フィードバックの方法：試験結果に基づき、追加学習すべき項目を掲示する。

*試験に関する案内は、8F歯科医療工学講座生体工学分野の掲示板を用いて行うので試験前には必ず確認すること。

*授業を欠席した場合は配布プリントを各自で受け取りに来ること。

(教科書)

中島裕他監修『スタンダード歯科理工学第8版』：学建書院：2024

(参考書)

歯科理工学会編：歯科理工学教育用語集 第3版、医歯薬出版、2018。

(歯科理工学の専門用語を解説したもので、歯科理工学を学ぶ時の辞書として有用である。)

宮崎隆他編：臨床歯科理工学、医歯薬出版、2006。

(歯科における疾患別に利用される歯科材料が豊富なカラー写真や図とともに解説されており、臨床治療と歯科材料とも関わりが理解しやすい。)

日比野靖著：「歯科理工学サイドリーダー第6版、学建書院2008。

(歯科材料の特徴および物性を簡潔にまとめているので歯科材料全体の把握に便利である。後半部には演習形式の設問や歯科医師国家試験の過去問の解説があり知識の整理に役立つ。)

小倉英夫他編：コア歯科理工学、医歯薬出版、2008。

(臨床実習に必要な歯科理工学関連の知識について初学者を対象として多くの図表を用い平易に解説している。)

中村正明他編：目で見える歯科理工学、医歯薬出版、1992

(イラストを豊富に使用し、歯科臨床的視点からの記述が多いため、歯科臨床との関係を理解する一助となる。)

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	都留	歯科治療と歯科材料	歯科治療と歯科材料を関係づける。	歯科治療と歯科材料を関係づける。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	1.0
2	9/11	[2回] 都留	歯科材料の基本性質	歯科材料を材料の基本的性質(物理・化学・生物・光学)から理解するための基盤的知識を修得する。	歯科材料の種類と構造を理解できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	2]
3	9/18	[3回] 都留			歯科材料の物理的(力学的・機械的性質を含む)性質とその評価法を説明できる。	Ⅲ-21		3]
4	9/25	[4回] 佐藤			歯科材料の化学的性質とその評価法を説明できる。	Ⅲ-21		4]
歯科材料の生物学的性質(生体活性、安全性)とその評価法を説明できる。					Ⅲ-21	1.0		

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
5	10/2	梶本	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	グラスアイオノマーセメントの分類を列挙できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	1.0
					グラスアイオノマーセメントの成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21		
					グラスアイオノマーセメントの硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					グラスアイオノマーセメントの特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
6 7 8	10/10	[6回] 梶本	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	コンポジットレジンの硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	6]
	10/16	[7回] 梶本			コンポジットレジンに求められる所用性質を説明できる。	Ⅲ-21		7]
	10/23	[8回] 梶本			コンポジットレジン分類を列挙できる。	Ⅲ-21		8]
					コンポジットレジン成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21		
					コンポジットレジン特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
9	10/30	梶本	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	歯科用アマルガムの成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	1.0
					歯科用アマルガムの硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					歯科用アマルガムの安全性を説明できる。	Ⅲ-21		
10	10/31	丸田	鑄造操作の流れ	鑄造操作の流れを理解する。	鑄造に用いる歯科材料とその役割が説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	1.0
11 12	11/6	[11回] 丸田	印象用材料	印象用材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	印象材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	11]
	11/7	[12回] 丸田			印象材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		12]
					印象材の成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21		
					印象材の硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
印象材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21							
13 14	11/13	[13回] 都留	模型用材料	模型用材料を分類し、それぞれの組成・硬化反応を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基礎知識を修得する。	模型材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	13]
	11/20	[14回] 都留			模型材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		14]
					模型材の硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					模型材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
15 16	11/27	[15回] 丸田	パターン材	パターン材を分類し、それぞれの組成・熱的性質を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基礎知識を修得する。	パターン材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ(ユニット名に準じる)を事前に読んでくること。	15]
	12/4	[16回] 丸田			パターン材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		16]
					パターン材の成分・組成を列挙できる。	Ⅲ-21		
					パターン材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
17	12/5	[17回] 都留	埋没材	埋没材を分類し、それぞれの組成と硬化反応を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	埋没材に求められる所要性質を説明できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	17] 1.0
18	12/11	[18回] 都留			埋没材の分類を列挙できる。	Ⅲ-21		18] 1.0
					埋没材の硬化反応を説明できる。	Ⅲ-21		
					埋没材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21		
19	12/18	梶本	鑄造欠陥	それぞれの鑄造用材料の所用性質を発現させるための適切な鑄造操作を修得する。	鑄造操作が列挙できる。	Ⅲ-21	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
			鑄造欠陥とその防止法を説明できる。	Ⅲ-21				

介護施設体験実習【実習】

科目番号 OD011201

後期：15コマ

評価責任者：都築 尊（咬合修復学講座 有床義歯学分野）

都築 尊（咬合修復学講座 有床義歯学分野）

児玉 淳（生体構造学講座 機能構造学分野）

大城 希美子（口腔治療学講座 歯周病学分野）

内田 竜司（教育支援・教学 I R室）

担当教員：古野 みはる（福岡医療短期大学 歯科衛生学科）

秋竹 純（福岡医療短期大学 歯科衛生学科）

岡田 賢司（介護老人保健施設 サンシャインシティ 施設長）

斎田 直樹（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 施設長）

堺 美雪（介護老人保健施設 サンシャインシティ 介護長）

横手 政代（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 介護長）

安井 みずえ（介護老人保健施設 サンシャインシティ 歯科衛生士）

黒松 幸絵（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 歯科衛生士）

（一般目標）

超高齢社会の今、高齢者医療や在宅医療の概要を知るとともに、現場で必要となるフィジカルアセスメントや高齢者の尊厳を尊重した態度を身につける。また、障害について知り、歯科医療を提供する際に必要となる知識・技能・態度を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-4, I-5, I-9, II-1, II-3, II-4, III-22, IV-12, IV-15, IV-17, V-1, V-2

（教育方法）

講義、グループワーク（小グループ討論、プレゼンテーション、全体討議）、その他のアクティブラーニング（シンク・ペア・シェア、ジグソー学習、協働型ケーススタディ）

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（フィールドワーク）（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

予習：各回の予習項目を読み、実行する。

復習：実習後シラバス記載事項にもとづいて振り返りを行なう。

【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

授業受講態度。

提出物。

福岡歯科大学医科歯科総合病院サービスマナーマニュアルに準拠した身だしなみ、標準予防策に基づいた安心安全の行動規範、および要介護高齢者の尊厳を尊重した態度が身についているかを実習中に評価する。

上記の総合評価についてポータルサイトで掲示を行う。

（教科書）

特に指定しない

（参考書）

特に指定しない

回	日	担当者	ユニット	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	DP	予習の項目	必要時間
1	9/26	都築・内田	ユニット1 介護・高齢者福祉	介護とは何かを知り、介護の現状を理解する。	介護とは何かを説明できる。 介護の現状について説明できる。	V-1 V-2	介護の現状について調べる。	1.0
2	9/26	都築・秋竹	ユニット2 要介護高齢者とのコミュニケーション概論	要介護高齢者の尊厳を尊重するコミュニケーションの技法を理解する	言語的コミュニケーションの特性を説明できる。	II-3	言語的コミュニケーションについて調べる。	1.0
3	9/26	都築・秋竹	ユニット2 要介護高齢者とのコミュニケーション概論	要介護高齢者の尊厳を尊重するコミュニケーションの技法を理解する	非言語的コミュニケーションの特性を説明できる。	II-3	非言語的コミュニケーションについて調べる。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間
4	9/30	都築・内田	ユニット4 エチケット・マナー	医のプロフェッショナルリズムに基づいたエチケット・マナーを身につける。	服装・アクセサリーの持つ非言語的メッセージについて説明できる。	Ⅱ-3	医療人としての適切な身だしなみについて考える。	1.0
					医療人としての適切な身だしなみを説明できる。	Ⅱ-1		
					施設利用者に不安を与えない言語的・非言語的メッセージについて説明できる。	Ⅱ-3		
5	10/7	都築・内田	ユニット5 感染予防策	感染対策について理解し、高齢者施設における感染制御の基本を身につける。	感染成立の3要因と感染対策について説明できる。	Ⅳ-15	感染・感染予防について調べる。	1.0
					高齢者施設における感染制御について説明できる。	Ⅳ-15		
					標準予防策について説明できる。	Ⅳ-15		
					正しい手指消毒を実施できる。	Ⅳ-15		
					正しい手洗いを実施できる。	Ⅳ-15		
6	10/7	都築・内田	ユニット7 介護施設体験	介護施設の概要を知る。	介護施設の概要を説明できる。	V-1	介護施設について調べる。	1.0
					今回は見学できない介護施設との違いについて説明できる。	V-2		
					見学時に注視すべきことを列記できる。	V-2		
7	10/14	[7回] 都築・内田・大城	ユニット7 介護施設体験	介護施設を見学し、サービス内容や利用者像を理解するとともに、多職種連携の重要性を知る。	医療人としての適切な身だしなみで介護施設体験実習に参加する。	I-4	[7回] 施設見学にふさわしい適切な身だしなみで実習に臨む。 [8回] 施設見学時に必要な感染対策について考える。 [9回] 施設利用者に不安を与えない行動態度・言葉遣いについて考える。	[7] 1.0
8	10/14	[8回] 都築・内田・大城			介護施設体験実習に適したマスクを正しく装着できる。	Ⅳ-15		8] 1.0
9	10/14				介護施設体験実習に適した個人防護具（PPE）を正しく着脱できる。	Ⅳ-15		9] 1.0
介護施設体験実習に適した手指消毒を正しく実施できる。	Ⅳ-15							
マスク・ガウンの安全な着脱方法を身につける。	Ⅳ-15							
実習経験から学んだことを具体的に述べることができる。	V-2							
介護施設の利用者像を説明できる。	V-2							
介護施設での多職種連携について説明できる。	Ⅳ-17							
介護施設の感染予防対策について説明できる。	Ⅳ-15							
10	11/25	都築・古野	ユニット3 認知症	認知症について理解し、認知症患者との関わり方を身につける。	認知症の病態、診断、治療について説明できる。	Ⅲ-22	認知症患者が安心して暮らすことができるのはどのような地域なのか、考える。	1.0
				認知症患者や家族との接し方について説明できる。	Ⅱ-4			
11	11/25	都築・古野	ユニット3 認知症	認知症介護を主題とした視覚教材を見て、認知症についての理解を深める。	認知症の病状進行について説明できる。	Ⅲ-22	認知症患者と家族との関わりについて考える。	1.0
					認知症患者や家族との接し方について説明できる。	Ⅱ-4		

回	日	担当者	ユニット	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	DP	予習の項目	必要時間	
12	11/25	[12回] 都築・内田	ユニット6 障害について	障害について理解し、障害のある患者に歯科医療を提供する方法を身につける。	障害について説明できる。	IV-12	[12回] 障害について調べる。	12] 1.0	
13	12/2	[13回] 都築・内田・大城			身体障害について説明できる。	IV-12	[13回] 車椅子について調べる。	13] 1.0	
14	12/2				車椅子の構造を理解し、車椅子の基本的操作、移乗・移動介助を身につける。	車椅子の構造を説明できる。	IV-12	[14回] 色々な障害をもつ患者が歯科治療を受ける場面を想像し、どんな留意点があるか、考える。	14] 1.0
						車椅子の基本的な操作を実施できる。	IV-12		
					車椅子の移乗・移動の介助が実施できる。	IV-12			
		実習経験から学んだことを具体的に述べることができる。			障害者の歯科治療時の心理状態を感じる。	II-4			
			障害者に対する歯科治療時の配慮を実施できる。	II-4					
15	12/2	都築・内田・大城	ユニット8 介護施設体験実習の振り返り	介助・介護が必要な患者に歯科医療を提供する際の留意事項を理解する。	介護施設における歯科医師の役割を説明できる。	I-5	これまで学んだことを反芻する。	1.0	
				多職種連携における歯科医師の役割を説明できる。	IV-17				
				介助・介護が必要な患者に歯科医療を提供する際の留意事項を説明できる。	I-5				
				今後、プロフェッショナルな歯科医師となるために学ばなければならないことを記述できる。	I-9				

ドイツ語 I 【講義】

科目番号 OD012005

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、岡島勇太

担当教員：池田奈央

(一般目標)

ドイツ語は語彙や文法の点で英語と似た点があり、不定詞句という文章の基本の形においてその語順には日本語と似た部分がある。その一方で、当然のことながら名詞に性があったり人称変化したりするなど、両言語と異なる部分も多々ある。この類似点や相違点を知ることは、これまで身に付けてきた英語や日本語に新たな光を当てる機会となる。本授業では、ドイツ語の文法を学ぶことは当然として、この学習を通して言語を学ぶことについて新たな視点や気づきを得ることを目標とする。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-1

(教育方法)

教科書を補助的に用い、ドイツ語の文法を学んでいく。ドイツ語の発音に関しては、ドイツ語の詩や歌を教材とする。また、ドイツ語の語彙の暗記より、都度辞書を引くことを推奨する。ドイツ語の文章を正しく発音できるようになることと、辞書があれば簡単な文章が訳せるようになることを最終的な目標とする。授業で学んだことが身になるように定期的に小テストを実施する。小テスト・定期試験時、教科書など文法書の持ち込みは不可だが、辞書の持ち込みは許可する。
(プレゼンテーション)

(学習方法)

主に教員の用意した練習問題を解く。授業中は独和辞典を使うので、必ず持参すること。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

授業中の小テスト、中間テスト、定期テストの総合点で成績を評価する。定期試験の範囲は後学期学習全範囲とする。出席点は成績に含まれない。授業内容の復習のために授業中、練習課題を与える。授業時間内に終わらなかったときは宿題となる。この課題に関して、授業中に発言・回答を求めることがあるが、ここでの間違いは成績に影響しないため積極的な姿勢を求める。授業中に長時間出席を外したときは出席を取り消す。授業態度は成績につけないが、他の学生の迷惑になる行為があった際は教室からの退室を求め、その日の出席を取り消す場合がある

(教科書)

<必ず購入>根本道也編『ドイツってどんな国?』、同学社
<必ず購入>根本道也、他編著、『アポロン独和辞典』第4版、同学社

(参考書)

なし

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/1	池田	オリエンテーション、アルファベットの発音練習	ドイツ語の発音の基本を学ぶ。	アルファベットの読み方、ウムラウトについて学ぶ。	VI-1	都度指示する	1.0
2	9/8	池田	発音規則、詩・歌の朗読	ドイツ語の発音・リズムに触れる。	発音規則を学び、単語、文章、詩などを抑揚やアクセントに意識しながら声に出して読む。	VI-1	都度指示する	1.0
3	9/22	池田	定冠詞と不定冠詞	定冠詞と不定冠詞の違い、格変化を学ぶ。	文章中にある名詞を見て、何格かわかるようになる。	VI-1	都度指示する	1.0
4	9/29	池田	名詞の性・数・格、人称代名詞	名詞の性、数、格による変化、人称代名詞の種類と格変化を学ぶ。	名詞の性、数、格が何を意味するのか、とりわけ格について学ぶ。	VI-1	都度指示する	1.0
5	9/29	池田	名詞の性・数・格、人称代名詞	名詞の性、数、格による変化、人称代名詞の種類と格変化を学ぶ。	名詞の性、数、格が何を意味するのか、とりわけ格について学ぶ。	VI-1	都度指示する	1.0
6	10/6	池田	不定詞、動詞の人称変化	基本的な動詞の形である不定詞と、人称によって動詞がどう変化するのか学ぶ。	不定詞句を定形第二位の形にする。その際に人称変化させることで動詞の現在形の人称変化を身に付ける。	VI-1	都度指示する	1.0
7	10/20	池田	ドイツ語の語順	ドイツ語の語順の法則、文章の構成要素の優先順位について学ぶ。	語順の法則をもとに、与えられた分の構成要素を並び替えて不定詞句を作る練習をこなす。さらにその不定詞句を定形第二位の形にできるようにもする。	VI-1	都度指示する	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
8	10/20	池田	ドイツ語の語順	ドイツ語の語順の法則、文章の構成要素の優先順位について学ぶ。	語順の法則をもとに、与えられた分の構成要素を並び替えて不定詞句を作る練習をこなす。さらにその不定詞句を定形第二位の形にできるようにもする。	VI-1	都度指示する	1.0
9	10/27	池田	中間復習	独和辞書を用いて、課題を解く。	主にドイツ語の文章を和文へと翻訳する。その際、いかに独和辞書を使いこなしているか、文法が身についているかを見る。	VI-1	ここまでの内容	1.0
10	10/27	池田	定冠詞類と不定冠詞類	定冠詞類と不定冠詞類の種類、格変化を学ぶ。	文章中にある名詞を見て、何格かわかるようになる。	VI-1	都度指示する	1.0
11	11/10	池田	不定代名詞と指示代名詞	不定代名詞と指示代名詞の種類、格変化を学ぶ。	文中の形から何格かわかるようになる。	VI-1	都度指示する	1.0
12	11/17	池田	疑問文	疑問詞の種類、疑問文の種類、語順を学ぶ。	疑問文の語順について学んだ後、不定詞句から疑問文の形に変化させられるようになる。その際、決定疑問文と補足疑問文の両方に変化させられるようにする。	VI-1	都度指示する	1.0
13	12/1	池田	疑問文	疑問詞の種類、疑問文の種類、語順を学ぶ。	疑問文の語順について学んだ後、不定詞句から疑問文の形に変化させられるようになる。その際、決定疑問文と補足疑問文の両方に変化させられるようにする。	VI-1	都度指示する	1.0
14	12/8	池田	否定	否定詞の種類、用法を学ぶ。	不定詞の形で肯定文を否定文にすることで、否定詞をどこに配置するべきか、ドイツ語の語順と絡めて否定文について学習する。	VI-1	都度指示する	1.0
15	12/15	池田	総括	独和辞書を用いて、課題を解く。	主にドイツ語の文章を和文へと翻訳する。その際、いかに独和辞書を使いこなしているか、文法が身についているかを見る。(定期試験に備えた課題をこなす)	VI-1	これまでの総括	1.0

中国語 I 【講義】

科目番号 OD012006

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、岡島勇太

担当教員：矢羽田朋子

(一般目標)

①本授業では、初めて学ぶ学生を対象にして中国語の入門程度の文法を指定の教科書を用いて学んでいきます。発音の基礎からスタートし、基本的な文法の学習を通じて、簡単な「聞く・話す・読む・書く」というコミュニケーションが出来るレベルの中国語能力を身につけることを目標とします。②現代はグローバル化の時代で、多文化共生の時代でもあります。異文化間のコミュニケーションというのは、言葉だけでは成立しません。相手の文化についても知ろうとする必要があります。本授業では中国語だけではなく、中国人の生活習慣や考え方、中国文化等についても理解を深めることが出来るよう視聴覚教材等も取り入れていきたいと考えています。本授業をきっかけにして、中国に対して興味を持ってもらえればと思います

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

VI-1

(教育方法)

指定の教科書を中心に講義を進めます。また視聴覚教材等を用いて、置換練習や短い会話文の音読、練習問題に取り組み、「聞く・話す・読む・書く」に加えて「訳す」といった能力を着実に身につけていきます。また実力を測る為に、定期試験の他、適宜小テストを行います。(実習・演習が含まれます。)

(学習方法)

授業前の学習としては、単元ごとに設けられている単語や文法のポイントを確認しておくことが望ましいです。使用する教科書には音声ダウンロード及びストリーミングサービス(無料)がありますので、是非活用してください。授業後の学習としては、課文を暗唱できるぐらいまで繰り返し読むことにより、学習内容を定着させることが望ましいです。またテキストの巻末に振り返りシート及び授業活動チェックシートがありますので、そちらも活用してください。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

定期試験50%、課題及び小テスト50%で評価します。出席は評価点に含まれませんが、無断欠席した回の小テストは0点評価にします。(※公欠は配慮します。)授業に対して積極的に参加する姿勢を求めます。総合評価はポータルサイトに掲示します。

(教科書)

李偉・管虹・岩田好司『協同学習で学ぶ中国語 ビギニング』[2021] (三修社)

(参考書)

授業の中で適宜紹介します。

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/1	矢羽田	ガイダンス・第0課～2課 (中国語の基礎的な復習)	①中国について知る。②中国語の基礎的な内容を復習する。	①中国語学習のポイント(予習・復習の仕方)について理解し、学習計画を立てる。②中国語の発音方法や表記方法についてグループワークで復習し、教科書のドリルで確認する。	VI-1	8～23頁	1.0
2	9/8	矢羽田	ガイダンス・第0課～2課 (中国語の基礎的な復習)	①中国について知る。②中国語の基礎的な内容を復習する。	①中国語学習のポイント(予習・復習の仕方)について理解し、学習計画を立てる。②中国語の発音方法や表記方法についてグループワークで復習し、教科書のドリルで確認する。	VI-1	8～23頁	1.0
3	9/22	矢羽田	ガイダンス・第0課～2課 (中国語の基礎的な復習)	①複母音・鼻母音について学ぶ。②声調符号をつける位置を学ぶ。③変調・アル化について学ぶ。	①中国語の音節について理解し、発音練習をする。②声調符号をつける位置を理解し、練習問題を解いて確認する。③変調やアル化について理解する。	VI-1	8～23頁	1.0
4	9/29	矢羽田	第3課「お名前は何と仰いますか？」	①中国語で自己紹介が出来る。②中国人の姓について調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	24～27頁	1.0
5	9/29	矢羽田	確認テスト①	中国語の基本的な発音表記方法についてマスターする。	①中国語の初歩を固める。②簡単な自己紹介が出来るようになる。	VI-1	8～27頁	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
6	10/6	矢羽田	第4課「ご家族は何人ですか？」	①0～100の数字を数えられる。自分の年齢が言える。②家族構成が言える。中国の家族事情について調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。③代表者が自分の家族紹介を発表する。	VI-1	28～31頁	1.0
7	10/20	矢羽田	第5課「今何時ですか？」	①年月日・曜日・時刻が言える。生年月日が言える。②簡単な動詞文を作って話せる。③中国人の誕生日を祝う習慣について調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	32～35頁	1.0
8	10/20	矢羽田	第6課「あなたは中国語を学んでいますか？」	①電話番号等の表現を使える。②動作進行の表現が使える。③省略疑問文が言える。④中国のWeChatについて調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	36～39頁	1.0
9	10/27	矢羽田	第7課「いくらですか？」	①中国のお金の種類を知る。②値段の尋ね方と値段交渉の表現が使える。③中国のお金の単位について調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	42～45頁	1.0
10	10/27	矢羽田	確認テスト②	中国語の基本的な発音表記方法や簡単な会話をマスターし、聞かれたことに対して中国語で答える事が出来るか確認する。	中国語の基本的な発音表記方法や簡単な会話をマスターし、聞かれたことに対して中国語で答える事が出来るようになる。	VI-1	28頁～45頁、40～41頁も含む	1.0
11	11/10	矢羽田	第8課「どうしましたか？」	①「～も」の表現が使える。②相手の病状を聞くことが出来、また自分の病状について言える。③中国人の健康法について調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	46～49頁	1.0
12	11/17	矢羽田	第9課「あなたはどこにいますか？」	①場所代名詞と方位詞を復習する。②人や物の所在場所が言える。③中国のお弁当について調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	50～53頁	1.0
13	12/1	矢羽田	第10課「あなたは何が好きですか？」	①好きなもの・嫌いなものが言える。②自分の趣味や関心ごとが言える。③中国人の趣味について調べて理解する。	①語句や課文の発音を練習し、発音・意味・簡体字を理解する。②文法の用法を理解し、ドリルを解いて確認する。またグループワークを通じて定着をはかる。	VI-1	54～57頁	1.0
14	12/8	矢羽田	確認テスト③	基本的な中国語を理解し、相手の質問に答えることが出来るだけでなく、自分自身について話せるか確認する。	基本的な中国語を理解し、相手の質問に答えることが出来るだけでなく、自分自身について話せるようになる。	VI-1	8～57頁	1.0
15	12/15	矢羽田	総復習	今まで学習した内容を総復習する	①グループであいさつ表現やフレーズの発音練習を行う。②教科書の質問文を使ってペアで会話練習をする。③チャレンジ問題で実力をはかる。	VI-1	8～57頁	1.0

論理学・日本語表現法 【講義】

科目番号 OD012003

後期：15コマ

評価責任者：永嶋哲也

担当教員：永嶋哲也

(一般目標)

さまざまな情報に対して批判的に思考する科学的態度がとれるようになるために、文章を論理的に読み取る練習問題を解くことで、論理的な思考と論理的な表現を身につける。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

I-7, I-8, I-9, II-3

(教育方法)

教科書に沿って板書による説明がなされる。練習問題を解き、答え合わせをする。基本的に内容が知識の積み上げ式であるため、欠席せずにならざる毎出席すること。
(実習・演習)

(学習方法)

授業中に、集中して説明を聞き、指示に従い教科書の記述を読み、練習問題を解く。授業の進度が速すぎると感じる場合は授業前にテキスト該当箇所を読み予習しておく。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

出席、授業態度などの平常点(20%)、ノート提出による達成度評価(30%)、学期末レポート(50%)などを総合評価する。提出をしたノートには、コメント(フィードバック)を記し、次の講義時に返却する。

(教科書)

野矢茂樹『新版 論理トレーニング』(哲学教科書シリーズ)、産業図書、2006
日常言語を用いた非形式論理学について練習問題を中心に編まれた国内唯一の教科書であることが、選定理由である。

(参考書)

野矢茂樹『論理学』東京大学出版会、1994
野矢茂樹『論理トレーニング101題』産業図書、2001
グレアム・ブリスト『論理学』岩波新書、2008

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	永嶋哲也	ユニット1 概説	論理とは何かを理解する	演繹と論理の関係を説明する	I-9	教科書1-4頁を読んでおく。	0.5
2	9/11	永嶋哲也	ユニット2 接続	論理的な接続について理解する	文と文の接続関係をとらえる	II-3	教科書15-26, 43-45頁を読んでおく。	1.0
3	9/18	永嶋哲也	ユニット2 接続	論理的な接続について理解する	議論の大枠をとらえる	I-7	教科書45-50頁を読んでおく。	1.0
4	9/25	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	議論の構造をとらえる	I-7	教科書55-60頁を読んでおく。	1.5
5	10/2	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	論証の構造を図で表す	I-7	教科書55-60頁を読んでおく。	0.5
6	10/16	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	論証を評価する	I-8	教科書61-67頁を読んでおく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	10/23	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	推測を演繹と区別する	I-7	教科書71-74頁を読んでおく。	1.0
8	10/30	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	価値評価の論証構造を説明する	I-7	教科書87-92頁を読んでおく。	1.0
9	11/6	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	価値評価の適切さを判断する	I-8	教科書92-95頁を読んでおく。	1.5
10	11/13	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	連言と選言を説明する	I-7	教科書105-08頁を読んでおく。	1.0
11	11/20	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	量化を説明する	I-7	教科書108-12頁を読んでおく。	1.0
12	11/27	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	逆、裏、対偶を説明する	I-7	教科書117-21頁を読んでおく。	1.0
13	12/4	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	条件文を組み合わせて結論を導き出す	I-8	教科書121-24頁を読んでおく。	1.0
14	12/11	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	全称文の三段論法を使いこなす	I-8	教科書124-27頁を読んでおく。	1.5
15	12/18	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	連言や選言を含む三段論法を使いこなす	I-8	教科書124-27頁を読んでおく。	0.5

心理学入門 【講義】

科目番号 0D012004

後期：15コマ

評価責任者：学生部長・金光芳郎

担当教員：本田 賢介

(一般目標)

歯科医師として、豊かな教養と人間性を備えるとともに、人の心の仕組みやストレス等を理解して、様々な患者との幅広いコミュニケーションを図り、対人関係能力を身につけた治療を行使するため、心理学の基礎知識を修得する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-16

(教育方法)

教科書に基づいたパワーポイントによる説明・解説を行う。また、学生には資料を配布し、適宜記入をしてもらう。授業の最後には感想を書いてもらう。

併せて、小レポートを実施し、学修成果を確認する。

(その他AL)

(学習方法)

授業には、指定教科書を持参すること。下記、予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修(予習)を怠らないこと。

授業中は、配布されたプリントを完成させ、授業後は、学修した内容の振り返りや自分なりの理解をまとめること(事後学修・復習)。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：15.0時間】

(評価)

レポート：50% 平常評価(小レポート等)：20% 受講態度：30%

総合評価をポータルサイトに掲示する

(教科書)

『歯科衛生学シリーズ 心理学』医歯薬出版 2023

(参考書)

齊藤勇編 『図説心理学入門 第2版』誠信書房

東畑開人著 『心はどこへ消えた?』文藝春秋

東畑開人著 『なんでも見つかる夜に、こころだけがみつからない』新潮社

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
1	9/4	本田	オリエンテーション ユニット1: 心理学の歩みと研究方法 講義	心理学の歴史と研究法について理解する 1) 心理学の歴史を学ぶ 2) 心理学の研究法を学ぶ 4) 心理学で用いられる統計法について学ぶ	1) 心理学の流れを説明することができる 2) 心理学実験におけるデータ収集の方法を説明することができる 3) 集めたデータの結果の分析方法について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP199-208を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
2	9/11	本田	ユニット2: 見る・聞く・感じるこころ 講義	知覚について理解する 1) 知覚の成立を学ぶ 2) 知覚の特徴を学ぶ 3) 知覚への影響要因を学ぶ	1) 知覚の成立について説明することができる 2) 知覚の特徴を説明することができる 3) 知覚への影響要因を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP1-14を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
3	9/18	本田	ユニット3: 学ぶ・覚えるこころ 講義	学習や記憶について理解する 1) ヒトの学習プロセスを学ぶ 2) 記憶のメカニズムを学ぶ 3) 記憶の病理や歪みを学ぶ	1) 学習がどのように成立しているかを説明することができる 2) 記憶のメカニズムを説明することができる 3) 忘却や記憶の歪みについて説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP15-26を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
4	9/25	本田	ユニット4: やる気の心理 講義	動機づけについて理解する 1) 動機づけの機能と種類を学ぶ 2) 欲求を学ぶ	1) 動機づけの機能や種類を説明することができる 2) 欲求の種類と特徴を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP27-37を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
5	10/2	本田	ユニット5: 喜怒哀楽のこころ 講義	情動について理解する 1) 感情の理論とメカニズムを学ぶ 2) フラストレーションと防衛機制を学ぶ 3) ストレスとその対処法を学ぶ	1) 感情の種類とメカニズムを説明することができる 2) フラストレーションとどのようにしてフラストレーションに対処するかを説明することができる 3) ストレスに対処することができる	Ⅲ-16	教科書のP39-52を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
6	10/16	本田	ユニット6: パーソナリティ 講義	パーソナリティについて理解する 1) パーソナリティの概念を学ぶ 2) パーソナリティの調べ方を学ぶ 3) パーソナリティに関わる障害を学ぶ	1) これまで提唱されてきたパーソナリティの概念を説明することができる 2) パーソナリティについて調べることができる 3) パーソナリティに関わる障害を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP53-66を精読する。またわからない単語があれば調べておく。	1.0

回	日	担当者	ユニット	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	DP	予習の項目	必要時間
7	10/23	本田	ユニット7: かしこさの心理 講義	知能について理解する 1) 知能とその構造について学ぶ 2) 知能の測定方法を学ぶ 3) 知的能力障害を学ぶ	1) 知能とはどのようなもので、どのような構造になっているかを説明することができる 2) 知能の測定方法を説明することができる 3) 知的能力障害の症状や診断基準を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP67-80を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
8	10/30	本田	ユニット8: 考えるところ 講義	考えるというについて理解する 1) 考えるとはどういうことかを学ぶ 2) 問題解決方法について学ぶ 3) 創造する過程とその方法を学ぶ	1) 考えるとはどういうことかを説明することができる 2) 問題解決法について説明することができる 3) 創造する過程とその方法について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP82-92を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
9	11/6	本田	ユニット9: 発達するところ (1) 講義	乳児期～児童期の特徴について理解する 1) 発達に影響する要因を学ぶ 2) 各発達段階の発達課題について学ぶ 3) 各発達段階の特徴を学ぶ	1) 発達に影響する要因を説明することができる 2) 発達課題についての理論を説明することができる 3) 各発達段階の特徴を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP93-110を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
10	11/13	本田	ユニット10: 発達するところ (2) 講義	青年期～高齢期の特徴について理解する 1) 青年期の特徴を学ぶ 2) 成人期の特徴を学ぶ 3) 高齢期の特徴を学ぶ	1) 青年期の特徴を説明することができる 2) 成人期の特徴を説明することができる 3) 高齢期の特徴を説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP111-124を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
11	11/20	本田	ユニット11: 人と関わるところ 講義	対人関係に関わる理論について理解する 1) 他者の特徴の捉え方と印象形成について学ぶ 2) ヒトの行動帰属について学ぶ 3) 他者を好きになる要因を学ぶ	1) 他者の特徴をどのように捉えて、印象を形成しているかを説明することができる 2) ヒトが自他の行動をどのように帰属しているかを説明することができる 3) 他者を好きになる要因について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP125-134を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
12	11/27	本田	ユニット12: 人と集うところ 講義	集団心理に関わる理論について理解する 1) 集団の特徴を学ぶ 2) リーダーシップについて学ぶ 3) 集団がヒトの行動に及ぼす影響について学ぶ	1) 集団の特徴にはどのようなものがあるかを説明することができる 2) リーダーシップとそれに関わる理論を説明することができる 3) 集団がヒトの行動に及ぼす影響についてどのようなものがあるかを説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP135-148を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
13	12/4	本田	ユニット13: 健康なところ 講義	メンタルヘルスに関わる事柄について理解する 1) 心の健康、その測定法を学ぶ 2) 心の健康を保つことの役割について学ぶ 3) 様々な心理療法を学ぶ	1) 心の健康とその測定方法について説明することができる 2) 心の健康を保つことの意義を説明することができる 3) 代表的な心理療法について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP149-164を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
14	12/11	本田	ユニット14: カウンセリングの ところ 講義	カウンセリングについて理解する 1) 歯科医療に関わるカウンセリングのホスピタリティを学ぶ 2) カウンセリングマインドを学ぶ 3) 具体的な心理的援助について学ぶ	1) 歯科医療に関わるカウンセリングのホスピタリティを説明することができる 2) クライアント中心療法の考え方や技法を説明することができる 3) 歯科医療における心理的支援の意義について説明することができる	Ⅲ-16	教科書のP165-182を精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0
15	12/18	本田	ユニット15: まとめ 講義	これまで学んできた内容を振り返り理解を深める 1) 様々な理論について理解を深める 2) 様々な障害について理解を深める 3) 様々な用語を振り返る	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義を説明することができる 2) 他者と円滑なコミュニケーションをとるための技法について説明することができる 3) 実際にコミュニケーションスキルを活用し、事例に対応することができる	Ⅲ-16	教科書およびこれまで配付されたプリントを精読する。また、わからない単語があれば調べておく。	1.0

成績評価方法、GPA (Grade Point Average) の活用について

GPA (Grade Point Average)

各授業科目の評点を5段階評価し (A・B・C・C-・D)、それを4から0の点数 (GP: Grade Point) に置き換えて、その点数と単位数を掛け、その総和 (GPT: Grade Point Total) を履修単位数の合計で割った平均点

評点	評語	Grade Point (GP)
100点～80点	A	4
79点～70点	B	3
69点～60点	C	2
再試60点	C-	1
59点～0点	D	0

GPA の算出方法

$GPA = GPT \div \text{履修単位数の合計}$

($GPT = [GP \times \text{単位数}]$ の総和)

実際の計算例

科目名	単位数 (a)	評点	評語	GP(b)	(a × b)
〇〇学講義	1	86	A	4	4
〇〇学講義	2	再試60	C-	1	2
〇〇学演習	2	60	C	2	4
〇〇学実習	3	72	B	3	9
計	8 ^{*1}				19 ^{*2}

$GPA = 19(GPT^{*2}) \div 8$ (単位数の合計^{*1}) = 2.38 (小数第3位四捨五入)

対象教科

原則として、進級あるいは卒業により認定された全ての授業科目を対象とする。

ただし、次の授業科目や修得単位等は計算に含めない。

- 1) 基礎教養科目で必要単位数を超えて取得した科目
- 2) 編入学または転入学した際の単位認定科目
- 3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- 4) その他教授会で認めた GPA 算出除外科目

GPA の活用目的

- 1) 学生の個別の学習指導に活用

前年度 GPA が2.00未満の学生は、進級するのにかなりの努力が必要な状況にあります。

- 2) 特待生等の選考の参考資料に活用

授 業 要 綱

編集
発行 福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
電話 092 (801) 0447番
Fax 092 (801) 0427番